



きんぼし 東大阪

KINBOSHI HIGASHIOSAKA

第6版



トップシェアと独自技術・製品
企業ガイドブック

東大阪市・東大阪商工会議所



I・T・O 株式会社

〒579-8038

東大阪市箱殿町 10-4

TEL 072-981-3781

FAX 072-987-6590

http://www.itokoki.co.jp

E-mail:honsya@itokoki.co.jp



代表取締役
内海 二郎

★創業
1929年(昭和4年)

★資本金
9,000万円

★従業員
260人

★主要営業品目
都市ガス用ガバナ、LPガス用圧力調整器、ガス・水等圧力調整器、バルブ類、電磁弁の製造・販売

★トップシェア製品
工業用LPガス圧力調整器

安全で経済的しかも使いやすい 品質を良質なサービスで提供

I・T・O (アイティオー) (株)は昭和4年に伊藤製作工場として創業、都市ガス及びLPガスの整圧器・圧力調整器、バルブ、温水便座用複合弁等のトップメーカー・伊藤工機(株)として会社創立60周年を迎え、平成26年4月1日より社名変更した。国内はもとより海外市場へも更なる飛躍をするため、「Innovation (革新)」「Technology (技術)」「Origination (開発)」のコンセプトで、世界各国の人々に発音しやすく、馴染みやすい社名への改称が理由。毎年数回、海外の展示会に出展しており、I・T・Oブランドは世界に向けて確実に浸透してきている。現在韓国(京畿道・濟州島)、中国(上海)、ベトナム(ホーチミン・ハノイ)、イギリス(オックスフォード)に海外拠点を置き今後もますますI・T・Oネットワークは世界中に広がっていく。

同社が順調に成長を遂げてきた一因として、新製品開発に向けた絶え間ない取り組みが挙げられる。特にLPガス供給における最大のネックとなっていた「ガス切れ」の問題を解決する自動切替式調整器の分野では、業界のパイオニアとして常にリードしており、「業務・工業用自動切替式調整器」においては圧倒的シェアを誇っている。

また地震等の発生時、持ち運びに便利なLPガスを原料にして擬似的な都市ガスを精製し、都市ガス専用のコンロや給湯器をそのまま使えるようにする移動式ガス発生設備や、ガスの流量を感知して埋設管等の微量な漏れを検知する漏えい検知装置、都市ガスの供給区分である中圧A・Bのどちらにも対応可能なガバナ等、他社にはない独特な開発製品は数多い。この高い技術力は、(一社)日本ガス協会の「技術大賞」を2度、「技術賞」を4度受賞、世界LPガスフォーラムと共催される世界技術会議(GTC)においても栄えあるInnovation Award(技術革新大賞)を受賞していることから実証されている。

経済産業大臣認定事業所およびISO9001、ISO14001の認証を取得しており、引き続きリサイクルと地球環境問題を視野に入れた「人に地球にやさしい製品」づくりを目指している。



自動切替調整器
(業務・工業用)
(漏えい検知装置付)



中圧A・B対応新型ガバナ



移動式ガス発生設備



旭工精 株式会社

〒577-0835

東大阪市柏田西 2-17-35

TEL 06-6720-6006

FAX 06-6727-0024

http://www.asahikosei.jp

E-mail:akj@asahikosei.jp



代表取締役社長
西辻 毅

★創業
1946年(昭和21年)

★資本金
5,000万円

★従業員
140人

★主要営業品目
精密アルミダイカスト部品(自動車、一般家電・コンピュータ関連機器、一般産業機器)

★独自技術・製品
精密無孔性ダイカスト製造技術、
精密金型製作・精密機械加工技術

エコ・環境に貢献する 自動車部品の最先端企業

旭工精(株)は、昭和21年朝日金属の社名で個人会社として発足。その後昭和27年に旭金属株式会社に改組、昭和61年現在の社名に変更した。当初は主として家庭用シンクランクロッドを製作、その後アルミダイカスト部品製造を始める。約30年前、従来は、熱間鍛造しかできなかったVTRの精密シリンダーを、自社開発の真空・スクイズダイカスト技術による無孔性アルミダイカスト部品に、世界で初めて鍛造からアルミダイカストに置き換える事に成功した。この「す」のない高品質、高精度のシリンダーは、あっという間に世界シェアの80%を占める同社の基幹製品となった。

平成6年には、東大阪市から優良企業賞を受賞。同年セットメーカーの海外シフトに対応すべく、旭工精マレーシア(株)を設立した。同工場は現在1600名の従業員を擁し、海外市場向け部品の生産工場となっている。同社は設計から、金型製作、精密加工、部品製造、検査をすべて自社内部でこなすことで高度な技術ノウハウを蓄積し、様々な分野の先端企業からの開発要請に答えている。

またコア技術であるアルミダイカストにこだわりつつ、自動車の軽量化という時代の要請に対応した技術開発にも余念がない。最近では、同社の金型製作ノウハウを生かし、局部的に高密度が必要な自動車用アルミダイカスト部品の量産を可能とした真空成型スクイズ加圧技術を、高効率量産技術として開発。多くの自動車メーカーにエンジン部品を含めた重要保安部品を供給し、更に、現在はエコ・環境対策として業界に先駆けて、電気自動車用エアコンのコンプレッサーを国内・海外全ての自動車メーカーに供給している。また品質保証にも力を入れ、マレーシア工場は平成10年にISO9001の認証を取得、本社工場も平成12年9月に認証を取得し、平成16年8月には、ISO14001を取得し平成17年9月にTS16949を取得している。更に、より高密度のアルミダイカスト製造技術の開発をすすめ、平成21年8月に成形型の動作不良検査装置の発明にて特許4358819を取得している。また、平成27年3月には、東大阪商工会議所よりモノづくり大賞の金賞を受賞している。





旭コムテック株式会社

〒577-0015
東大阪市長田 3-5-11
TEL 06-6784-3111
FAX 06-6784-7525
<http://asahi-comtec.co.jp/>



代表取締役社長
川口 竜広

★創業
1949年（昭和24年）

★資本金
15,000万円

★従業員
186人

★主要営業品目
各種ICTソリューション、ネットワークファシリティの計画・設計・構築・施工・運用・保守

★独自技術・製品
デスクトップ仮想化ソリューション（VDI）、ユニファイドコミュニケーションソリューション（UC）、情報共有・情報活用ソリューション、ネットワークインフラソリューション、ネットワークセキュリティソリューション、ネットワークファシリティソリューション、放送設備、映像音響ソリューション

ICTで新しいワークスタイルを実現

旭コムテック(株)は戦後まもなく、電話交換機設備の施工・保守事業を軸に、各種情報機器販売、ソフト開発へと事業領域を拡大してきた企業である。

昨今ICT業界にもクラウドやスマートフォンをはじめとするパラダイムシフトが起こり、同社も企業のコスト削減や生産性向上につながるワークスタイル変革を提案する企業へと変化を遂げている。

「デスクトップ仮想化ソリューション」は、PCを仮想化しサーバ上で管理するシステムで、データを端末側に残さない安全性、モバイル端末でもデスクトップ環境が利用できる利便性、データをセンターに集約することで災害対策や事業継続性を実現する。

「ユニファイドコミュニケーションソリューション」はWeb会議やインスタントメッセージ、プレゼンス機能など最適なコミュニケーションツールを提供する。

「ネットワークインフラソリューション」は無線LAN、リモートアクセス、SDNなどフリーアドレスオフィスや在宅勤務などのオフィスインフラを、ファイアーウォールやVPNといったセキュリティ環境とともに提供する。

本社オフィスでは最新のICTを体感できるショールームとしてオフィス見学を受け付けており、遠方者にはホームページ上からバーチャル体験できるページの公開を始めた。同社はこれからも新たな挑戦を続け、ICTで社会に笑顔と感動を届けることで100年企業を目指している。

バーチャル見学

以下のリンクから、旭コムテックグループ大阪本社の様々なICTソリューションが導入されたオフィスを、バーチャルにて体感いただけます。ぜひ最先端のICTソリューションに触れてみてください。



バーチャル見学：<http://asahi-comtec.co.jp/service/service06.html>



アサヒプリンティング 株式会社

〒579-8026

東大阪市弥生町 19-17

TEL 072-986-0120

FAX 072-986-0122

E-mail: ap-asahi@bz01.plala.or.jp



代表取締役社長
浜田 秀雄

★創業
1975年（昭和50年）

★資本金
1,000万円

★従業員
20人

★主要営業品目
転写用ステッカー、その他印刷全般

★独自技術・製品
多機能転写美術印刷膜

既存製品の欠点を克服 画期的転写用ステッカー

アサヒプリンティング（株）は、ロゴマークなどを画期的な技術で、金属、各種プラスチック、ガラスなど様々な素材にワンタッチで付けることが可能にした印刷業界のベンチャー企業である。

同社の主力製品であるワンタッチAP（ワンタッチで転写可能な多機能性印刷膜）は、貼りたいものに押し当てて上からなぞり、透明の保護シートをはがすだけで、文字や図柄を直接印刷したように被写体に写すことができる転写用ステッカーである。

従来のシールやステッカーは、“いかにも貼り付けている”という感じがして直刷り感がなく、また、転写マーク（マジックシール）は直刷り感はあるものの肉厚感に乏しく、はがれやすくて強度にも欠ける。

これに対しワンタッチAPは、透明保護シート、転写印刷膜、粘着面、剥離紙の四層からなっており、従来のシールやステッカー、転写マークとは異なり、直刷り感においてシールやステッカーに勝り、肉厚感や強度においては転写マークに勝る。且つ、水、熱などの媒体を使わずに転写できる乾式転写マークで、優れた耐久性を有するため一般装飾のみならず、伸縮性のあるウェアなどアパレル関係でもロゴマーク・絵柄を貼付表示するために使用されている。

現在、ヘルメット、スイミングゴーグルなどのマークでトップシェアを占めており、最近では、認知症者の徘徊対策として衣服や持ち物などに貼る見守りQRコードシールを作成し注目をあびている。同社は更に用途を拡大し、ユーザーのニーズに合わせた製品を作るべく新しい技術開発に取り組んでいる。





株式会社 イーストン

〒577-0053

東大阪市高井田 3-3

TEL 06-6783-6372

FAX 06-6783-6313



代表取締役
東田 吉蔵

★創業
1992年（平成4年）

★資本金
1,000万円

★従業員
5人

★主要営業品目
環境配慮型エコスクリーン

★独自技術・製品
THX 認定サウンドスクリーン

世界的品質基準を クリアしたスクリーン

㈱イーストンのスクリーン「E 2S」は、アメリカ・ルーカスフィルム社が提唱し、ホームシアターの世界的な品質基準と言える「THX」認定を、国内のスクリーンメーカーとしては初めて取得した。これは同社が長年にわたって映画製作者の意図を忠実に再現する高品位な映像性能と音響透過特性にこだわり続けた成果である。

幕面は独自の素材を特許技術で編み上げたマット調で、映像再現特性を生かし、どの角度から観てもソース映像に忠実でHD（High Definition）映像の細部まで余す所なく再現する。また、音響透過特性はイコライザーによる補正を一切必要とせず他に類を見ないものとなっており、その驚異的な音響特性は、次世代HDサウンドの芳醇さをありのままに伝える。

また、環境にも配慮し、スクリーン製品として初めて「(公財)日本環境協会」のエコ認定を取得。幕面を形成する繊維に塩ビ素材ではなく、リサイクル原料の再生PET繊維を使用し、スクリーン「Eseco」ではケミカルリサイクル繊維を利用するなど、「性能だけでなく環境への配慮を大切にしたい」モノづくりを大切にする。

2020年の東京オリンピック開催を念頭に、国内で開始予定の8K放送に対応するべく、「E2S」スクリーンをベースに、NHKエンジニアリングシステムと共同開発に着手し、世界で初めての8K対応スクリーンの実用化と普及に向けて事業展開を図る。





株式会社 イチグチ

〒578-0903

東大阪市今米 1-2-48 松栄ビル 201 号

TEL 072-968-9956

FAX 072-968-9957

http://www.ichiguchi.co.jp

E-mail:osaka@ichiguchi.co.jp



取締役会長
市口 裕一

★創業
1954年(昭和29年)

★資本金
5,000万円

★従業員
93人

★主要営業品目
研磨布紙加工品、不織布加工品、
ダイヤモンド研磨布加工品

★トップシェア製品
テクノディスク (30～35%)
マイクロフラップホイール (60%)
円筒形研磨布 (60%)
不織布研磨材ディスク (60%)
不織布研磨材ホイール (30%)

研磨材にこだわる

㈱イチグチは、研削・研磨のプロフェッショナル・ツールメーカーとして、常に顧客の声に耳を傾け、“真に役立つ製品”づくりに挑んでいる。顧客の様々な要望や注文をタイムリーに応える為、社内業務の一元化を図り、会社のモットーである“飽くなきチャレンジ精神・より良い品をより安くより早くお客様にお届けする”事により信頼され、愛される会社を目指している。

現在製販されている中でも、テクノディスクEタイプは長短2寸法の研磨布を交互に組み合わせてできる空気の流れによる空冷効果や、ヤケを抑えると共に目詰まりをなくす効果がありベストセラーとなっている。

このほど、そのベストセラーを更に進化させたテクノディスクEXを発売。Eタイプの良い所はそのまま、更に外周面でも研削作業ができる仕様となっている。

砥材のラインアップも一般研削用のA、重研削用のZに加えて、強靱で微細結晶構造により磨耗が少なく、衝撃や熱にも強いセラミック砥材を起用。強力な研削力により一般鋼から特殊合金まで優れた切れ味と耐久性を發揮している。

今後も国内にとどまらず広く海外にも優秀な素材を求め、導入し、永年培ってきた技術力で“愛される新製品”の提供に邁進していく。





株式会社 稲田歯ブラシ

〒577-0028

東大阪市新家西町 17-19

TEL 06-6781-0074

FAX 06-6781-0064



代表取締役社長
稲田 真一

★創業
1936年(昭和11年)

★資本金
2,000万円

★従業員
28人

★主要営業品目
歯ブラシ、オーラルケアグッズ

★独自技術・製品
“毛先が剣”、“e'cute”、“デントスター”

歯ブラシの先細毛開発で 口腔衛生に貢献

株稲田歯ブラシは、昭和11年1月創業以来、歯ブラシ・ヘアブラシ等の製造一筋に、安定した成長を続けている。

同社は、歯ブラシのフィラメント加工において、従来の水平切りから歯と歯の間の歯垢を取り除き、歯と歯茎のマッサージを行い、歯槽膿漏を防ぐことが出来る「先端先細加工」の技術開発に成功した。現在は、毛の先端が先細毛、超先細毛、超極細毛の加工へと進み、両テーパー、片テーパー歯ブラシを主流に生産している。

同社は先端先細加工技術に加え、口腔内でのスムーズな動きと操作性を考えた製品「デントスター」を主力としている。同製品の特徴は、コンパクトヘッド、奥歯にもしっかり届くロングスリムネック、どんな握りにも対応するフィットグリップなど、消費者が1本1本丁寧に磨けるように工夫されており、歯頸部や臼歯部の清掃に大きな効果を発揮する事である。

また、同社の製品は多品種に亘るが、全ての歯ブラシが公的試験機関に於いて、ISO国際規格及びJIS規格のそれぞれ定められた基準に基づき試験を受けている。これに合格した製品のみ、「家庭用品品質表示法」に基づく表示を行い、消費者が購入するにあたって選びやすく安心して使用できる製品として販売している。また、JIS規格に定められた食品衛生法に基づく製造に徹し、衛生管理に徹した施設と植毛機械を設備している。

同社は、今後も日々変化する消費者ニーズに添った製品開発を行い、かつ安全・安心、規格・衛生管理の徹底で口腔衛生に貢献する。





株式会社 岩佐

〒577-0841

東大阪市足代 2-7-24

TEL 06-6720-1688

FAX 06-6720-7118

E-mail:order@in-iwasa.co.jp



代表取締役会長
岩佐 圭祐

★創業
1941年(昭和16年)

★資本金
1,000万円

★従業員
13人

★主要営業品目
写真ゴム印、実印、角印、役職印、
浸透印製造

★独自技術・製品
版下電送システム

全国的に最先端機器で幅広く 営業活動する総合印章メーカー

㈱岩佐は、北は北海道から南は沖縄まで、全国的に幅広く営業活動する印章業界唯一の総合印章メーカーであり、全国の印章小売店を対象に積極的に営業活動をしている。

文字産業の一つである印章関係の文字をデータ化して作業の合理化を進め、印章(ゴム印、実印、会社印、浸透印等)の大量受注体制を整え、業界内において大きな地位を占めている。

同社は、印章業界で一番最初に光電式彫刻機用ポジフィルム版下を全国的に販売し、印章業界に貢献している。

また、ゴム印においても、業界で一番早くコンピュータによる版下作りを開始。他社に真似の出来ないコンピュータソフトを開発し、困難な印章版下作りを容易にするシステムを構築した。

得意先の要望に応じて、印章版下をオンラインで発信したり、FAXで完全版下を送信したり、またポジフィルムの完全版下を郵送したりとバラエティに富んだ販売をしている。

データ化した印章文字を更に発展させて落款用文字を構築し、「落款印」を早く、安く作成出来るようにした。

下図の製品はカルチャーセンターに通われる方々に手軽にご使用していただく為に作成した「ホビースタンプ雅」という落款印である。

この「ホビースタンプ雅」は同社のオリジナルスタンプで、ギフト用、記念品用としてよく売れている。

このような営業システムは印章業界で同社だけが出来る技術である。



◆ホビースタンプ「雅」の印影見本





岩下 株式会社

〒577-0824

東大阪市大蓮東 3-2-1

TEL 06-6728-3147

FAX 06-6728-3111



代表取締役社長
岩下 眞彰

★創業
1964年（昭和39年）

★資本金
1,200万円

★従業員
72人

★主要営業品目
乳幼児衣料

★トップシェア製品
新生児衣料の打合せ肌着

新生児衣料の打合せ肌着

岩下(株)は、創業から赤ちゃんの肌着を日本国内の自社工場で生産しているメーカーである。

赤ちゃんのお肌はとてもデリケートで、近年、アトピー性皮膚炎やアレルギー等で悩んでいるお母さんは数多くいる。その反面、小売店の売り場には見た目重視の格安商品がほとんどで、需要と供給のバランスが取れていないのが実態である。

同社では、赤ちゃんにとって良いモノは「なに？」なのかを第一に考え、より良い製品を、より安く、より早く提供すべく生地選びから仕上げに至る全ての工程で無駄を省き、コスト追求を行う傍ら、縫製は一つ一つの製品を丁寧に手作業で行いクオリティの向上にも努めている。出来あがった製品は、厳重な検品、検針を徹底し、日本化学繊維検査協会の検査に合格した製品のみを出荷している。

その結果、多くのお母様に愛用され、今では年間、約180万着生産している。また、ハンカチなどの小物生産も、200万枚生産している。出生数の約100万人から考えると、新生児1人に1着は同社の製品が着用されている計算になる。

ますます厳しくなっていく繊維業界ではあるが、職人としての拘りを妥協することなく、顧客に喜ばれる製品を提供しつづける。





株式会社 ウエキン

〒577-0006

東大阪市楠根 2-5-5

TEL 06-6745-8771

FAX 06-6745-8777

http://www.uekin.co.jp

E-mail:daihyo@uekin.co.jp



代表取締役社長
植田 満

★創業
1955年(昭和30年)

★資本金
1,640万円

★従業員
29人

★主要営業品目
各種金属金型設計製作並びに金属
プレス加工

★独自技術・製品
数値計算上では不可能な深絞り

独自の深絞り技術で拓く プレス加工の可能性

㈱ウエキンは、家電製品や生産機械、建築資材などに用いられる、様々な金属部品の成形に、独自の深絞り技術を活かし、顧客にコストダウンや機能性などの付加価値向上を提案している。

同社は昭和30年に金型製造業として創業。昭和39年には金属プレス加工を開始し、金型の設計・製作からプレス加工、検査に至るまでの一貫生産体制を築いた。尚、各工程における検査治具は、必要に応じて自社開発している。

同社の独自技術は、数値計算上では不可能な工程数を抑えた深絞りである。顧客のニーズに対して、最適な素材及び油を選定した上で、金型を設計・製作しプレス加工する。この過程で長年培った経験則から製作可能な方法を見出す力が同社のノウハウである。また、一貫生産体制である事から、金型部門とプレス部門が互いに情報をフィードバックする事により、迅速かつ難易度の高い成形を実現している。

同社の深絞り技術で製品を成形する事により、組み立てや溶接などで成形していた従来の製品と比べて、大幅に工程数を削減することができコスト削減を可能としている。また、継ぎ目が無くなるために機能的にも視覚的にも品質が向上し、顧客メリットにつながる。顧客と情報交換しながら加工を進めることで、従来絞り加工が難しいとされていた、複合材料など特殊な素材の加工にも成功した経験もある事から、今後は、顧客との共同開発を進め、様々な分野の製品に深絞りのメリットを提案し、プレス加工の可能性を拡大してゆく。





梅田真空包装 株式会社

〒577-0032

東大阪市御厨 3-9-28

TEL 06-6782-0661

FAX 06-6782-0667

http://www.uvp.co.jp

E-mail:info@uvp.co.jp



代表取締役社長
梅田 貴生

★創業
1963年(昭和38年)

★資本金
1,000万円

★従業員
182人

★主要営業品目
ブリスター包装加工 プラスチックシート成形

★トップシェア製品
ブリスターパック

時代を先取りする パッケージのスペシャリスト

梅田真空包装(株)は、創業以来、パッケージのスペシャリストとして、企画・開発から生産、発送に至るまでのトータルパッケージを手掛け、高品質製品のみを関連需要先に提供し、全ての取引先から厚い信頼が寄せられている。

昨今、顧客ニーズが多様化され、パッケージにおいてもその影響が大きく、小ロットから大ロットまで、多種多様である。ここで同社の特徴である企画・開発から生産・発送まで手掛ける一貫した生産体制が力を発揮する。顧客のニーズは、オリジナリティ・ユニバーサルデザイン・ECO・高品質・高機能といったように、非常に複雑化している。この要望を具現化する企画・開発力、製品化するための製造力というように同社には長年積み重ねてきたノウハウが蓄積されているのも特徴である。

同社の主力製品にクリアカバー(プラスチックシートを成形加工した物)のポケット部に製品を入れ、台紙と圧着加工しパッケージする「ブリスターパック」がある。同製品は、圧着加工することにより、製品の改ざんや盗難などの防止ができる。

同社は、パッケージにおける品質管理も徹底しており、ISO9001を認証取得して日々改善するシステムが構築されている。また、環境問題も念頭に置き、ISO14001の認証も取得し、環境に配慮した再生材や植物系プラスチックなどを積極的に採用して製品化している。さらに、同社では発売前の製品を多く取り扱うことから情報セキュリティにも力を入れ、ISO27001の認証を取得して顧客から高い信頼を得ている。

今後も『顧客第一主義』の企業姿勢を貫き、社会に貢献できる企業を目指している。





エイシンテクノ 株式会社

〒577-0065

東大阪市高井田中 2-2-22

TEL 06-6781-2222

FAX 06-6781-2223

http://www.eishin.com

E-mail: info@eishin.com



代表取締役
高尾 泰伸

★創業
1966年(昭和41年)

★資本金
1,000万円

★従業員
20人

★主要営業品目
半導体封止金型、電子部品・一般
機械部品の表面処理

★独自技術・製品
高密度表面処理技術

ハイテクノロジーにも 決め手は巧の技

コンピュータや携帯電話は軽量かつコンパクト化が進んでいる。その軽薄短小化は半導体の高密度化なくして今やあり得ない。エイシンテクノ(株)は、その半導体の開発競争を支える、精密金型に欠かせない高密度表面処理技術のリーディングカンパニーである。

一般金型、高性能精密金型、精密機構部品などを研磨し、耐摩耗性や離型性に優れた硬質クロムメッキ加工を提供する。

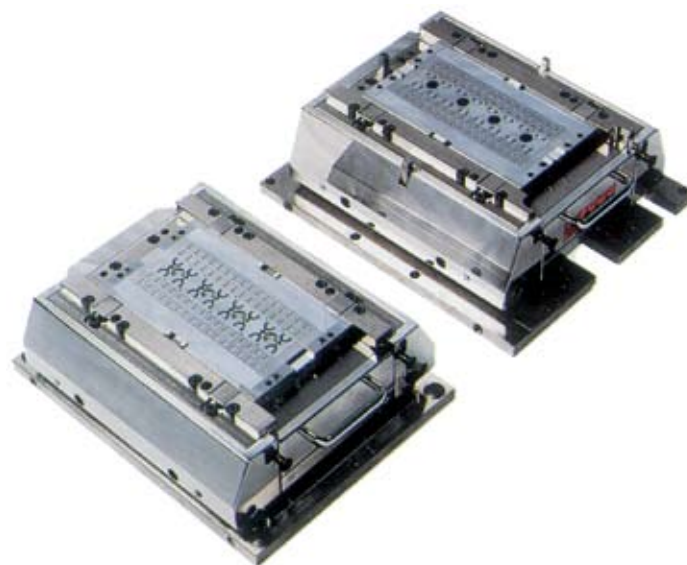
クロム溶液に浸ける前過程でメッキ加工の不要な部分にあらかじめ膜を作っておくマスキング技術。ミクロン単位の微妙なメッキ加工の斑を、電極のセット具合やクロムメッキ溶液に浸ける時間によって均一に整えるという独自技術を確立。そのノウハウ蓄積により、他社の追従を許さない。

また、自動化やマニュアル化が導入される中で、機械での加工精度の限界を超えた作業には、経験30年以上のベテラン技術者が職人技を発揮。「長年の勘がものをいう。メッキの乗りは肉眼でもチェックできますね」と、X線での最終製品検査を待つ金型を前に職人の目が光る。社員達の経験と実績が、顧客からの厚い信頼に結びついている。

「企業を支えるのは社員一人一人の力」と高尾社長。そして、社長自ら働く者へのクリーンで快適な職場空間の整備に努める。また、近隣者への環境対策も万全である。

引き続き、公共の研究施設や大学の専門分野に精通した先生方の指導を仰ぎ、更なる開発、研究に注力する。

また、ISO9001、ISO14001を取得済みであり、タイ工場の設立を機に、よりグローバルな市場を開拓中である。





株式会社 エイチ・アンド・ティー

〒577-0061

東大阪市森河内西 2-20-4
TEL 06-6785-3322
FAX 06-6785-3435
http://www.ht21.co.jp/



代表取締役
濱田 孝治

★創業
1998年(平成10年)

★資本金
18,180万円

★従業員
8人

★主要営業品目
医薬品等安全性試験支援システムの研究・開発

★独自技術・製品
セレクトラブルとオートバリデーションで、GLPおよびPart11の規制に対応するシステム

医薬品開発支援システムで 実験作業を大幅に効率化

(株)エイチ・アンド・ティーは医薬品の研究開発のうち動物実験段階でのデータ収集及び集計を、GLPやPart11といった規制に準拠しながら、飛躍的な運用コスト削減と省力化を実現するソフトウェア『TOXランチャー』の開発・販売を行っている。

新薬開発は、多大な年月と膨大で多種多様なデータを処理する必要があり、研究にかかる期間と費用は益々膨大する傾向にある。

『TOXランチャー』は、上記を解決するために、パッケージソフトの痾病とも言うべきカスタマイズを、レゴブロック®のように小さなモジュールを組み合わせる仕組みで不要とし、また、医薬品の研究開発現場で大きな負担となっているバリデーションの自動化も実現している。フルセットで約2億円と高額ではあるが、既存ソフトウェアに比べ運用コストが約1/10と劇的に削減される点が大きな特長となっている。

『TOXランチャー』全体は未完成ながら、完成した機能は、大手製薬会社や大学など10数社の研究施設で運用されている。2015年はエーザイより、一般毒性モジュール群の受注があり、2016年には納品・稼働予定となっている。

海外進出については、2004年より毎年米国の学会などに出展しており、米国の研究所でも導入されている。将来は、EUへの展開も考えており、最終的には、世界市場の50%以上を占めることを目指している。

また、創薬分野などで使用可能なSimpleシリーズなどのラインナップの拡大や、ハード・ソフト・運用まで含めた、ワンストップサービスも視野に入れている。

H&T 医薬品等安全性試験支援システム『TOXランチャー』で世界標準を創る!!

H&T Corporation
医薬品開発支援システムの
世界標準を創る

TOXランチャー

項目名	ステータス	所属
Heart	DEMO	DEMO
Aorta	DEMO	DEMO
Lymph nodes	DEMO	DEMO
Spleen	DEMO	DEMO
Prostate gland	DEMO	DEMO
Endometrium	DEMO	DEMO
Bone marrow	DEMO	DEMO
Spleen	DEMO	DEMO
Cervix	DEMO	DEMO
Thymus gland	DEMO	DEMO



株式会社 江浦製作所

〒577-0805

東大阪市宝持 4-13-17

TEL 06-6724-4741

FAX 06-6724-4744



代表取締役
江浦 善照

★創業
1965年(昭和40年)

★資本金
1,000万円

★従業員
30人

★主要営業品目
六角ボルト全般、線材二次加工品

★独自技術・製品
小型六角ボルト、座金組込みボルト、フランジボルト

「ねじ」一筋 企画から設計までライン化

1965年創業以来「ねじ一筋」に歩んできた。

主に自動車や農機具など多様な分野で使用される小型六角ボルト(並目・細目・極細目)を主に製造し、軸径5~20ミリ、長さ150ミリまで、鉄、アルミ、ステンレス、チタン材といった合金鋼から1ヵ月約100トンを生産し、アイテム数は1万点を超え、多様な顧客ニーズに即応している。

創業当時、切削加工を要する特殊ねじの生産加工方法から冷間圧造技術の発達により、より多品種、大量生産が可能になり、主要取引先の自動車産業の伸展により、現在の基盤を築いた。

(株)江浦製作所はお取引先様からの要求される製品の高度化・多様化・納期等に対応すべく、「最高の技術を追求し、厳格な検査のもとに最高の製品で社会に奉仕する」を基本理念のもとに、人材育成、生産体制の合理化を推し進めて来た。

同社製品は、建設機械用・車両用・農機具用・弱電関連等、幅広い産業分野で貢献している。

また、同社製品のブランドマーク「亀」は「恒久繁栄の願いを込め、堅実に成長、発展する事」を願い取り入れた。





株式会社 エコー

〒578-0973

東大阪市東鴻池町 2-3-29

TEL 072-964-2377

FAX 072-964-0997



代表取締役社長
上田 健

★創業
1973年（昭和48年）

★資本金
5,000万円

★従業員
70人

★主要営業品目
ニッケルクロムめっき・黒色クロムめっき・無電解ニッケルめっき
クラシカルめっき・銅めっき・金メッキ その他etc

★トップシェア製品
アルミホイルのボルト、ナットの
鍍金

厳しい品質に対応 ミクロン単位でチェック

(株)エコーには、バレル研磨工場とめっき工場がある。よって同社では、顧客よりお預かりした製品はバレル研磨工程からめっき工程まで一貫して加工を行っている。

また、納期面だけでなく品質面で求められている耐蝕性・耐腐食性においても同社では、ニッケル層を4層（半光沢ニッケル・トリニッケル・光沢ニッケル・ジュールニッケル）施し最上部にクロムめっき処理を行い顧客に満足して頂けるものづくりを行っており、要求が日々進化している現在においても、創業時以来からの技術を生かし高品質・高生産で応えている。そういった技量を生かし2輪・4輪の足回りのホイールナットやボルト等においては純正カーメーカー用・部品量販店向けまで幅広く採用されている。

また2003年度には、品質や生産性において更なるスキルアップを追及する為、品質マネジメントシステム（ISO 9001）を認証取得した。近年においては、業種に特化せず様々な業種のお客様のニーズにお応えしたく2014年度にバレル研磨機の大幅な増設を行い、めっき部門においては、装飾カラーめっきの自動機を設置した。

今後も引き続きさまざまな顧客の声を大事にしていき現状に満足せず日々邁進し高品質・高生産を目指していく。





株式会社 SKB

〒577-0032

東大阪市御厨 1-5-3

TEL 06-6788-1517

FAX 06-6788-1546

http://www.skbn-net.co.jp

http://www.kuuki-design.com



代表取締役社長
伊藤 博之

★創業
1971年（昭和46年）

★資本金
8,000万円

★従業員
96人

★主要営業品目
建築金物、自動車・鉄道車両用金物、サッシ金物等の製造及びインテリア金物の企画開発販売

★独自技術・製品
セーフティストッパー、
RoomCloser、TOATOA

クリエイティブな発想で 『きらり快適ものづくり』

（株）SKBは東大阪に創業して45年、一貫して＜カラクリ＝機構設計＞を開発してきた。

大手メーカーにも解けない難問に挑戦し、不可能と思われる動作や、機能を実現することに大きな誇りと喜びを感じる技術集団であり、ひらめきを大切にする同社の機構設計は、業界内外から高い評価を得ている。

これまでに申請した工業所有権は400件ほどになり、特許庁からは知財を戦略的に活用してきた実績が認められ、巡回審査対象企業にも選ばれている。

同社では設計と製造の現場が近接しており、自社で設計した機構を設計者自身で組み立てて検証し、300の協力工場とともに試行錯誤しながら製品の質を高めている。住宅関連を始め、自動車・鉄道車両・船舶・航空機・OA機器関連・自動販売機・キャッシュディスプレイなど様々な分野の金物を手がけており、日々のくらしの見えない一隅に、同社の小さなひらめきが生きている。

これまで蓄積したノウハウや技術を活かし、現在は自社ブランドのオリジナル製品も手がけており、高齢者施設・住宅向けの半自動引戸レールユニットのRoomCloserシリーズは、エンドユーザーや施工業者など「使い手」を意識し、他社製品との差別化により、高品質で好快適なユニットとして、新たな販路拡充を図り、市場に浸透している。

また、2015年6月にデザイナーと建築家とのコラボレーションによる「インテリアデザイン金物分野」でのオリジナルブランド「kuuki」を立ち上げている。「kuuki」は空気のように生活空間になじむ、あってあたりまえ、なくてはこまるカナモノをつくり、くらしの快適に必要な「あたりまえのカナモノ」をコンセプトとしている。

創業以来、東大阪らしいスタイルを誇りに、数多くの製品開発に取り組んできた同社だが、「きらり快適ものづくり」を企業テーマに、くらしの快適と安心を提供し、ものづくりを支える企業として、より良い製品作りのために一層の研鑽をもって、ものづくり東大阪のDNAを継承するプロフェッショナルとして挑戦し続ける。



TOATOA floor line



RoomCloser 高齢者施設使用例

オリジナルブランド kuuki web サイト



株式会社 大阪工作所

〒578-0985

東大阪市中野南 1-34

TEL 072-962-1515

FAX 072-964-8634

http://www.osaka-kousaku.co.jp/



代表取締役
赤松 則秀

★創業
1939年（昭和14年）

★資本金
6,800万円

★従業員
25人

★主要営業品目
専用工作機械製造、産業機器の開発・製造工作機械、IT機械、航空機部品加工

★トップシェア製品
ボールアイスカッター、自動除塵包装機

大きいものから小さいものまで モノづくりのスペシャリスト

（株）大阪工作所は、精密部品加工、スピンドルユニット・治具等のアセンブリや産業機械・産業機器の開発、専用工作機械の製作を行っている。

同社はマイクロメートル単位での高精度の加工技術に強みを持ち、特に工作機械の主要な部品である多軸のスピンドルユニットや、機能豊富で精密な治具のアセンブリは長年にわたって顧客の信頼を得ており、同社の最も得意とする分野である。

その高精度加工技術は携帯電話やパソコン等のIT関連製造装置主要部品、旅客機やH2ロケット、ヘリコプター等の航空機部品加工にも活かされており、扱う製品は多岐にわたる。専用工作機械の製作もこれまでに2000台を越えている。

また、同社が開発した製品にはユニークなものが多い。「ボールアイスカッター」は、板氷を球形に加工する、小型で卓上型の手動式球形アイスメーカーであり、テレビ番組でも紹介された。最近では世界に2台という自動の球形アイスメーカーを開発。これは1時間に3万個もの球形氷ができるというもので、セブンイレブンにおいて販売されている球形氷は全てこの機械で製造している。

「自動除塵包装機」は、成形された食品用トレー等の容器・蓋をエアブローで除塵（毛髪・粉等の異物を除去）し、同一機内で袋詰作業が出来る小型のもので、作業の簡略化・効率化に役立つ。

いずれの製品も市場に占めるシェアは100%である。

幅広い分野で活躍する同社であるが、従業員同士のノウハウの伝授や、社外研修に力を入れるなど、更なるレベルアップに余念が無い。お客様に満足して頂くためにモノづくりのスペシャリストであり続ける、それが同社の理念である。





大阪精工 株式会社

〒579-8014

東大阪市中石切町 5-7-59

TEL 072-982-2721

FAX 072-987-1094



代表取締役社長
澤田 斉

★創業
1960年（昭和35年）

★資本金
4,400万円

★従業員
287人

★主要営業品目
冷間圧造用鋼線、異型鋼線、冷間
圧造部品、軸受用鋼線、チタンワ
イヤ

★独自技術・製品
軽量化、加工工程省略、省エネ
ルギー化に貢献する超微細粒鋼鋼線

環境に優しい鋼線の開発で ユーザーニーズに呼応

大阪精工(株)は、1960年（昭和35年）に冷間圧造用鋼線メーカーとして創業し、異形鋼線、冷間圧造部品、軸受用鋼線、チタンワイヤーと生産品目の拡大を図るとともに、アメリカ、中国、メキシコとグローバルな供給体制の構築に努めてきた。

冷間圧造を要素技術として、冷間圧造用鋼線から、冷間圧造による部品までを一貫で製造することで高品質なモノづくりを実現し、長年培ってきた冷間圧造用鋼線の製造技術に加え、冷間圧造による部品加工で得た知見、ノウハウを活かすことでお客様のご要望や製品用途に合わせた製品設計、提案力の強化に取り組んでいる。

冷間圧造用鋼線では、高強度化や軽量化、製造工程の見直しによる省エネルギー化によって環境負荷の低減を図ることができる「超微細粒鋼鋼線」「高強度ボルト用鋼線」「非調質ボルト用鋼線」をはじめとする特徴ある製品の開発を進めるとともに、自動車の電動化が進展するに伴い、ニーズが高まっている磁気特性に優れた「純鉄系軟磁性鋼線」を取り揃えている。さらにお客様で加工される部品の形状に合わせた製品設計によって、加工工程の省略、コスト低減に貢献する異形鋼線の開発にも積極的に取り組んでいる。

冷間圧造部品では、素材から部品形状までの一貫設計によって、中空・薄肉化による部品軽量化や、切削工程での加工負荷低減や切削レスを目指してネットシェイプ化に取り組んでいる。





大阪精密機械 株式会社

〒577-0032

東大阪市御厨 6-5-16

TEL 06-6782-0646

FAX 06-6782-0649



代表取締役
吉岡 功二

★創業
1951年(昭和26年)

★資本金
7,250万円

★従業員
90人

★主要営業品目
歯車測定機

★独自技術・製品
世界で初の「電子創成式歯車測定機」を開発

きさげ職人の技とデジタル融合で 世界一の測定精度を誇る

大阪精密機械株は創業以来、歯車の測定に関する研究、測定機の開発・製造やマスターギヤの製造を手掛ける。歯車専用の検査装置では国内約70%のトップシェアを誇り、世界シェアでも約25%と上位占有率3社の一角を占める。特に自動車業界からの信頼が厚く、国内自動車メーカーを始め、建設、鉄道、航空、農機、精密機器等取引先業者は多岐にわたり、大きなものは風力発電の風車用ギヤから、小さなものはOA機器やロボット関節の微細なギヤまで幅広いニーズに対応できる。繰り返し精度が高いことも同社の誇りであり、歯形、歯スジ、ピッチ、偏心誤差を全自動で測定できる世界初の全自動歯車測定機を開発したこともシェアを広げる契機となった。

測定機製造にはいかに速く高い精度で測定できるかが求められ、1~2 μ mのさらに高い精度を出すために機械だけでなく人の手による伝統的な「きさげ加工」で仕上げている。約10人のきさげ職人が1台ずつ1か月近くかけて仕上げている。最先端と職人技の融合によるきさげ技術者は、厚生労働省の「現代の名工」にも選ばれている。

同社の歯車測定センターは、メーカーが海外へ歯車を輸出する際の国際的な品質を証明できる日本で唯一の民間校正機関としてJCSS(計量法に基づく日本の校正事業者登録(認定)制度)の認定を受けている。1サブミクロン(1/10000mm)という世界最高の精度を測定する装置の開発にも成功し、2014年には経済産業省の「グローバルニッチトップ100選」にも選定されている。





大阪バネ工業 株式会社

〒577-0067

東大阪市高井田西 3-3-1
TEL 06-6782-8181
FAX 06-6782-8187



代表取締役
笠井 洋子

★創業
1933年（昭和8年）

★資本金
3,200万円

★従業員
45人

★主要営業品目
産業機器用大型バネ、自動車懸架
装置用バネ

★独自技術・製品
自動車補修用バネ、OBK ブラン
ドの展開

中古自動車懸架装置用バネ で海外市場を育成

1933年（昭和8年）の創業以来、バネの製造販売を行っている。自動車懸架装置用バネ、メガパワーが掛かる大型産業機器、建設機械用等の大型バネ、家電や電子部品等の精密小物スプリングで広範囲な産業分野に多種多様なバネ製品を送り出している。自動車懸架装置用バネには特に注力しており、ここ十年位で海外への売上が伸びている。カスタマイズ用や補修部品として、海外に新たな市場を開拓し拡販を行っている。

全従業員はゼロの市場から1（0→1）を作り出す事を意識している。「市場が無ければ市場を作ろう」を合言葉に国内では東京営業所を開設した。市場開拓に邁進する企業風土が大阪バネ工業(株)の競争力の源泉である。

開拓キーワードは、市場、用途、環境である。輸出された日本製の中古自動車は、国内とは比較にならない過酷な環境下にある為、補修部品としてのニーズがあると信じ、海外での使用環境に適したバネを製造し、日本製中古自動車の補修部品という新市場をつくりあげた。

販売のキーワードは、ブランド、提案戦略、リスク回避である。海外でも日本製の信頼は厚く、同社ブランド「OBK」ブランドを各国で商標登録してブランドをアピール。現地に何度も足を運んでプレゼンを行い、商社経由にして回収リスクを回避した結果、世界40ヶ国で販売実績が出来、中にはNo.1シェアを占める海外市場も育て上げた。今は視線を再び国内に移し、ネットワークづくりにも力を入れ「モノづくりのまち高井田」で操業する同社は日本のモノづくりを盛り上げていきたいと意気込む。





大阪銘板 株式会社

〒577-0005

東大阪市七軒家 18-15
TEL 06-6745-6309
FAX 06-6745-3044
http://www.daimei.jp



代表取締役社長
山口 徹

★創業
1914年(大正3年)

★資本金
48,500万円

★従業員
250人

★主要営業品目
自動車、TV等の外装大型プラスチック成形品、精密プラスチック部品

★独自技術・製品
精密金型、成型技術、プラスチック表面装飾

大型から小型まで プラスチック成形の一貫生産

大阪銘板株は2014年に創業100周年を迎えた。同社は創業以来蓄積された膨大な金型、材料技術、成形技術等に関するデータベースとノウハウをもとに、自動車分野、家電分野における「高品位」な外観部品を中心としたプラスチック射出成形「金型～成形～2次加工」を主力事業としている、プラスチックのトータルソリューションメーカーである。海外、国内各地の工場は、ユーザーへのレスポンスを考慮し、ユーザーに近接した地域に立地している。海外については、タイ、シンガポール、マレーシア、中国といった国々に関連会社を置いており、ワールドワイドな営業、生産サポート体制を構築している。

BtoCビジネスとして、自社ブランド“daimei”を立ち上げた。浴室で使えるスリッパ型足洗ブラシ「ヘルシーフットウォッシャー」はカラフルな色展開で、表面に足裏を洗浄する多数の突起、裏面には浴室の床に固定するための吸盤がたくさんついた形状は複雑で、金型が自社製だからこそ実現したオリジナル商品である。足のニオイを除去し、角質ケアに役立つヒット商品。ネット販売を中心に販路を構築している。

ISO14001/9001も取得しており、環境、品質の管理体制を完備し、さらにグリーン調達システムを取り入れ、顧客のニーズに対応している。



▲プロジェクター



▲ハンディカム



▲デジカメ



▲センターパネル



▲コンソール



▲ヘルシーフットウォッシャー



オーエッチ工業 株式会社

〒578-0921

東大阪市水走 4-9-3

TEL 072-963-2221

FAX 072-963-2226

http://www.ohnet.co.jp



代表取締役社長
清水 義道

★創業
1946年(昭和21年)

★資本金
4,000万円

★従業員
50人

★主要営業品目
各種ハンマー、キャスター、荷締
機製造

★トップシェア製品
工業用ハンマー(60%)

多能工システムを駆使 ハンマー日本一

「ハンマー」の最大手、その種類やサイズを組み合わせると600種類。「相手に傷をつけないハンマーシリーズ」から鉄工用、建築土木用、ホームセンター向け用と相手のニーズに合わせた開発能力を駆使、工業用シェア60%、中でも片手ハンマーは90%、自動車搭載用は100%近いシェアを占める。多品種少量生産、多能工システムを彩って業界1位を誇る。最近は無反動構造のウレタンゴム製「ウレタン角カケヤ」を開発、1本1万数千円するが打撃力15倍のヒット商品となっている。

オーエッチ工業(株)は1962年、水走到に会社を移転、当初従業員70人で、その後、苦難の時も味わったが、工具のメッカ、新潟県三条市や兵庫県三木市の視察を参考にするなど、ニーズに対する細分化をかぎ分け、新製品開発を手がけてきた。

物流用キャスターは軽荷重用、中荷重用、重荷重用、超重荷重用と種類も豊富、中でも超重荷重用スーパーストロングキャスターHXシリーズは取付プレートと中心軸のキングピンを同社鍛造技術で一体成形することに成功し、許容荷重2000kgを可能にした。

荷締機シリーズはワイヤー荷締機、ベルト荷締機(ラッシングベルト)荷造用ベルトシステムなどを持ち、「鍛造ワンピース付ベルト荷締機」は同社の技術を駆使、耐久力5倍、破断強度5トン以上、ワンタッチ方式で作業効率をアップした新製品で特許申請中。また最近ではホームセンター向け、アップシリーズとしてプロ用とサエラブランド製品群を開発し、ベルト締機の幅広い市場を開拓している。





オージーケー 技研株式会社

〒 577-0066

東大阪市高井田本通 6-2-32

T E L 06-6782-4353

F A X 06-6782-4357



代表取締役
木村 秀元

★創 業
1948年（昭和23年）

★資本金
9,600万円

★従業員
120人

★主要営業品目
子供のせ、バスケット、ドレスガード、発泡車輪、その他樹脂製自転車部品

★独自技術・製品
自転車子供のせを中心に、デザイン、設計・金型製作・生産まで一貫対応

安全性へのこだわりが モノづくりの指命

お子様と一緒にファミリーユースから、スポーティなタウンユースまで、快適な自転車ライフを楽しみたい方すべてに、安心と感動をお届けすることがOGKブランドのコンセプトである。

「安心して使えること」、「使う人の安全をまもること」、「安全性はメーカーの使命である」と、オージーケー技研は考えている。

安全なモノをお客様に使っていただく事が、同社がモノづくりにおいて最も優先させていることである。事業の核となっている製品は自転車の部品。誰もが子供を気軽に乗せることのできる自転車だけに、安全性には細心の注意を払っており、自転車を使う人の安全を守る製品づくりに努めている。

素手で直接触れる製品に関しては、子どもの肌にも安心な素材を厳選している。加工の過程でも表面の凹凸を無くして最大限に滑らかにし、人間工学も取り入れた設計で、使いやすい形状を追求している。

丈夫であることも安全には不可欠で、(一財)製品安全協会の定める基準よりも数倍以上厳しい自社基準を設定し、繰り返し耐熱・耐寒・耐久実験を行う。これらをクリアした製品のみをOGKブランドとして市場へ送り出している。安全性へのこだわりは、同社のモノづくりにおける指命と考えている。





株式会社 オージック

〒578-0984

東大阪市菱江 1-15-33

TEL 072-965-1011

FAX 072-965-4192

http://www.ogic.co.jp/



代表取締役社長
田中 文彦

★創業
1952年(昭和27年)

★資本金
6,500万円

★従業員
100人

★主要営業品目
中形、小形、各種精密歯車

★トップシェア製品
高精度スパイラルベベルギヤ、ハイポイドギヤ

高級歯車で アジアナンバーワンを目指す

株オージックは創業以来半世紀にわたり、精密ギヤの専門メーカーとして常に一步先を見据えた技術開発を続けてきた。より高度な技術、より高い精度を追い続けた結果、世界屈指の先進設備と製造技術を誇り、国内外の顧客から高い評価を得ている。

同社は、2020年に売上高100億円、「アジアNo.1の高級歯車メーカー」を目指し、現在、国内外で生産・販売及びサービス網を拡充し、顧客の利便性を高めようと積極的な活動を展開している。これまで長年にわたり蓄積した加工技術・ノウハウ、独自で持つ設計機能を活かし、工作機械、印刷機械、生産機械、航空機業界、自動車業界を中心に顧客のギヤにかかわる問題を解決してきた。

同社の看板製品である業界トップシェアを誇る「マスターウォームギヤセット」や「高精度ハイポイド・スパイラルベベルギヤ」を中心に「高精度スパーク・ヘリカルギヤ」の高級歯車の分野で「日本のオージック」から「アジアのオージック」を目指す。

今後、日本、中国、台湾、韓国の4ヶ国を中心にして、高級歯車なら「MADE IN OGIC」を確立していく。





株式会社 オーシン

〒578-0905

東大阪市川田 2-5-25

TEL 072-964-1112

FAX 072-964-0282



代表取締役社長
藤田 剛

★創業
2003年（平成15年）

★資本金
800万円

★従業員
15人

★主要営業品目
IH対応土鍋の製造販売、ワーク
シューズ事業、マテリアル事業

★独自技術・製品
カーボン発熱体を使用した陶器等
のIH対応加工、カーボン製業務
用IH調理器具製造

独自のカーボン発熱体で 外食産業を支える

（株）オーシンの製品は、IH厨房で外食産業を展開する企業に向けて、効率のよい調理環境と魅力的な料理を提供する製品を開発している。開発のきっかけはいつもお客様の課題であり、お客様と共に解決することで、新しい価値の製品を生み出していく。

独自のカーボン発熱体を土鍋の底面に接着し業務用の使用に耐えるタフな「IH対応土鍋」は、サイズや形状、陶土の種類、使用するIHコンロの性能に合わせて別注加工も可能である。和食から洋食まで、陶器のもつ蓄熱性を活かした、グツグツ感のアピール力もユーザーから評価されている。日本科学未来館で開催された「THE 世界一展」で世界にひとつの土鍋として紹介された。

カーボングラファイトにフッ素加工を施したフライパンや焼肉プレートは、すばやく調理温度まで加熱出来て熱が均一に広がりやすく、調理スピードを重視し調理師でなくても玉子焼きが上手に作れるカーボン製フライパンは、全国展開する大手飲食チェーンにも納入されている。

また、東大阪デザインプロジェクトで、喜多俊之氏デザインで生まれた「COOKPOT（クックポット）」は、2010年（平成22年）にグッドデザイン賞を受賞。蓄熱軽量ステーキ皿は、軽量でありながら蓄熱性が高く、IH専用ステーキ皿、大手飲食チェーンの海外展開と共に、シンガポール・インドネシア・中国など世界で活躍している。





株式会社 オーティス

〒578-0955

東大阪市横枕南 5-3

TEL 072-966-1908

FAX 072-966-2901

http://www.otis-web.co.jp

E-mail: otis@otis-web.co.jp



代表取締役社長
松本 英明

★創業
1938年（昭和13年）

★資本金
2,050万円

★従業員
120人

★主要営業品目
雨樋受金具、排水製品、金属屋根材、外装建材製造販売

★トップシェア製品
雨樋受金具（21%）

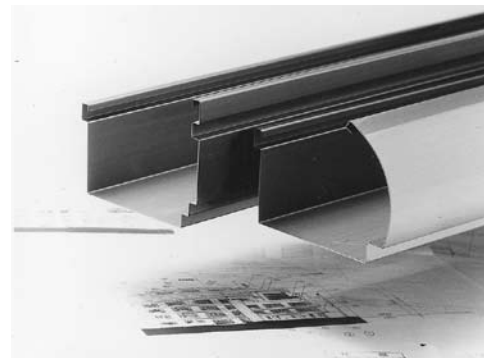
ニーズ多様化に合わせて 3千種の雨樋受金具

昭和13年（1938年）、雨樋の取付金具をはじめとする金属加工業として創業。現在、雨樋受金具のトップメーカーである。日本の一般建築に欠くことのできない雨樋、その雨樋を支えているのが雨樋受金具である。その種類は、別注品を加えると約3000種におよぶ。時代とともに変わり行く住宅建築物、そのため、多様化するニーズにあわせて多品種小ロット体制に対応している。

平成3年4月に社名を現在の（株）オーティスに変更。雨樋受金具のみならず、建築部材を中心として幅広く製品を提供することと、マーケティングにより市場のニーズを適確につかみリアルタイムで製品開発に取り入れ、新製品として世に送り出すことを心掛けている。また、提案型の企業を目指しハードとソフトの両面からの変貌を図って来ている。

永年にわたる経験と実績により伝統的な建築物にも、同社のノウハウが活かされている。

最近の住宅の洋風化傾向に伴って半円型雨樋から外観重視による角型雨樋に変化し、金具もハイグレードな品質が要求され高級化が増々進んでいる。市場ニーズに合わせてステンレス製品に力を入れ高品質低価格実現に取り組み、全国のユーザーである建築板金業者から高い信頼を得ている。





株式会社 オクダソカベ

〒578-0977

東大阪市鴻池徳庵町 3-73

TEL 06-6745-5661

FAX 06-6745-9591

http://www.okuda-sogabe.co.jp

E-mail:osk@okuda-sogabe.co.jp



代表取締役社長
奥田 保幸

★創業
1925年(大正14年)

★資本金
3,012万円

★従業員
218人

★主要営業品目
ベローズ形伸縮管継手、ベローズ
形伸縮可撓管

★トップシェア製品
ベローズ形伸縮管継手(40%)

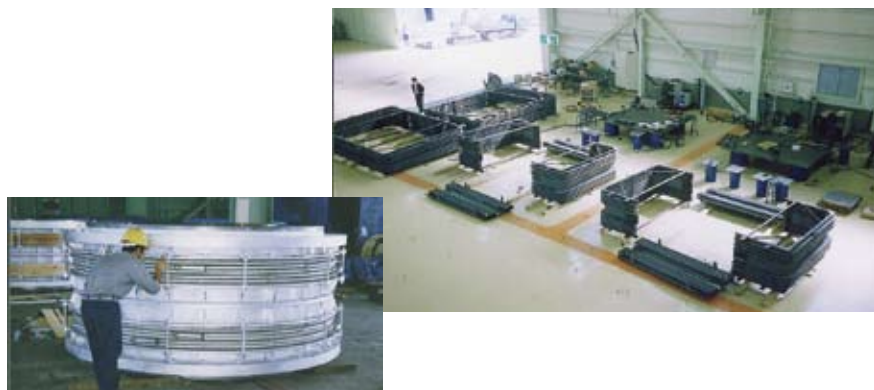
伸縮管継手で 大型プロジェクトを支える

(株)オクダソカベは、気体、液体の移送管路の伸び、縮み、振幅などの寸法変化を吸収して、配管設備の安全を確保するベローズ(蛇腹)形伸縮管継手の総合トップ企業で、国内シェア40%を誇り、電力、ガス、上下水道等のライフラインをはじめとして、石油、石油化学、鉄鋼といった基幹産業分野等の品質管理に厳しい分野で高い評価を得ている。

世界最大(口径27m)の原子炉格納容器ダイヤフラムシールベローズをはじめ、関西国際空港の燃料供給設備(バランス型伸縮管継手)、空港連絡橋に敷設している水道管の接合に使用したバッファージョイント、あるいは平成10年4月5日に開通した世界一の吊り橋、明石海峡大橋には2本の送水管が添架されているが、その橋の揺れを吸収して管の破断を食い止めるために設置された伸縮可撓管等々。代表的な製品をみても高い信頼を得ていることがうかがえる。

伸縮管継手は、温度変化、振動などによる寸法変化を吸収し、配管設備の本体部分の安全性を確保する。同社の伸縮管継手がこれだけの信頼性を得ているのは、成形技術に秀でたものをもっているからである。円筒パイプをベローズ、つまり蛇腹の形に成形するには、パイプへの圧力のかけ方が最大のポイント。戦後十数年をかけて、「職人のカン」的要素であった適正圧力を素材毎にデータで蓄積。加えて納入先のパイプ材質、設置条件などに合わせて設計から製造までオーダーメイドで手がけることで、継続的に多品種のユーザーによって最適な製品生産が可能になっている。

先の阪神・淡路大震災では水道用伸縮可撓管や石油タンク元用ベローズ管が各所で優れた耐震性を発揮した。水道管その他の調査では設計許容値以上の大きな変位を吸収しながらも、漏水事故ゼロという驚異的な実績をあげた。同社は毎年売上高に対し5%の研究開発費を計上し、伸縮管継手の安全性と耐久性、緩衝性を確保するのはもちろんのこと、品質と技術力の向上に絶ゆまざる努力を続けており、業界トップ企業として他社の追従を許さない。





鹿児島金属 株式会社

〒579-8013

東大阪市西石切町 3-2-10

TEL 072-957-5544

FAX 072-957-5540

http://www.kagoshima-metal.co.jp/

E-mail:info@kagoshima-metal.co.jp



代表取締役社長
倉津 孝夫

★創業
1970年(昭和45年)

★資本金
9,600万円

★従業員
185人

★主要営業品目
金属パーツ、ねじ類、特殊ボルト
ナット類の製造メーカー(自動車、
家電、機械、工具、床、建築、土木)

★独自技術・製品
冷間塑性加工技術、CNC旋盤な
どによる高精度加工

冷間塑性加工技術を駆使して あらゆるニーズに対応します

昭和45年(1970年)に東大阪市西石切町で創業、2年後に法人化した頃から高度成長期の追い風に乗れ、建築・土木・自動車などの金属パーツや特殊ボルトナット類のメーカーとして、一挙に業績を上げた。尚、社名の由来は創業者の出身地鹿児島県から来る。

現在では、富田林工場、羽曳野工場、阿久根工場(鹿児島県)の3工場と、本社、東京支店、福岡営業所に営業拠点を有している。

阿久根工場では伸線からメッキまで一貫生産を行い、全工場において大量生産はもとより、段取替の短縮によって小ロット化にも対応している。

鹿児島金属(株)の強みは、多段式フォーマー(6段~2段、線材径φ3~φ34、所有38台)による中空品・貫通穴品・絞り加工品の製造や、CNC旋盤の導入により、製品の高精度化に積極的に取り組んでいる。

金型設計についても自社で行っているため、今まで蓄積した数千点に及ぶ製品開発のノウハウ、ナレッジ・マネジメントにより、機能重視の製品を提案し、低コスト・高機能製品の開発に努めている。

また、VA提案による複数製品の一体化や、金属パーツと樹脂やゴムなど付加価値を付けた製品開発も行っている。

同社は2001年度にISO9001、2004年にISO14001を取得した。今後も、お客様満足度の向上に努めながら、環境にも配慮した企業活動を行っていく。





株式会社 カツロン

〒577-0803

東大阪市下小阪 3-8-6

TEL 06-6721-7115

FAX 06-6725-8679

http://www.katsulon.co.jp

E-mail: info@katsulon.co.jp



代表取締役社長
石川 明一

★創業
1949年（昭和24年）

★資本金
4,550万円

★従業員
100人

★主要営業品目
プラスチック異形押出製品

★独自技術・製品
軟質プラスチック異形押出成形技術、3次元ハイブリッド製法（射出成形+押出成形）

立体異形製品の 連続生産可能に

（株）カツロンは、全国でも有名な「ものづくりの街・東大阪」に所在する「樹脂素材応用製品」メーカー。硬質、軟質プラスチック異形押出製品を製造しており、軟質プラスチックの異形押出では国内トップクラスである。

製品はマイクロ精度のチューブからホース、電車・自動車のドアやウィンドウのパッキン、公衆電話ボックスのパッキン、船舶の緩衝材に至るまで、様々な分野に広がっている。素材の多様性と特性に応じた成形技術によって、オーダーメイドを中心に「多品種、小ロット」に対応し約5000種類の独自製品を開発した経験とノウハウを武器に、オンリーワンの基盤を固めている。

事業の発端は、戦後まもなく始めたチョコレートの押出製造。その後、昭和30年代のフラフープ・ブーム時に、押出技術をその製造に応用して以来、プラスチック押出成形メーカーとして現在に至る。

技術開発にも力を入れ、従来は製品の断面、縦横2次元の成形だけだった押出成形の世界で、複雑な形状の3次元立方体をエンドレスで製造することを可能にした『3次元ハイブリッド製法（押出成形と射出成形の融合）』を発明し、日米で製法特許を取得している。

平成22年には奈良県に2000坪の工場を取得。栃木工場と合わせ、東西に巨大工場を持つ日本一の押出成形メーカーを目指している。





川機械工業 株式会社

〒577-0067

東大阪市高井田西 2-6-17

TEL 06-6783-3793

FAX 06-6783-5168

http://www.kawa-pump.co.jp

E-mail:tec-kawa@crest.ocn.ne.jp

代表取締役社長 川 政彦

★創業
1966年(昭和41年)

★資本金
1,200万円

★従業員
24人

★主要営業品目
チューブ式コンクリートポンプ、
ピストン式コンクリートポンプ、
加圧式移送機

★トップシェア製品
万能式チューブポンプ(85%)、
モルタルポンプ(50%)

活氣的チューブポンプ 生エビも壊さず移送

川機械工業(株)は永年にわたり、産業用ポンプの専門メーカーとしてチューブ式ポンプの開発に取り組み、その分野では85%のシェアを有している。

さらに今般、20年間の研究の結果、画期的なポンプの開発に成功し特許を取得した。強力な吸入力(760mmHg)と圧送能力(30kg/cm²)、そしてバルブのないシンプルな構造の自吸圧送チューブポンプである(万能式チューブポンプ)。

製品の特徴としては、固形物、軟性物、混合液、気体、高粘度、流体の移送に最適で、従来のポンプの20倍以上の耐久性があり、非常にシンプルな構造であるためトラブルは無い。固形物ではチューブ径の1/3以下の大きさの物なら何でも移送できる。また、軟性物では生エビ等を100%壊さず移送できる。また、長い物でも巻きつかずに移送でき、高粘度(10万cp)のものでも対応できる。液体でも攪拌、泡立ちなく移送できる。保守、洗浄についてはチューブ交換も3分程度で済み、洗浄も1分程度と簡単である。

同社の基本理念は「グローバル&ローカル」。先ず第一に、作業現場との密接な結びつきを大切に、開発・生産・販売という三本柱のバランスを取りながら企業活動を展開してきた。同社はいかなる時代にあっても、常に「現場の視点」に立ち、産業界との信頼関係を一層深めながら躍進を続けていく。





株式会社 カワキタ

〒577-0843

東大阪市荒川 2-4-6

TEL 06-6723-0002

FAX 06-6728-5438

http://www.k-kawakita.com



代表取締役社長
河北 一郎

★創業
1946年(昭和21年)

★資本金
1,000万円

★従業員
11人

★主要営業品目
OEM:文具、化粧雑貨、生活雑貨、
ベビー雑貨の企画・製造・販売
自社ブランド:「METAPHYS」
「daccolino(ダッコリーノ)」等
の企画・製造・販売

★独自技術・製品
文具、化粧雑貨などの型・印刷方法

人生ワクワク夢創造企業の実現を目指して

各フロアにはBGMが流れ、清掃が行き届いた事務所・倉庫内では社員が活発に働いている。ショールームでは、かわいい商品たちが出迎えてくれ、まさに夢の世界のようだ。それが株式会社カワキタである。

同社は昭和21年、セルロイド用金型を製作する会社として創業し、その後、プラスチック成形へと移行。昭和50年頃より単なる下請けだけでなくOEM製品の開発に携わるようになり、これまでに3度の転換期があった。最初は、金型から成形へと移行したこと。2度目は、工場をアウトソーシングしファブレスになったこと。そして3度目は、海外生産に取り組んだことである。

特長としては、プラスチック成形を中心として文具や化粧雑貨、生活雑貨の企画を自社で行い、他社との差別化を図っていることである。パテントを保有している型も多い。会社のキャッチコピーは、「創造するところを大切にしています」。企画のコンセプトは、「消費者の立場に立った製品を生み出すこと」である。また、得意先との共同開発やその依頼も多いのも特長だと言える。デザインにも力を入れており、コンソーシアムブランドのMETAPHYSのパートナー企業に平成19年から参画し「brillo」というおしゃれな携帯歯ブラシも企画・販売している。

東大阪ブランドにそのMETAPHYS「brillo」とオリジナルの「イプセコロール・デンタルキット」が認定されている。最近ではひとりのイクメンのアイデアをもとに「ダッコリーノ」という「歩育」を考えた抱っこができるカバンを開発。

今後は、海外マーケットへの進出も視野に入れた動きを加速していくという。日本のモノづくりや心を海外の人々へも伝えていきたい意向だ。これからも夢のあるモノづくりはつづく。





川端ネジ 製作所

〒577-0827

東大阪市衣摺 4-9-11

TEL 06-6728-7570

FAX 06-6728-2178

http://www.art-neji.com

E-mail:kawabata@art-neji.com



代表者
川端 謙二

★創業
1953年(昭和28年)

★従業員
4人

★主要営業品目
特殊精密ネジ・ナット、アートネジ

★トップシェア製品
アートねじ(100%)

『美・機能・デザイン』を 追求したネジ創り

昭和28年(1953年)創業以来、工業用マシンネジ、精密部品を主力として現在に至る。この基盤の技術とモノづくりの楽しみがあってこそ作り出したアートネジは、つなぐ、隠す、というネジ本来の固定概念を180度転換し、また町工場のデザイン力だけで、経済産業省のGマークや数々のデザイン賞を受賞。

さらに、ホームページの開設により、全国から要望が増え、メーカーからの厳しくきめ細かな要望にも対応。オリジナリティーあふれる製品が作り出されている。

近年ネジとナットを応用した、カードホルダー(ポストカード立て)は、企業、及び各種団体から好評であり、今やアートネジは、建物の外観や内装、インテリア、サイン、表札、家具など、さまざまなステージで個性を放っている。

また、創業以来、作り続けてきたネジ、精密部品にも力を入れ、設備を増設し、より複雑な形状や、さまざまな材質にも対応出来るようになった。

創業65周年に向けて、さらなる飛躍を目指し、今後も、製造メーカーの誇りを大事に、景気に左右されない、独自の「Kawabata Neji」ブランドを構築していく。



設備



工業用精密ネジ



東大阪ブランド認定製品カードホルダー(写真立て)



セキュリティーネジ、アートネジ



関西チューブ株式会社

〒578-0932

東大阪市玉串町東 3-5-8

TEL 072-963-2264

FAX 072-964-2015

http://www.kansai-tube.co.jp/



代表取締役社長
山中 直理

★創業
1925年(大正14年)

★資本金
7,500万円

★従業員
123人

★主要営業品目
金属チューブ容器、ラミネート
チューブ容器、プラスチック成形
品

★独自技術・製品
医薬品用特殊仕様チューブ、医薬
品包装対応技術

チューブ容器の老舗企業 として業界をリードする

関西チューブ株式会社は、創業90年を迎える国内でも有数のチューブ容器の老舗専門メーカーで、主要製造品目は、金属チューブ(アルミチューブ)、ラミネートチューブ、プラスチック成形品である。

同社の強みは、医薬品包装への対応力で、長年にわたり金属チューブ製造で培ってきた技術ノウハウを活かして、それまで歯磨き専用チューブとされていたラミネートチューブに応用・展開した。

ユニークで独創的な開発品を世に送りだし、特に、世界初の閉鎖型ラミネートチューブ「メンブランチューブ」は、従来品の約5倍のバリア性と、改ざん防止性を備え、新世代の医薬品用チューブとして注目されている。

また、同社の原点である金属チューブにおいては、中味の絞り出し難さを構造的に改善したアルミチューブ「エンボスチューブ」を開発した。

それらは医薬品包装に必要とされるハイレベルな機能・品質を維持した上で、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた画期的な開発品である。

近年では、時代の流れや市場のニーズの変化に合わせて、小ロット・多品種・短納期生産への対応や、印刷技術を含む意匠面の開発にも力を注いでいる。





株式会社 関西電工

〒577-0818

東大阪市小若江 3-3-1

TEL 06-6721-4793

FAX 06-6724-6588



代表取締役
大住 ヒサ子

★創業
1963年（昭和38年）

★資本金
1,000万円

★従業員
20人

★主要営業品目
電気亜鉛めっき処理加工及び選別
検査業務

★独自技術・製品
環境に配慮した独自の表面処理技術により、優れた皮膜力と優れた均一電着性を実現

独自の表面処理技術で 高品質なめっきを提供

株関西電工は、主に自動車や家庭用ゲームに代表される電子機器関連の金属部品の表面処理を得意とし、創業以来、電気亜鉛めっき、中でもバレルを用いた処理加工に特化する。鉄鋼などの金属はもちろん、ナット内径にナイロンリングをかしめたナイロンナットにも電気めっきを施す。

環境に配慮した独自の表面処理技術により、優れた皮膜力と、優れた均一電着性を実現。徹底した品質管理の下、高耐食性を誇り、外観は落ち着いた光沢を放ち、色調も安定している。

めっきを発注する取引先の全ては、安定した高品質の提供を望んでおり、同社は『管理技術を買ってもらうサービス業』と認識し、品質管理を徹底。

『誰が、いつ、めっきをしても、不適合品を作らない』、『誰が、いつ、めっきをしても、バラツキがない』と取り組んだ結果、安定した高品質のめっきを提供している。

また、同社内に検査部門を設置し、めっきの品質検査だけでなく、めっき専門家では稀有である熟練された専門スタッフによる目視選別検査を実施。めっきの外観だけでなく、同時に取引先から納品された製品不良についても検査をし、不良品の発見時には、顧客にフィードバックし、より良いものづくりに向けて、双方で協力し合うことで取引先から信頼を得ている。





木田精工 株式会社

〒 579-8025

東大阪市宝町 13-26
TEL 072-982-4650
FAX 072-943-4600



代表取締役社長
木田 潔

★創業
1977年（昭和52年）

★資本金
3,000万円

★従業員
70人

★主要営業品目
めっき製造設備の製造及び表面処理加工業

★独自技術・製品
環境に配慮した無排水めっき処理システムの製造販売及び高耐食表面処理の加工

高耐食のステンめっきで 優位性を担保

木田精工(株)が製造した表面処理設備は、創業以来40年近くの長きにわたって、数多くのユーザーから支持され、国内だけにとどまらず、アメリカ、メキシコ、ドイツ、韓国、中国、マレーシア、インドネシアなど、海外にも納入している。

特に最近の環境に対する規制強化に伴い、その対応策として無排水による表面処理設備の研究開発・販売に注力している。

表面処理加工については、これまで長年培ってきた表面処理設備の製造ノウハウ及び表面加工処理技術を活用し、鉄の素材に厚み数ミクロンで超高耐食性を発揮する「ステンめっき」(ニッケル亜鉛合金めっき)を施すことによるステンレス素材の代替品の供給も検討している。

この「ステンめっき」は世界初の試みで、ニッケルや亜鉛など4種類の金属を配合した皮膜によって、結晶の緻密化、耐食性、耐摩耗性、非磁性化やステンレスに近い外観など、単一の金属皮膜では実現できなかった特性を発揮するもので、同社が新たに市場での優位性を担保する加工技術を目指している。





木田バルブ・ ボール株式会社

〒578-0932

東大阪市玉串町東 3-1-36

TEL 072-963-2441

FAX 072-963-5812

http://www.kvb.jp

E-mail:info@kvb.jp



代表取締役
木田 浩史

★創業
1964年(昭和39年)

★資本金
4,500万円

★従業員
78人

★主要営業品目
ボールバルブの弁体、球体、精密
型打鍛造品

★トップシェア製品
ステンレス製のボールバルブの弁
体用ボール(60%)

独自の球面加工機で 難削材ステンレス鋼克服

木田バルブ・ボール(株)のトップシェア製品は何と言っても社名の通りボールバルブ用の弁体用のボールで、中でもステンレス製に特化し60%のシェアを有している。

ボールバルブの弁体用ボールは球径Φ1,200mmの大型から、Φ10mmに満たない小径のものまでロット数1個から量産まで受注出来る体制を整えている。この部品の特徴は真球精度と表面粗さ精度が求められ、球体加工技術が同社の独自技術となっている。

ステンレス製ボールバルブの弁体用ボールの開発は、ひとえに難削材ステンレス鋼の克服にあった。ステンレス鋼の球体加工は刃物・治具・加工機の工夫が必要で、同社の持つ高い技術の蓄積と永年の経験がものを云う。特に球体切削加工機、球体研磨加工機などは全て同社独自のオリジナルマシンとなっている。

また、素材となる鍛造(三重県伊賀工場)～球体研磨(本社工場)まで全て自社で自在に品質、納期をコントロールできる体制を整えており、顧客ニーズに迅速かつ高品質要求に対応している。球体の切削加工のみの加工依頼、球体の研磨のみの加工依頼も近年増えており、独自の0.05ロットの受注体制も同社の特徴の一つでもある。加工材質はSUS全般、ハステロイ、インコネル、チタン、ニッケル溶射材、タングステン溶射材、セラミック、コバルトクロム合金や樹脂全般など殆どの材料に対応している。

創業来積み重ねてきた、独自の加工技術の開発には余念がなく、近年では医療用人工股関節に使用する球体にも同社の技術が採用されている。真球精度1μ未満、表面粗さRa0.03を量産出来る体制も整えている。

今後は更に球体加工技術開発、研究開発を行い、あらゆる分野へ視野を広げていく考えである。





株式会社 キタムラ産業

〒578-0901

東大阪市加納 4-16-37

TEL 072-966-2344

FAX 072-966-0043

http://www.kitamuraindustry.co.jp

E-mail:accept@kitamuraindustry.co.jp



代表取締役社長
北村 仁志

★創業
1972年(昭和47年)

★資本金
2,056万円

★従業員
95人

★主要営業品目
LED 応用機器等の開発製造及び
道路保安用チェック

★トップシェア製品
道路保安用電気機器 (50~
70%)

LEDのごとく 光の速さで市場を席卷

㈱キタムラ産業は「光りですべての現場から事故を無くそう!」をモットーに、LED 応用機器・道路保安関連電気機器を開発・製造するメーカーであるとともに、全国の道路保安市場にあらゆる商品を供給する総合商社として、業界で確固たる地位を占める。

同業他社に先駆けて品質の国際規格である ISO9001 の認証を取得し、顧客からの信頼を強固にする製品作りと、顧客の満足度を高める営業活動を全社あげて推進、全社員にそれらの目標を同じ価値観で共有させ、それを達成させるために各種の仕掛けを講じている。目標管理制度や提案制度・小集団活動などがそうだが、近年はその推進の基となる報奨制度の充実に重点を置いている。

『社長賞』、3本部毎の『本部長賞』、3種類の『提案賞』、「資格取得賞」、社員同士で褒め合う『社員 MVP 賞』などを設け、小集団活動は年二回の発表会毎に優秀チームを表彰している。

近年は環境問題に配慮した経営にも余念がなく、ISO14001 の認証を取得して、社員表彰に『ECO 大賞』を新たに追加、ECO 製品の開発や社内 ECO 活動への取組みも強化している。その結果、新しく開発される新製品はほとんどが、LED ランプやソーラー発電を応用したものである。

同社が手掛ける LED 表示装置は、用途や道路工事の規模・種類、道路の状況などに応じて様々な仕様が要求される。例えば、冬場の日本海に面した都市の日照時間は極めて短いのが、課題をひとつひとつ解決しながら、電流のもっとも消費効率のよいソーラー式表示システムの追求と改善を重ねてきた。

その結果、2011年、市場が待ち望んだソーラー式フルカラー LED 表示装置を発売にこぎつけた。

北村社長は、「フルカラーだからソーラー表示装置の実現は無理だという既成概念を捨て、社員が皆で知恵を出し合って実現させた。チャレンジする風土が社内に醸成されつつあり、我社の将来が楽しみだ」と手応えを感じている。





木ノ本伸線 株式会社

〒579-8026

東大阪市弥生町 2-56

TEL 072-988-1801

FAX 072-988-2814

http://www.kinomoto.co.jp

E-mail: info@kinomoto.co.jp



代表取締役社長
木ノ本 裕

★創業
1935年(昭和10年)

★資本金
1,800万円

★従業員
65人

★主要営業品目
磨棒鋼、異型線、鉸螺用線材

★トップシェア製品
快削鋼シャフト、作業工具用特殊鋼(70%)

伸線の故郷「枚岡」から 高精度シャフトで快走

木ノ本伸線(株)は、社名に伸線とあるが、現在はシャフト(磨棒鋼)のメーカーである。

その歴史は古く、伸線業発祥の地「枚岡」の草創期を支えた木本幸七、磨棒鋼を日本で初めて製造した岡田米蔵の二人を創設者とする。

創設以来、常に新しい分野を開拓し、着実な発展を遂げてきた。大同特殊鋼(株)の協力を得、いち早く素材の改良を手がけた快削鋼シャフトではトップシェアの地位にある。また、異形シャフトはユーザーの加工工程が省略できる合理化製品として高い評価を得ている。

シャフトの用途は、自動車・OA機器・電動工具部品・工作機械・電機機器・農機等あらゆる分野に及ぶ。常に新しいニーズへの対応を可能にしているのは、長年にわたり蓄えられた技術力と優秀なオペレーター集団である。

長きにわたる景気低迷で厳しい経営環境下であるにもかかわらず、同社が業績を伸ばしてきたのは、コンピュータを駆使した生産の効率化、短納期システムの確立、配送業務の合理化と即納体制、多品種少量化への対応であった。とりわけ同業他社との大胆な業務提携の成果は大きい。

元々、ものづくりの街である東大阪にはサポーター企業、とりわけ開発型企業が多いというメリットがあり、新たな製品を開発できる機会が多い環境にある。今迄にも業界初の製品を手がけてきた同社は平成18年に「明日の日本を支える元気なモノづくり中小企業300社(経済産業省・中小企業庁)」に選定され、平成20年「第10回東大阪モノづくり大賞金賞(東大阪商工会議所)」受賞、平成21年には「第42回グッドカンパニー大賞優秀賞((公社)中小企業研究センター)」を受賞し、社会的にも評価を得ている。また同社は、環境に優しく軽量化に貢献するマグネシウム合金の加工技術開発に成功する等、東大阪を拠点として、より一層新しい分野への挑戦を続けている。





クラスターテクノロジー株式会社

〒577-0836

東大阪市淀川町 4-5-28

TEL 06-6726-2711

FAX 06-6726-2715

http://www.cluster-tech.co.jp/

E-mail:osaka-tech@cluster-tech.co.jp



代表取締役
安達 稔

★創業
1991年(平成3年)

★資本金
124,072万円

★従業員
65人

★主要営業品目
合成樹脂複合材料の製造及び関連製品

★独自技術・製品
高精度・高機能精密成形品及びLED用白色材料、高熱伝導性で絶縁材料

最先端電子機器の樹脂材料をサポート

クラスターテクノロジー(株)の主力製品は高耐熱性、高摺動性、低吸湿性、低熱膨張性といった機能に特徴ある独自材料を用いた精密成形品である。ユーザーが求める機能に応じて材料開発し、デジタル一眼レフのAFセンサーホルダー等に使われている。

また、同社が独自開発したパルスインジェクター(インクジェット)は、微量な溶液を手軽に扱えることをコンセプトに設計。耐薬品性にも優れており、高粘度溶液や表面張力の高い溶液も吐出可能である。1秒間に1万滴というスピードでピコリットルオーダーの定点配置が可能である。平成19年2月に発売を開始したところ、企業・大学等の研究機関、公的試験研究機関での研究開発に使用されるケースやバイオ・ケミカル分野等理化学機器として使用されるケース等、多くの産業分野で高い評価を得ている。

更に、同社が開発したエポキシ絶縁材料「エポハード」は軽量で、その上セラミックではできない複雑な形状を可能にし、重電機器絶縁材料として屋内配電盤向け樹脂碍子の分野でシェアを有している。ナノテクノロジー技術を礎とした独自技術による新製品としての「LED用白色材料」と次世代高密度デバイス用の高熱伝導性の絶縁材料「エポクラスタークーリエ」は新分野・新規顧客への展開が期待されている。

同社は機能性材料・金型・成形・解析・組立の一連の基幹技術による高付加価値製品に注力していることが強みである。





ケーエム精工 株式会社

〒578-0982

東大阪市吉田本町1-10-16

TEL 072-966-4466

FAX 072-966-6677

http://www.kmseiko.co.jp/

E-mail: info@kmseiko.co.jp



代表取締役
北井 啓之

★創業
1959年(昭和34年)

★資本金
4,500万円

★従業員
120人

★主要営業品目
ナット(自動車・建築・住宅用)、
冷間圧造パーツ、ドリリングタッ
ピンねじ製造販売

★トップシェア製品
ドリルねじ(ドリルアンドドライ
ブ)

あらゆるお客さまの要望に 応える創造力企業

ケーエム精工(株)は、自動車のエアバック用ねじ、信号機の取り付けねじ等、高品質が問われるねじを製造する。最近ではエアバックなどに要求される『緩まない』という技術を小型の製品だけではなく、大型の製品にも取り入れ、あらゆる分野での要求に応える。また、信号機の取り付けに使用されるねじは風速90mの台風にも耐え得る品質が要求されるため、人の目で1つ1つ検査をしていたが、コスト面・生産効率などを考え、独自で検査装置を開発し機械による検査を行うことでそれらの問題をクリアし、現在ではシェアのほとんどを占めるようになっている。

また、1.2mm～6mmの鋼板を下穴なしで接合するのに用いられるドリルねじ(ドリル&ドライブ)には、厚い合板を接合する場合でも切粉がつかまらないリーマー付ねじもあり、大好評である。現在では施工性の改善はもちろん、ねじ本体の耐食性に対しても世の中のニーズに応えるため、自社で保有している表面処理ラインを改善しステンレスねじの施工性はそのままに、耐食性を向上させたファインパシベートを開発した。

また、近年ではステンレス・チタン製温間鍛造パーツの製造に取り組んでいる。これらの製品には、独自で開発したサラコートによる焼付防止を施している。このコートは同社の製品ばかりでなく他社製品にも加工依頼がある。『接合部品をテーマに常に新製品を開発すること』を掲げ、中小企業創造活動促進法の認定を受け、更に大阪大学と共同開発で大径ドリルねじの開発を行うなど研究開発型企業として公にも認められつつある。



ケーエム精工株式会社



日本工業規格表示許可工場

ISO9001・14001 登録事業所



株式会社 ケンテック

〒578-0901

東大阪市加納 5-1-8

TEL 072-814-8000

FAX 072-814-8080



代表取締役
川端 健一

★創業
1999年(平成11年)

★資本金
300万円

★従業員
20人

★主要営業品目
金属熱処理加工、金属表面処理加工、機械加工

★独自技術・製品
ファインコーティングVC、プレスカッター

金型や治工具の寿命を セラミックコーティングで飛躍的にのばす

(株)ケンテックは創業以来、溶融塩法によるセラミックコーティング(ファインコーティングVC)を得意としている。HV 3,000以上の硬度があり、耐摩耗性、耐熱付性、耐酸化性に優れた効果が期待できる。プレス用金型、鍛造型、鋳造型や耐摩耗性が要求される治工具部品に適用できる。

ファインコーティングVCを活かした部品製造も行っており、鋼管(パイプ)の切断において使用される走行式のプレスカッターでは、材料の選定から加工、表面処理まで一貫した製造・管理を行っている。この事により、高品質な刃物を提供することが出来、大手鋼管メーカーでも10年以上の採用実績がある。

また、成型ロール、ガイドローラー、キャプスタンなど回転摺動系のローラーでも使用可能である。一般的には、めっきや溶射あるいは焼入れ鋼が使用されることが多いが、負荷の大きい用途では頻繁にローラーの交換や研磨などのメンテナンスが発生する。ファインコーティングVCはこのようなローラーの耐久性の向上につながる。

グループ会社の(有)ファインテックでは、金型、精密部品の真空熱処理をはじめとした熱処理加工全般を行っており、表面処理、熱処理の両方が対応可能である。





株式会社 小西金型工学

〒579-8014

東大阪市中石切町 6-4-47

TEL 072-981-3477

FAX 072-987-8043



代表取締役
小西 智實雄

★創業
1968年(昭和43年)

★資本金
1,000万円

★従業員
10人

★主要営業品目
プレス金型設計・製作、機械部品
加工、金属プレス製品加工

★独自技術・製品
コーニシュ®金属プレスVE金型
技術ブランド

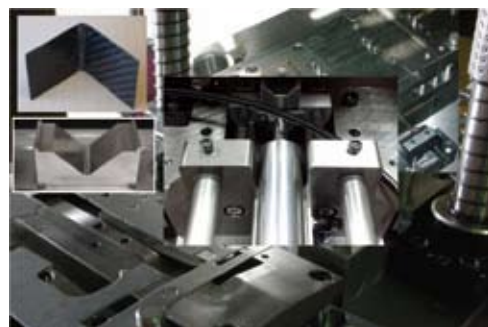
「新ハイブリッド金型」 開発で大幅な工程短縮を実現

株小西金型工学は、約50年にわたるキャリアに裏打ちされた作業性の良さと低コスト性に優れた金型製作に定評がある。また金型の破損しやすい形状部分を、分解しやすいブロック式にして改良時や不具合発生時の対応を迅速にする優れたメンテナンス性や、金型全体の強度を高めることで不具合の発生率を抑え、長寿命化を図っている。

金型による加工と機械加工を同時に行うことが出来る全く新しい金型技術「新ハイブリッド金型」を開発した。従来、機械加工と金型の複数工程が必要であった加工をプレス機1台で加工することを実現したもので、あらゆる複雑形状の製品でも、顧客のプレス機に合わせた金型を製造することができ、また、自動運転への対応など大幅な工程短縮に貢献する。

この独自製法による金型を「コーニシュ金型」(コーニシュ金属プレスVE金型技術ブランド)と名付け、取引先にコスト削減に繋がると営業提案。すでに商標登録も済ませ、「コーニシュ」マークを貼った金型を納品し、顧客の利益増大に役立つ技術力であるとPRしている。ちなみに「コーニシュ」は社名をもとに覚えやすい5文字にした造語で、「関西ものづくり新撰2014」新市場創出の製品・技術に選ばれている。

この新技術は、自動車、情報家電、医療機器など国内外の生産工場への提供が可能で新市場における波及効果も見込まれ、顧客ニーズに大きく対応できると考えている。





株式会社 コノエ

〒 578-0957

東大阪市本庄中 2-3-36

TEL 06-6747-6051

FAX 06-6747-6053



代表取締役社長
河野 裕

★創業
1952年（昭和27年）

★資本金
9,950万円

★従業員
187人

★主要営業品目
測量用明示境界用品の製造卸

★独自技術・製品
コノエネイル、コノエダブル

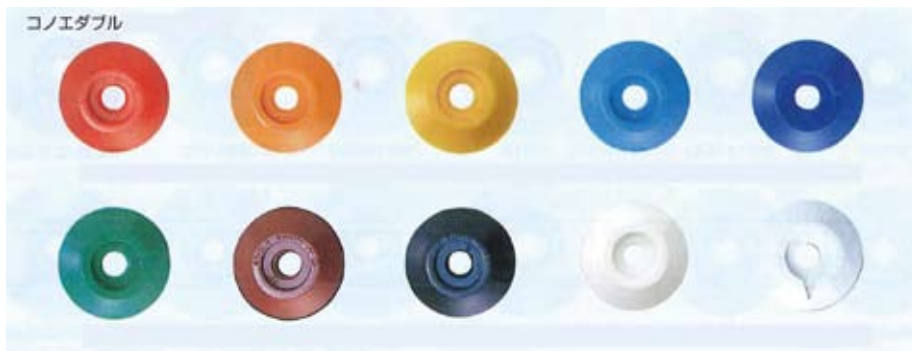
日本初の測量鉞を開発

国内シェアNo.1の「コノエネイル」は、日本初の測量鉞として誕生して以来、様々な改良と豊富なサイズ展開により、全国の官公庁や大手企業で採用されている。

コノエネイルは、硬度とねばりが強い強靱な特殊鋼を素材として先端を螺旋状に加工し、曲がらず折れにくく、コンクリートから砂利道まで打ちやすく抜けにくい測量明示鉞である。

コノエダブルは、コノエネイルの明示性を高めることを主体にしながら、設置場所や目的に応じて識別できる機能を兼ね備えた製品で、ABS樹脂製で軽く、割れにくく、耐久性に優れているため、コノエネイルをしっかりと保護することが出来る。

1972年（昭和47年）に日本で初めて、測量鉞「コノエネイル」を世に送り出して以来、測量用品の提供を通じて次々と新しいスタンダードを作り上げてきた。近年ではユビキタス社会の到来を見据え、ICタグを利用したハイグレードな製品開発に重点をおくなど、次代への発展を標す基点となる製品を提供している。





株式会社 五力工業

〒578-0941

東大阪市岩田町 3-11-11

TEL 072-961-2255

FAX 072-965-3233

http://www.goriki555.co.jp

E-mail:bob-pins@goriki.com



代表取締役
鎌田 益廣

★創業
1871年(明治4年)

★資本金
8,800万円

★従業員
42人

★主要営業品目
ヘア・ピン製造

★独自技術・製品
ヘア・ピン製造、ヘア・クリップ
販売

流行のヘア・スタイルを 支えるプロ愛用のヘア・ピン

ヘア・ピンには様々な形状があるが、開いたピン(オニピンもしくはヘア・ピン)と閉じたピン(ボビーピン)と大別される。(株)五力工業は、創業以来、これらを主に美容師(プロ)を顧客として製造・販売してきた。きっかけは、戦時中、割ピン製造機を所有していたが、戦後、欧米でヘア・ピンというものがあると聞き、「形が似ているなら、保有している機械を改良することで、製造できるのでは」と考え、取り組んだことに始まる。

こうして、日本初のヘア・ピン自動製造機が誕生した。以後、職人に頼らず、職工を抱える方針で機械の改良を加え続けてきた。並行して、基本技術の特許取得にいち早く取り組み、これが、現在の地位を確固たるものにしていく。

流行のヘア・スタイルに対応できるヘア・ピンを提供するため、同社では、美容師(特に若手)との交流の機会を積極的に持ち、常に新しい情報の収集に余念が無い。「美容師も男性が増え、話がしやすくなった」とは社長の弁。「逆に百貨店等への納入の際は、取引先の担当者に女性が増え、売れるものと売れないものをはっきり言ってくれるので助かる」という。

また、気候風土の違いから、国によって、ヘア・スタイルが違うため、各国のヘア・ピンを収集し、あらゆる要求に応えられる体制作りに取り組んでいる。今後も流行をいち早くとらえ、最適のヘア・ピンを提供していくとのことである。





金剛鋌螺 株式会社

〒577-0016

東大阪市長田西 3-5-1

TEL 06-6744-3255

FAX 06-6744-2188



代表取締役
久保 清一

★創業
1946年(昭和21年)

★資本金
4,000万円

★従業員
100人

★主要営業品目
各種六角ボルト、座金組込み六角ボルト、各種パーツ

★独自技術・製品
冷間圧造・転造技術

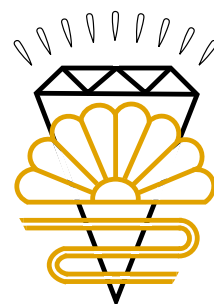
冷間圧造六角ボルトメーカーとして ISO9000 日本で一番早く取得

創業50年目の1995年に、国内冷間圧造六角ボルトメーカーとしては初めて(一財)日本品質保証機構(JQA)よりISO9002の登録認証(JQA0991)を受けた。現在も「お客様の満足を得るため迅速をモットーとし、常に創意工夫、改善に努め優れた品質の製品を提供し続ける」の品質方針に基づき、半年に一度のフォローアップ審査を通じ品質保証システムの確立・スパイラルアップに努めている。

認証取得の実績を生かして、96年夏から「ISO相談室」を設置。コンサルティング業務を開始した。取得のノウハウと現場を熟知している強味を生かして生産管理部部長をはじめ3名で運営、企業訪問、代表者との面接、自社見学、作業の標準化の方法、手順書の作り方などを具体的に指導、認証を目指す企業も成果をあげている。異業種、同業種、規模の大小に限らず、志を同じにするメーカー間でネットワークを組み「お客様の満足いく製品を、満足いく価格で提供する」ため「インターネットをはじめあらゆる情報のノウハウを吸収、駆使して交流企業を増やしていきたい」と横山邦夫常務は話す。「鋼、ステンレスだけでなく18金の線材を使ってGパン用のカシメピンを製造したり、チタン、アルミ、銅、真鍮など冷間圧造のできる材料であれば加工可能」とも。

また、環境にも配慮して、2005年4月には、ISO14001を認証取得した。

産業の塩と言われるねじを柱とした金属部品メーカーとして「社員に夢をもたらし、世界中の人々から信頼され、顧客企業のブレンとして長いおつき合いをしていただけるような会社」を目指している。



ダイヤ菊水印



近藤化学工業 株式会社

〒578-0932

東大阪市玉串町東 2-2-4

TEL 072-965-0121

FAX 072-965-0129

http://www.kondo-kagaku.co.jp

E-mail:kai03@kondo-kagaku.co.jp



代表取締役
近藤 力

★創業
1959年(昭和34年)

★資本金
3,000万円

★従業員
162人

★主要営業品目
塩化ビニルコンパウンド、各種合成樹脂押出成形品及び射出成形品、電力用品通信機器部品

★独自技術・製品
塩化ビニルコンパウンド、射出成形品高精度製品

塩化ビニルコンパウンド 一筋に世界レベルを目指す

近藤化学工業㈱は、「お客様には誠実に」「仕事には真剣に」をモットーとして取り組み、すみやかな実行をもって顧客の要望に応えることによって、会社の実績を伸展させ、そして従業員の生活の安定と幸福を願い、ひいてはそれが社会に貢献することと信じ企業運営を行なっている。

今のグローバル化された社会で顧客の要求は多様化、高度化する中で、同社は中小企業として専門分野で独自の技術開発や新製品の創出に努力している。環境問題ではCO₂削減の取組みとして省エネ・資源の有効活用やゼロエミッションを目指し、リサイクル製品の開発にも力点をおいている。

同社は、プラスチック総合メーカーとして、原材料の開発、製造、販売、それら原材料を使用した製品の製造、販売を行なうなど、各方面に幅広く貢献している。





佐藤鉄工 株式会社

〒577-0065

東大阪市高井田中 1-7-10

TEL 06-6783-1484

FAX 06-6783-1868

<http://www.satotekkou.co.jp>

E-mail: sato@satotekkou.co.jp



代表取締役
佐藤 晃司

★創業
1950年(昭和25年)

★資本金
1,000万円

★従業員
23人

★主要営業品目
鋼球、プラスチック球、セラミック球、ガラス球等各種素材の球体製造

★独自技術・製品
球体製造の為に高精度研磨技術

機能を追及した高精度な 球体が生み出す無限の可能性

佐藤鉄工(株)は、鋼球をはじめ、プラスチックやガラス、セラミック等様々な素材で球体を製造しており、パチンコ球では約30%の国内シェアを占めている。

同社は昭和25年の創業時には紡績、印刷機械の修理改造を業としていたが、昭和27年に大径ベアリング鋼球を製造して以来、球体製造に取り組み、顧客からの要望で鉄以外の球体の製造も手掛けるようになった。以後、プラスチック球やセラミック球等の研究開発を始め、特殊球製造部門を設立した。現在ではパチンコ球を除く鋼球は生産委託により海外生産し、高精度が求められる付加価値の高い特殊球は国内で製造している。

特殊球の素材のひとつであるプラスチックは、軽量、耐酸性、対アルカリ性、絶縁性、対磁性に加え、着色や添加物による機能性が付加できる等の長所があり、特殊バルブや化粧品、コンピュータ等幅広い用途がある。しかし、機械部品や宇宙原子力部品など耐熱性を求めるならばセラミックを用い、医療機器、光通信や光学機器など不活性や光の透過性を求める場合はガラス素材を用いる等、ユーザーのニーズに合わせて様々な素材を選定し球体化している。

同社は、球体加工の先行メーカーとして、素材メーカーからの試作依頼があり、新素材の球体化に取り組める優位性がある。また、同社が駆使する特殊球の製造機械は、市場では販売されていないことから、自社開発しており、独自の高精度研磨技術を確立している。球体の特性と新素材の特性の組み合わせによって新たな用途が広がり、同社の技術開発力で無限の可能性が拓かれる事が期待される。





澤田光学

〒 578-0921
東大阪市水走 2-15-49
TEL 072-961-5089



代表者
澤田 千佳良

★創 業
1965年(昭和40年)

★従業員
3人

★主要営業品目
真空蒸着の薄膜

★独自技術・製品
反射防止膜、球面に均一になる多層膜の製造

真空蒸着に関する最先端技術で 既存の技術にブレークスルーを

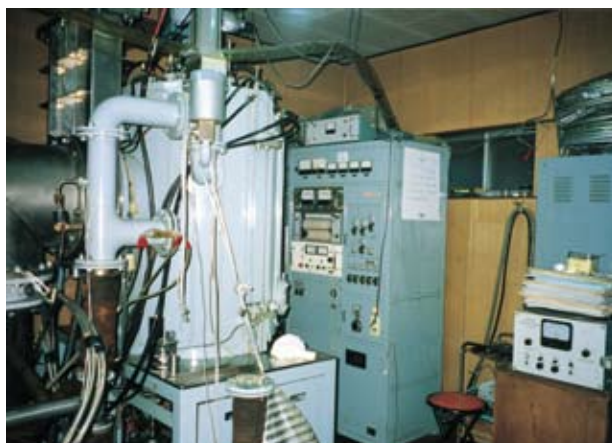
澤田光学は大手企業や国公立研究所等から依頼される真空蒸着に関する製品のサンプル作成や、少量生産を主に行っている個人事業所である。先代から引き継いだ事業で、大企業の下請けとなることを潔しとせず、大企業よりもアイデアと技術をもったベンチャーに徹している。

同所の得意とするものは、

- ・球面上に均一な多層膜を製作し球面全体に同一の干渉色を出せる技術
- ・真空蒸着による反射防止膜の製作に関して、他社に比べて極めて高い透過率を有する薄膜を形成する技術
- ・熱線は透過させ、可視光のみを反射させるコールドミラーや、熱線を反射させ可視光を透過させるホットミラーに関する技術
- ・透明導電膜（ITO膜）を使用したタッチパネルやプラスチックタッチパネルに関する技術
- ・15層にも及ぶ多層膜を施した三色分解フィルター等の薄膜多層化技術
- ・資源探査人工衛星「アディオス」のアンテナ製作に見られる高い特性と耐久性を持つ真空蒸着製作膜技術等がある

蒸着技術は物理・化学・工学の総合的なものと考え、国内の高度な真空蒸着に関する問題では“様々なルートをたどり、最終的に同事業所へ相談・依頼がくる”という数々の実績を持つ。

これからも薄膜を使って安価な超高感度光発電パネルの製作に取り組んでいく。





株式会社 サンクレスト

〒577-0814

東大阪市南上小阪 12 - 42

TEL 06-6725-5553

FAX 06-6725-5539

<http://www.suncrest.co.jp>



代表取締役
植田 実

★創業
1986年(昭和61年)

★資本金
6,000万円

★従業員
24人

★主要営業品目
OA/TV/GAME/ 携帯電話用フィルター製造販売

★トップシェア製品
メールブロック、ジュエリーシール、マジックフィルム

一歩先の企画で社会に 喜ばれる製品開発

(株)サンクレスト創業のきっかけは、植田社長の甥が、涙を流しながらテレビゲームに熱中しているのを見て、目への負担軽減の為にテレビ画面にアクリル板を取り付けたところ、涙が止まった事に始まる。そして、子供たちの目を守るべく開発をした製品が“サンフィルター”である。

同製品はジャパンテレビゲームチェーン協会(JAS)の推奨品に指定されるなど、ある一定の販売実績を誇った。しかし、近年の家庭用テレビがブラウン管から液晶に代わり、目への負担が少なくなったことで、次第に商品価値が薄れ、次の商品を企画する必要性を感じていた。

そのような中、当時メール機能が追加され急激に普及していた携帯電話に着目し製造したのが、のぞき見防止フィルターの“メールブロック”である。

同製品は、左右45度外側からは文字が全く見えないのが特徴である。同製品は発売当初は、黒のみであり売上が伸びなかったが、渋谷の女子高生に市場調査を行ったところ、「色が良くない、ピンク色があれば付けてみたい」との意見がありピンク色を販売したところ、好評で飛躍的に売上が伸びた。また、左右だけでなく上下45度外側からもものぞき見が出来ない“スーパーメールブロック”もバリエーションに加えている。

次いで、携帯電話を装飾するジュエリーシールも同社の主力製品である。同製品については、これはEN71-PART3(欧州玩具安全基準)を取得しており、装飾用材料については、台湾から輸入し中国で加工する工程を踏むことで、安全な製品を提供している。

また、携帯電話やパソコン画面用の“マジックフィルム”はフィルムにキズが付いても、フィルムに施された特殊コーティングが自己修復し元通りになる特徴を有しており、これらの製品は高い市場シェアを占めている。

同社は、これからも一歩先の顧客ニーズを掴み、社会に喜ばれる製品開発を進める。





株式会社 サンビ

〒577-0007
東大阪市稲田本町 2-7-22
TEL 06-6745-1333
FAX 06-6745-4949
http://www.sanvi.jp



代表取締役社長
田上 晴久

★創業
1953年（昭和28年）

★資本金
5,000万円

★従業員
40人（パート社員含む）

★主要営業品目
スポーツ衣料製造卸

★独自技術・製品
パーソナルユーザー商品の受注管理生産システム

パーソナルユーザー製品の 受注管理生産システム

昭和28年に創業した(株)サンビは、平成15年、中国浙江省嘉興市に独资工場を設立。短納期・小ロット生産を可能にし、多様化するお客様のニーズに答えている。

マーケットのニーズはここ数年変化しており、プロパー製品といわれるカタログ製品から、パーソナルユーザー向け製品の別注の生産数が大幅に増えている。このパーソナルユーザー向け製品は、いつ・どの製品にどのくらいの発注があるのか予測出来ず、それに即対応出来るように材料等を常時確保しておく必要がある。また、その材料の把握と生産進捗・納期返答を確実に行う必要もある。同社は、このマーケットの需要に応える為、平成26年に基幹システムを変更し、このパーソナルユーザー向け製品を的確に生産出来るシステムを導入した。

以前は、得意先より別注製品の生産依頼があっても、工場への材料、生産ラインの状況確認を行い、材料が不足している場合は、発注を行いその材料の納期によって製品の納期を答えるという状況で、時間と手間が掛かり、それが製品納期にも影響をしていたという。

そこで新たな基幹システム（経営改革21）をベースに同社の独自システムを開発。生産する為の材料、生産ラインの確保、製品納期の返答を中国工場とのネットワーク上で相互に確認が出来るシステムである。これにより営業が得意先で別注依頼を受けた時に、モバイルで生産スケジュールの確認が可能となった。短納期・小ロットの仕組みは、同社として持ち得ていた為、この材料の把握・生産ラインの状況がネットワーク上でいつでも確認出来ることが加わったことで、さらに納期短縮が可能となった。また、生産データの蓄積で、毎月の適正材料を確保出来るようになり、生産の効率化も大幅にアップした。

同社は、今後も新しいサービスを提供する為、マーケットが求める情報を収集し、よりよい企業として努力していく。

KK21 生産管理システムの営業・材料・工場の一元管理			
営業	工場	工場	営業
〈発注〉 得意先からの発注	〈材料確認〉 材料の把握・適正在庫	〈生産スケジュール・進捗〉 生産ラインの確認・進捗	〈納品〉 納期確定

ネットワークでの生産状況の確認がどこからでも可能となりました。



三陽化工機 株式会社

〒 579-8063

東大阪市横小路町 4-3-24

TEL 072-984-6381

FAX 072-981-1366

<http://www.sanyokakoki.co.jp>

代表取締役 中崎 弘子

★創業
1965年（昭和40年）

★資本金
1,000万円

★従業員
12人

★主要営業品目
食品製造機械、石鹼製造機械、
各種精密機械設計製造

★トップシェア製品
業務用マーガリン（バター）製造
装置、固形石鹼製造装置、研磨機
製造装置

業務用マーガリン製造機で 業界シェア 90%

三陽化工機株は、食品機械（主に業務用マーガリン・バター）の全自動製造・固形石鹼製造機械・精密機械の設計から手掛ける製造メーカーである。

同社は昭和40年に東大阪市水走に三陽化工機製作所として創業、主に石鹼・蚊取線香製作機械を中心にシェアを広げ、昭和45年に現在地に移転後、法人化し現在に至る。

石鹼・蚊取線香の需要減少から先代の社長が、業務用マーガリン・バター等の食品製造機械を技術開発した。

50年の歴史を礎に国内油脂業界への納入実績でシェア90%を占めている。

近年では、特に中国においてシェア80%を占めるなど、アジア方面からのオファーも多い。

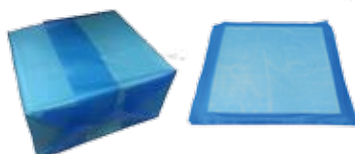
同社主力製品は業務用マーガリン製造機械で、均質に製造されたマーガリン・バターを要望に応じた形状に切断後、独自に開発した包装（4面圧着式・キャラメル折式）にて衛生的に適したパッキングを行い、箱積み工程までを全自動にて一貫して行える製造機械となっている。

なお、発注時点での希望次第で様々な形状（ブロック・ペンシル状）にも対応可能で、業務用マーガリンの製造装置を一貫して生産できる企業は少なく高い信頼と評価を得ている。

同社は油脂メーカーをはじめ、工場内における生産の合理化・省力化設備を開発する食品機械メーカーとしてあらゆるニーズに適応し、設計から納入までの綿密なシュミレーションを重ねグローバル社会の繁栄と共に最先端の技術を導入し生産能力・コストダウン・衛生的・安全面に優れた機械開発に従事し、あらゆる技術を融合した世界に飛躍する企業へと発展を遂げたいと考えている。



▲シートマーガリン切断包装機
SNY-P4-10



▲マーガリン成型サンプル品



株式会社 三和鋌螺製作所

〒578-0982

東大阪市吉田本町 2-7-9

TEL 072-963-0381

FAX 072-964-5502

http://www.sanwabyora.co.jp

E-mail:info@sanwabyora.co.jp



代表取締役会長
榎本 隆之

★創業
1945年(昭和20年)

★資本金
7,894万円

★従業員
83人

★主要営業品目
各種圧造・切削・プレス製品等、
特殊サイズ及び特殊形状ねじの受
注生産

★トップシェア製品
U字ボルト、測量用くぎ

U字ボルト等で 高品質・低コストを実現

ねじ製造メーカーとしては珍しい、多品種・小ロットの注文生産を得意とし、また独自のネットワークを活用し、注文主の細かな要求(金額や品質等)にまでも、全てに前向きに応えていく姿勢を大切にする(株)三和鋌螺製作所。

「メーカーとしての立場から生産体制を考えると、自社の製品を絞り込み、生産コストを最小限に押さえ、価格競争に勝つことが必要かもしれない。しかし、我が社を信頼し注文を頂く取引先が当社を必要とする限りにおいて、生産体制の見直しも兼ねて、ISO9001 認証取得に取り組んだのです」と榎本会長は話す。

いわゆる職人といわれる中堅社員の意識改革に苦労したそうだ。

製品の生産体制や管理体制について長年培ってきた自社のやり方を真っ向から否定し、国際基準に従い、生産から発送まで統一したルール of 浸透にかなりの時間を費やした。

その結果、自社が扱う全ての製品において認証を受け、多品種・小ロット体制を維持しながら、同社が製造する製品の高い品質を改めて実証することができた。

高いシェアを誇る「U字ボルト」は、同社が誇る「まねのできない多品種・小ロット体制」で、生産コストを抑え、他社の追随を許さない。

また「測量用くぎ」は大手測量機器メーカーと共同で開発、生産は同社のみが受け持ち、トップシェアを誇るに至っている。

「みなさんに知ってもらいたいのは、我が社が確立した情報化社会に即応した体制づくり。徹底した情報化体制を社内に導入し、職人の勤や経験に頼らない生産・管理体制で、高い品質と低コストを実現、維持しているシステムが我が社の宝なんですよ」。

まねのできない多品種・小ロット体制が、今後同社のみが生産できる製品を生みだし、トップシェア製品が自ずと生まれることは必然であろう。





株式会社 シナガワ

〒578-0984

東大阪市菱江 3-8-25

TEL 072-964-4756

FAX 072-964-2431

http://www.shinagom.co.jp

E-mail: info@shinagom.co.jp



代表取締役社長
品川 隆幸

★創業
1972年(昭和47年)

★資本金
2,000万円

★従業員
40人

★主要営業品目
ゴム加工全般、樹脂加工全般、
ゴム成形品、樹脂成形品

★独自技術・製品
ゴム、合成樹脂等の超精密微細加工

パッキングの リーディングカンパニー

ゴム及びプラスチックに代表される軟質及び硬質材料を自社開発した加工機で、超精密かつ微細な製品に造り上げる。この業界では他社の追随を許さないのが株シナガワである。

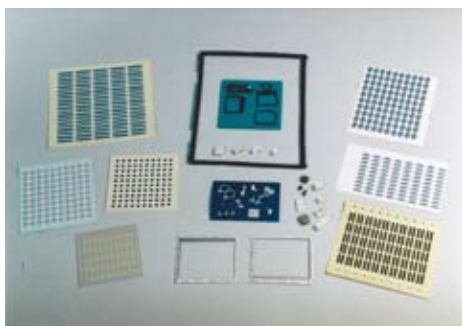
私たちの身近にある製品が「軽薄短小」に変化する中、スマートフォンやタブレット PC など情報端末機器の内部にある重要部品のゴム・樹脂部品も変化が日々迫られている。同社はその要求をスピーディーに対応し高品質な製品をユーザーである OA 機器メーカーなどに送り出し、それらの機器を構成するあらゆるパーツが機能・精度を保ちつつ、軽量化へと進化し続けている。

軟質材料及び硬質材料を高精度な加工技術で製品を供給することで他社との違いが明確となった。そして確かなモノづくりは同社のみが出来る超精密製品を誕生させ、世界の半導体製造メーカーに出荷され、デジタル機器の進歩へと繋がり生活レベルの向上に貢献している。

また小ロットや短納期等、時代に即した供給体制を構築する為、平成 26 年 11 月に新本社工場を建設し生産工程の改善、クリーンレベルを上げた品質体制及び新たな設備導入を見据えた体制も整え、医療分野への仕事も積極的に取り込み、進化し続けている。

ISO9001・2008 の品質システムをベースに生産から出荷までトータルの品質管理を実践している。

そして今、地球環境にも配慮する為、新社屋の屋根全面にソーラーパネルを敷き詰め、社内の照明も LED にし、社員全員がエコ意識を高め、社会に貢献している。





株式会社 下西製作所

〒578-0935

東大阪市若江東町 6-8-25

TEL 06-6724-9501

FAX 06-6724-9141

http://www.shimonishi.net

E-mail: info@shimonishi.co.jp



代表取締役社長
下西 徹

★創業
1968年（昭和43年）

★資本金
1,000万円

★従業員
60人

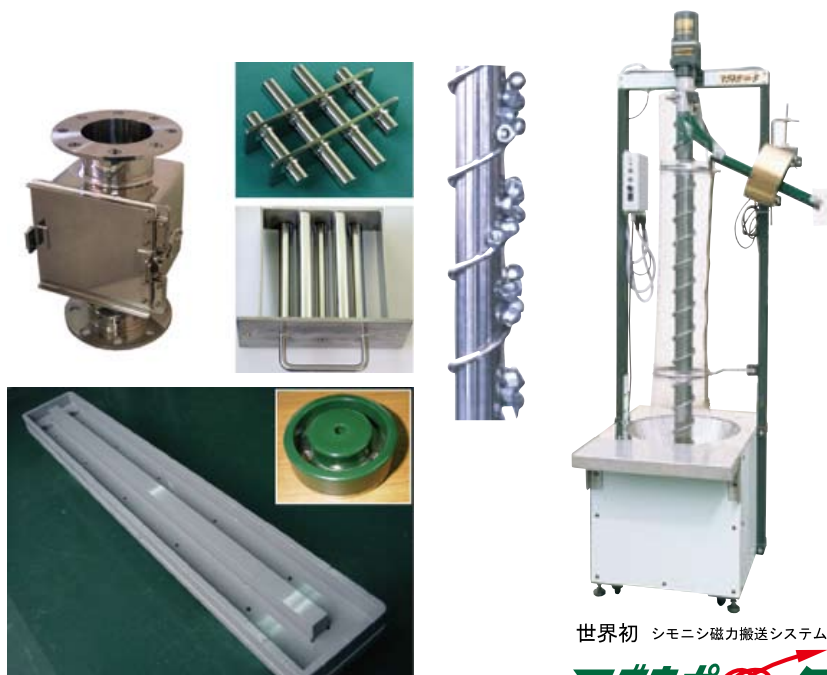
★主要営業品目
各種マグネット応用製品、サニタリー製品、マグネットキャッチ、OA用特殊ヒンジ、各種磁石等

★トップシェア製品
OA用マグネットキャッチ
(40%)

マグネットの応用に 独創性を添えて

「マグネットのパイオニア」を自負する(株)下西製作所は、昭和43年に創業。現在、東大阪市の本社工場の他、東京、香港、中国に営業所や生産拠点を置いている。

創造力豊かな現会長が磁石関連企業の営業時代に「磁性の応用性」に魅せられ独立。以来独創的な磁石関連製品を世に送り出してきた。昭和40～50年にかけて筆箱の止め具「マグネットキャッチャー」を製品化、市場の60%を占有。さらに家具やOA機器の付属として用途を拡大させ定番製品として約60種類以上を揃えるに至り、顧客ニーズに設計段階から積極的に参画し特注に応える柔軟な開発姿勢と品揃えの豊富さを誇っている。特筆される事としては、磁場解析ソフト装置を4台導入し、また、3次元磁場測定装置を駆使して顧客のニーズに合わせた最適磁気回路の設計と検証を積極的に行い、磁気品質の向上、開発時間の短縮、製作コストの削減が可能となった。社内改革にも積極的で、持ち前の独創力を活かしオリジナル製品を有すべく、世界初で画期的な磁力による部品垂直搬送機「マグネポータ」を開発。国際特許を取得し中小企業庁より中小企業創造活動促進法の認定を受け、平成9年に市場投入、同12年NHKが同社を特集した「シリーズ・小さな大企業」においても紹介され一躍脚光を浴びた。平成24年4月には現社長に交代。独創性ある開発品、地場のシミュレーション、解析の知見に強みを持つ新社長のもと、現在は基幹事業である磁石応用製品に加えて、新製品開発を成し遂げたいと新設した新事業研究開発グループを中心に、新たな計画を進めている。永続する100年企業を目指して、時代のニーズを敏感にキャッチし、顧客満足度の高い製品を提供していく。



世界初 シモニシ磁力搬送システム

マグネポータ



株式会社 秀英

〒578-0921

東大阪市水走 1-16-37

TEL 072-966-1145

FAX 072-966-2655

http://www.hokkaru.co.jp/



代表取締役社長
上田 英治

★創業
1972年(昭和47年)

★資本金
1,800万円

★従業員
17人

★主要営業品目
紙器製造販売

★独自技術・製品
電子レンジ使用可能な紙容器

「容易に分離できる紙容器」 で下請けから脱却

創業(1972年6月)から、この道一筋。下請けばかりでなく「自立のためにオリジナル商品を出せないものか」という日々の願望がバネになり、5年をかけた「汁漏れしない、かさ張らない、電子レンジ使用可能」の紙容器(紙トレイ)「ノンリークパッケージ ホッかる」が生まれ、特許を取得した。

どこにでもあるような、テイクアウト用の紙容器だが、箱の四隅が従来の箱と違い、立体的に折り込んだコーナー(四隅)の糊付け部分が表面に出ている。しかし、これこそ、このパッケージが特許出願に至った大切な箇所である。水を入れても漏れない。従来の紙容器の改善ではなく、紙容器の改革として生まれた製品だ。続いてテイクアウト用の紙容器(紙トレイ)も誕生した。完全密封ではないが、「水漏れ、衛生対策」を考えた製品で、パッケージの大きさを機械の規格寸法範囲で自由に変えることができる。

リサイクル業界では、紙1キロ当たりの処理費用が約59円といわれている。原価率を考えると石油製品より高くつくが、環境問題が騒がれているなか、同社は、価格は高いが安く売るのではなく、「自然素材の紙の良さを通してリサイクル社会・地球に優しい」を売るという姿勢で取り組んでいる。そのために「パルプ業界全体が紙の意識改革をする必要がある。そうしなければ独創的な発想の製品が産まれるのでは・・・『思い無くして、思いかなわぬ』、よい環境の中で、よい仕事ができるのは仕事としてベストです」と上田社長は語る。





ジョー・プリンス 竹下株式会社

〒578-0965

東大阪市本庄西 1-4-32

TEL 06-6747-2591

FAX 06-6747-2710

http://www.geoprince.co.jp



代表取締役社長
竹下 健吾

★創業
1950年(昭和25年)

★資本金
3,000万円

★従業員
65人

★主要営業品目
産業機器パーツ・建築金物・建具・
家具用金物の製造販売

★独自技術・製品
アウトサイドハンドル

精度を求めた 人に優しいモノづくり

大阪市内にて建築金物を製造販売する「竹下商店」として創業したのが始まり。以来、売上を順調に伸ばし、東京などに支店を開設して営業エリアを拡大、平成4年にブランドネームを由来とする「ジョー・プリンス竹下(株)」に変更し本社を現住所に移転した。

一押し製品は平成24年に開発した「アウトサイドハンドル」。従来品と異なりガasketの外側に取り付けすることで、ハンドル取り付け部分からの水の浸透を防ぎ、防水効果を高めると共に内部の空間が広がる強みがある。マンション等にある点検口の管理ボックスに使用されている扉のハンドルでは、業界での国内シェア70%を超える。

また、ハンドルを回して開けるレバーハンドルが主流である室内扉において企画開発に尽力する同社は、押す(引く)だけの一操作で開くプッシュプルプレートを自社で開発。軽い・薄い特徴を有し、人への安全性・負担軽減を高めた人に優しい製品として、グッドデザイン賞を受賞している。薄いプレート状にスタイリングされ、狭い空間でも扉を大きく壁際まで開く事ができ、他社製品との差別化を図っている。

多品種・小ロットが求められる中、今後も技術力・改善力・企画開発力を高め、精度を求めた人に優しいモノづくりを目指している。



▲プッシュプルプレート(左)
※室内用ハンドル
アウトサイドハンドル(中央・右)



株式会社 シライテック

〒577-0835

東大阪市柏田西 3-5-21

TEL 06-6728-7615

FAX 06-6728-1444

http://www.shirai-tech.co.jp/



代表取締役社長
白井 博

★創業
1961年(昭和36年)

★資本金
1,200万円

★従業員
110人

★主要営業品目
平板ガラス加工板全般、LCD用
素板切断折り削り

★トップシェア製品
NC自動ガラス切断ライン
LCD用素板自動切断ライン
LCD用カバーガラス切断研磨
ライン

超薄板ガラス切断機の スペシャリスト

「創造は豊かな内容と価値を生む」がシライテックの理念である。単なるひらめきで技術の創造はできないが、創立50年来の技術蓄積により、顧客が世に出そうとする新製品に対する加工機の装置提案ができ、次のステップに繋がると考えている。

最近では、携帯電話、パソコン、テレビ、カーナビ等の前面表示パネル及び薄膜太陽電池基板等は全てガラス素材から製品となっており、これから先も益々の需要拡大が見込まれる。これは同社にとってチャンスであり、時代のニーズに即応した省人・省力・合理性を追求し、伝統の中にも革新を取り入れた製品開発で、顧客の要望に答えていきたいと考えている。

下記写真の装置は、基板サイズG5世代(1100×1300mm)のガラス基板を切断・分断・エッジ研磨する全自動装置で、強化ガラス、タッチパネル、3Dパネル等、非常に扱い難いガラスも特殊なカッターによりスクライブ・分断する事により、プロセス上一番嫌うカレット飛散、スクライブミスによる基板割れ等を防ぎ、客先要求良品率及び最終ユーザーが要求するエッジ強度等もクリアする装置である(特許第3368246号)。

液晶用基板は、2枚のガラスを貼り合わせて1枚の液晶基板となっている。基板サイズ1100×1300mmの大きい基板より、48×75mmの携帯用基板サイズに分断する場合、まずA面をスクライブ後、B面をスクライブするのが一般的であるが、加工工程の中でA面、B面別々の工程でスクライブを行うため、どうしても180度の基板反転が必要となる。特に厚みが0.1～0.3mmの基板を反転する場合、先にスクライブされた面より基板割れが発生し、良品率低下の要因となるが、この問題をクリアした優れた装置が中小型セル基板用無反転切断装置である(特許第3969992号)。

同社は、今後も創業以来の技術の蓄積に革新的技術を取り入れた製品開発で顧客の要望に応える。





清和工業 株式会社

〒 578-0935

東大阪市若江東町 6-6-12

TEL 06-6722-8651

FAX 06-6721-0321



代表取締役
中塚 正捷

★創業
1946年(昭和21年)

★資本金
1,500万円

★従業員
96人

★主要営業品目
自動車用電装部品

★トップシェア製品
スパークプラグコードセット
(80%)
バッテリーターミナル (80%)

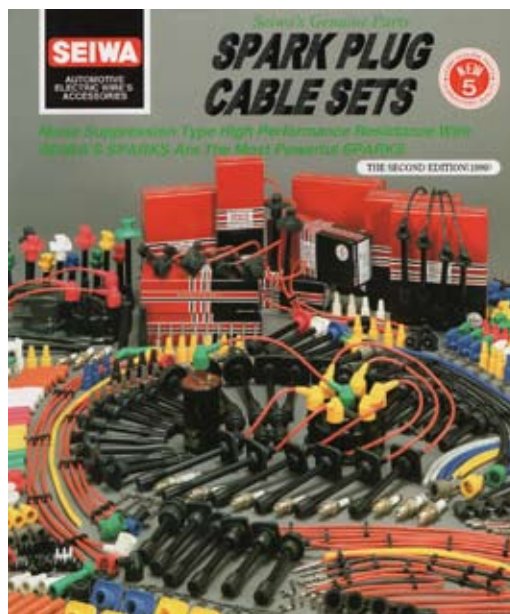
世界品質の スパークプラグコード

北米、中南米、アジア、中東、アフリカ、ヨーロッパ、ロシアなど清和工業(株)が生産するスパークプラグコードセットは、世界各地を走る多くの日本車のエンジンに使用されている。

同社は昭和21年(1946年)バッテリーターミナルより出発し、バッテリーケーブル、ブースターケーブル、充電クリップ、ハーネスやアーシングケーブルなど、自動車関連用品を数多く世に送り出し、多くのトップシェア製品を創り出してきた。中でもスパークプラグコードセットにおいては、他に類を見ない自動生産システムの構築により、業界最高レベルの品質と多品種生産を実現、生産量も現在では年間約150万セットにまで増加している。また、中小企業の利点を最大限に活かした機動性の高い体制も強化し、1セットからの注文にも即応している。

昭和47年(1972年)以降、アフターマーケット用としては初めてスパークプラグコードに、高温・湿度・振動に強いスパイラル金属抵抗線を使用し、あらゆる使用環境や条件を想定した研究・開発を積み重ねた。さらに上述した生産システムと徹底した品質管理によって「完全な製品」を目指し、あらゆるニーズに対応できる多品種、即納体制も整えてきた。そして現在まで約40年間世界各国で実績を積み高い評価を得ている。これは「一步一步前進」という社訓に沿った堅実な経営、そして製品や消費者への誠実な心、そしてそれが全社員にも伝わり、製品1本1本高い信頼性を与えていきたいという姿勢が実ってきた証しといえる。

同社は、これからも「信頼される性能と親切な製品」をモットーに、さらに高度な生産システムを構築していき、今まで以上に自信と責任をもって社会に貢献していく。





株式会社 ソダ工業

〒578-0931

東大阪市花園東町 2-8-15

TEL 072-964-1673

FAX 072-964-1613

http://www.sodakogyo.co.jp

E-mail:eigy@nodakogyo.co.jp



代表取締役社長
曾田 裕一郎

★創業
1974年(昭和49年)

★資本金
4,000万円

★従業員
33人

★主要営業品目
環境改善システム・恒温恒湿・ク
リーンルーム
環境試験装置・自動車テストサ
ポート機器

★独自技術・製品
空調、制御、省エネ技術を融合し
た環境テクノロジー

空気を科学する AIR SCIENCE COMPANY

㈱ソダ工業は、流体の制御を得意とし、3分野(自動車エンジンテストサポート・バイオセーフティ・環境試験装置)において要求される環境を実現するシステム・機器を提供している。また、開発・設計・製造・施工・メンテナンスを一貫して行っており、それぞれの分野で高い評価と信頼を得ている。

自動車エンジンテストサポート分野では高度な技術力をもとに、より専門化した流体制御で「特殊空調」分野へ進出し、絶え間ない技術革新により確実な成果を上げている。

その結果の一つとして「2007年元気なモノ作り中小企業300社」にも選出され、全国でもそのユニークな製品への取り組みの評価を得ている。

環境分野では、リチウムイオン電池研究用の「低湿度ドライチャンバー」や三次元測定器を用いた品質確認を手助けする「恒温恒湿測定室」など特殊用途での環境、空間の提供を実現している。

顧客の要求は多岐にわたるため、各製品はその特徴を十分に発揮すべく構成部品までも緻密に調べそれらを操り独自性の高い系統構成で制御性の高さと安定性の限界に挑戦している。

特徴ある価値の高い製品作りをモットーにしており、前述の3分野全てに独自の制御技術を用いた製品をラインアップし、差別化を図っている。

また各製品において、環境との調和を図った地球にやさしいものづくりを目指し、環境負荷を軽減する企業活動を実践している。

今後も、空気や水、油などの流体を制御する技術であらゆる可能性へチャレンジし、「空気を科学する」ものづくりを追求していく。

同時に、業界を問わず専門知識を備えた人々との交流を活かし、複数の連携による幅広い研究開発を目指していく。



- ・自動車エンジンテストサポート
- ・バイオセーフティ
- ・環境試験装置



大興産業 株式会社

〒578-0932

東大阪市玉串町東 2-5-39

TEL 072-925-3450

FAX 072-923-8710



代表取締役社長
松茂良 興治

★創業
2008年(平成20年)

★資本金
900万円

★従業員
3人

★主要営業品目
業務用油濾過器製造販売、災害時
避難器具の企画販売

★独自技術・製品
ロハスフィルター油濾過器
緊急時高台避難用鎖階段
緊急時避難専用人引車(じんびき
しゃ)

優れた濾過機能と コスト削減効果を実現

大興産業(株)は、業務用フライ油や天ぷら油をリフレッシュする濾過器を製造販売している。開発したロハスフィルター油濾過器は、従来の平面濾過の方式とは異なり、数百枚以上の特殊紙を何層にも重ね合わせた立体濾過方式を採用している。

従来の方式では取ることの出来なかった水分や脂肪、タンパク質でんぷんなどのミクロの汚れを取ることが出来、油の劣化や酸化を防止し、不純物を取り除く事により、油を長く再利用できる。

濾過方法は上段の脱色パックで汚れた油の色を脱色し、下段の何層にも重ねた濾過紙により酸化防止と合成化合物を取り除き、油を再生する。電気を使わない自然濾過方式なので故障のリスクは無い。また、旨味を残しながら廃油の量を減らせ、エコにも繋がり、経費削減にもなると飲食店などのユーザーからの評価も高い。また、新しい取り組みとして東日本大震災以降、南海トラフ地震の可能性も指摘されている中、「災害から逃げる」をテーマに企画開発しているところである。





大昭和精機 株式会社

〒579-8013

東大阪市西石切町 3-3-39

TEL 072-982-2312

FAX 072-980-2231

http://www.big-daishowa.co.jp



代表取締役会長
北口 良一

★創業
1967年（昭和42年）

★資本金
9,553万円

★従業員
550人

★主要営業品目
精密機械保持工具の製造

★トップシェア製品
工作機械用ツーリング（40%）

ツーリング工場で 世界一の水準

さまざまな機械や部品の製造に不可欠なツーリング（精密機械保持工具）は、我が国の機械金属工業の発展とともに需要が拡大した製品だが、大昭和精機株は、このツーリングのトップ企業である。同社の“ビッグ”ブランドは、ツーリングのトップブランドとして、我が国はもとより海外にも広く知られている。

同社は昭和42年（1967年）に現会長の北口良一氏が現在地で創業。ツーリング一筋に海外との技術提携と積極的な研究開発を武器に急成長し、現在では東大阪の工場他、淡路島には5カ所の工場を擁する本市を代表する中堅企業に発展している。

標準品を生産する同社の淡路島の5つの工場はオンラインで結ばれており、CNC化された旋盤、マシニングセンター、研磨機を駆使し、組立工程に至るまで徹底的に管理する生産システムは素晴らしく、とくに第3工場は全国の営業所とオンラインで結ばれ、物流センターを併設したインテリジェントファクトリーとしてツーリング工場としては世界一の水準にある。

また、同社発祥の地で、東大阪市にある大阪工場では、技術力の高い東大阪市の企業群とのネットワークを活かし、技術開発と特注品の生産工場として現在でも大きな役割を果たしている。

同社では、今後もツーリングシステムの技術開発に積極的に取り組むとともに営業網の拡充に力を注ぐ考えだ。





株式会社 大成モナック

〒578-0912

東大阪市角田 1-5-8

TEL 072-966-8885

FAX 072-966-8860



代表取締役
栗原 俊哉

★創業
1969年(昭和44年)

★資本金
4,000万円

★従業員
73人

★主要営業品目
農業用機械部品製造 工業用モデル製造

★トップシェア製品
真空含浸フレキシブルシャフト
(80%)

★独自技術・製品
特殊潤滑剤をフレキシブルシャフト内部に真空含浸する技術

画期的なフレキシブル シャフトで世界市場へ

(株)大成モナックは大手農機具メーカー向けの草刈り機用の部品など、農業用機械部品やエアコン用パーツなどを製造販売している。昭和44年(1969年)大成工材(株)が創業。平成13年には中国に進出。平成15年には工業用試作モデルの製造を行なう(株)モナックをM&Aにより全株取得し、平成16年には増資し、平成18年に合併し社名を(株)大成モナックと変更、成長を続ける企業である。

中でも無給油で使用可能な真空含浸フレキシブルシャフトは、業界でもトップシェアを誇っている。この製品は、従来の潤滑剤の塗布方法とは異なり、同社で独自に開発した真空含浸装置を使用することにより、フレキシブルシャフトを構成するエレメントワイヤーの1本1本に特殊潤滑剤を塗布することに成功したものである。この製品は通常フレキシブルシャフトの持つ問題点を解消し、メンテナンスの手間を省くことができる画期的な製品で、長時間メンテナンスの必要がないという特徴をもつ。この技術は、アメリカやEC関連で特許も取得している。

今後、栗原社長は「今以上に国際的に通用する会社を目指し、中国工場の拡充や人材育成に取組み、グループ全体の営業力を強化すると共に、同社の飛躍的發展のために貪欲に取り組んでいく」とのことである。



▲含浸あり



▼含浸なし



大東電機工業株式会社

〒579-8046

東大阪市昭和町9-11

TEL 072-984-3532

FAX 072-988-4141

http://www.daito-thrive.co.jp



代表取締役社長
清水 新策

★創業
1933年（昭和8年）

★資本金
5,825万円

★従業員
51人

★主要営業品目
各種マッサージ器、電気バリカン、
フィットネス機器

★トップシェア製品
電気バリカン、マッサージ器

理美容器具、医療機器製造 のパイオニア

大東電機工業(株)は、昭和8年（1933年）に電気バリカンメーカーとして創業。昭和31年に株式会社として法人化し、翌32年より小型マッサージ器の製造も開始した。平成8年には中国の蘇州に大東傲勝保健器有限公司を設立しマッサージ器を製造するなど海外生産に積極的であり、蘇州やタイ等にもマッサージ器の生産拠点を設立している。

マッサージチェアの開発は平成12年からであるが、短期間で主力製品に育て上げるなど、電気バリカンからマッサージ器へと主力製品の転換を実現し業績を拡大させている。また中国現地法人の業務も順調に推移しており、マッサージチェアを日本だけでなく米国やEU、アジア諸国等へ輸出している。

同社のマッサージ器は中国を中心に生産しているが、足揉み機能を他社採用のエア方式ではなく、揉み板をモーターで作動させる方法を採用してコストを削減し、低価格を実現した製品がヒットしている。この結果、小型マッサージ器ではトップシェアを占め、マッサージチェアもシェアを拡大させている。

平成17年にはフィットネス機器の第1号として「ロデオボーイ」を発売し、好評を博した。

同社はいわゆる町工場から海外生産と製品開発に活路を見出して成功しており、製品の強い価格競争力等を背景に、さらなる成長が期待できる。



マッサージチェア





大洋精工 株式会社

〒579-8025

東大阪市宝町 9-38

TEL 072-985-3535

FAX 072-985-3633



代表取締役
鈴木 康裕

★創業
1959年（昭和34年）

★資本金
1,000万円

★従業員
30人

★主要営業品目
省力工具やクリッパ、家庭用便利
道具の製造と販売

★独自技術・製品
重い家具の「持上げ」と「移動」
が1人で出来る「らくらくヘル
パー」シリーズ

1人で簡単に重量物を持ち上げる 「らくらくヘルパー 360°」

大洋精工(株)の「らくらくヘルパー 360°」は、家庭内での重たい家具や介護ベッドなどの「持上げ」と「移動」が1人で出来る便利道具である。リフターは、人間工学の視点から持ち上げやすさに配慮したハンドルのグリップ形状。サイズは、作業性の向上と負担を軽減する。引っ越しや減災グッズの設置、掃除や部屋の模様替え、介護ベッドの移動の際に活用可能である。加速する核家族化と高齢化が問題となる今、一人暮らしの方、女性や高齢者の方々にとって公共空間での重量物や、家庭内でのタンスやベッド等の家具の移動は暮らしの中での困り事となっている。

「一人で出来る道具はないものか」と考え、工具開発の知識と技術、ユーザーの声を参考に同製品を企画・開発した。これまで困難であった家具等の移動を一人で行える同製品は、日常で億劫になりあきらめていた暮らしの中での困り事（例えば掃除や模様替え）に対していつでも気軽に簡単に使う事ができ、負担の軽減や問題の解決、作業の効率化などに繋がる。

同製品に採用した新開発の360度方向転換可能なキャスターは、全方向移動に対応し安全と耐荷重性能を維持しつつ28mmの低さに抑える事が出来たのは、工具での技術開発の経験から生まれた同社独自の技術であり、切断面の仕上り、曲げ加工は「モノづくりの街東大阪」の高度な金属加工技術によって実現したものである。





大和化成商事 株式会社

〒577-0022

東大阪市荒本新町 8-20

TEL 06-6784-1725

FAX 06-6784-1750

E-mail: info@daiwakaseishoji.co.jp



代表取締役
別所 正也

★創業
1982年(昭和57年)

★資本金
5,000万円

★従業員
10人

★主要営業品目
産業用粘着加工に係る業務全般

★独自技術・製品
ノンセパ、ブロードタック

画期的粘着加工技術でコストにも 環境にもやさしい製品づくり

大和化成商事(株)は、昭和57年に商社として、創業したが、経済環境の変化に伴い、改めてメーカーとして起業する必要性を感じ、これまで商社として取り扱っていた産業用マスキングフィルムの自社開発に取り組んだ。

現在、同社のマスキングフィルムは電子材料やエンブラ関係材料に利用されている。

また、やや売上が低迷した時期、新製品の投入で状況を打開すべく、これまでの粘着加工技術の改良に取り組み、これまでにない糊面の表層をもった製品「ブロードタック」を開発した。

同製品の特徴は、壁などに粘着する際に出来る空気の溜まりを排出する独自の糊面を持ち、粘着時に空気溜まりが出来ない事である。そのため、平らな場所はもちろんのこと、凹凸のある場所に貼り付ける際にシワが出来ず、簡単に貼ることが出来る。また、これまでの製品では、壁などに長期間貼り続けていたものを剥がすと破れなどが起こり、剥がし残りが発生する事があったが、同製品は剥がす際には、剥がし残りが起こらない。

尚、同製品は「東大阪ブランド認定製品」のオンリーワン製品として認定されており、電車広告や自動車販売店のショールームの窓の両面広告等に利用されている。

同社は、離形紙を用いない印刷シート用オーバーラミフィルム「ノンセパシリーズ」を開発し、印刷業界に一石を投じている。離形紙がないので、保管する際にも場所をとらず、更に使用後は、離形紙の処分が不要のため、ゴミの排出抑制にも繋がり、コストの削減に繋がるばかりでなく、環境にもやさしい製品として好評を得ている。

同社は独自の粘着加工技術で社会に貢献出来る製品づくりを進めていく。





大和齒車製作 株式会社

〒577-0044

東大阪市西堤学園町 1-2-23

TEL 06-6782-5141

FAX 06-6788-0966

http://daiwa-gear.jp



代表取締役社長
津井 克巳

★創業
1948年(昭和23年)

★資本金
3,000万円

★従業員
140人

★主要営業品目
精密齒車

★独自技術・製品
超高精度齒車加工

高精度齒車を一貫生産 DIN1 級もクリア

大和齒車製作株式会社は、昭和23年(1948年)に中型齒車工場として発足以来、工作機械、印刷機械、産業機械は勿論、産業ロボット、発電機に加え、船舶周辺、鉄道車両並びに航空機用の齒車まで手掛ける等、常に高精度、高品位の齒車製造をモットーとしている。加えて、2002年よりガスタービン用中間減速機の組立を手掛け、ノークレームで今年度中にのべ500台の達成を見込んでいる。

このガスタービン減速機に使用する齒車は、23000rpmと言う超高速回転の為、齒車精度は特に厳しい。同社は、先端技術を積極的に導入し、ドイツ工業規格であるDIN1級の保証が可能であり、この技術力、品質管理能力が13年間のノークレームに繋がっている。また、このガスタービン減速機の製造技術、品質管理、生産技術力が買われ、航空機のエンジン部分のギヤへの参入が決定。大手重工業のダブルソースの位置付けを確保した。

それに伴い、1992年に全面移転した敷地面積1万坪の強固な岩盤の上に建つ和歌山工場に、2015年5月1000坪の新工場を増設し、工場面積は約3000坪に拡大。航空機関連ユーザーも5社に拡がり、航空機向けのギヤ生産に拍車がかかり出している。

40年間毎年欠かさず、定期採用を続け、従業員140名中パート5名以外は全員正社員。過去一切のリストラを行わずに雇用を維持し、現役製造部門は、59歳を筆頭に下は18歳まで、ほぼ全世代が東京タワー状の人員構成のもと、非常にスムーズな技術伝承体制に繋がっている。加えて、国内外210台の設備を駆使し、単品から中ロット品までの短納期対応を可能とし、ギヤのサイズも10mm～3500mmが可能な体制を敷いている。

常に高い技術力を求め、技術者養成、技能検定有資格者の育成にも力を入れ、特に技能検定は毎年5名前後が合格している。不良品“ゼロ”の高品質な製品提供により、多くの顧客から高い評価を得ており、齒車専門メーカーとして常にトップメーカーを目指している。





株式会社 高澤製作所

〒577-0827

東大阪市衣摺 6-8-33

TEL 06-6729-1001

FAX 06-6727-6650

http://www.takazawa-ss.co.jp



代表取締役
高澤 功一

★創業
1951年（昭和26年）

★資本金
5,300万円

★従業員
180人

★主要営業品目
船尾装置、船尾管シール装置、油
圧漁労機器

★トップシェア製品
プロペラ推進軸（60%）、船尾管
シール装置（90%）

マリンパーツのデパートを めざし

株高澤製作所は、創業60有余年にわたり、高品質・廉価・敏速提供をモットーにしてユーザーの確固たる信頼を得、中型・小型船舶の船尾装置（プロペラ推進軸、中間軸、船尾管）、船舶関連機器の総合メーカーとして、躍進を続けている。

同社の主力製品のひとつである、プロペラ推進軸材は大手材料メーカーと共同開発した耐蝕性・剛性耐久性に優れた製品で、全国シェア60%と国内最大の生産量を誇っている。材質はステンレス系、黄銅系、炭素鋼材系を揃え、適応軸径はφ22～φ500と小型船軸から大型船軸まで対応出来るよう、幅広いサイズを用意している。

また、同社の船尾管シール装置「TWシールスタン（特許品）」は、抜群の水密性、機能性、安全性、耐久性を兼ね備えた製品で、全国シェア90%を誇る同社最大のヒット製品である。昭和55年の発売以来、全国の中型・小型船舶を対象船とし、官公庁の巡視船や税関艇、警備艇、また旅客フェリー、一般漁船等に幅広く採用され、現在累計で60,000隻以上に装着されている。

現在の取扱製品は2000品目以上にのぼり、優れた技術力、開発力をベースに船体とエンジンを除いた船舶のあらゆる部品を取り扱う、“船舶部品のデパート”を目指している。また、全国主要都市に営業拠点を配し納期、品質等の対応は同業他社の追随を許さない体制を確立。「ユーザーにどうすれば喜んで戴けるか」を念頭に置き、品揃え、品質、納期等、様々なユーザーニーズに対応しオンリーワン企業として業界をリードしている。



(TWシールスタン)



(プロペラ軸装備状態)



高島工業 株式会社

〒578-0914

東大阪市箕輪 2-4-21

TEL 072-963-6611

FAX 072-963-6615

<http://www.takashimakk.com>



代表取締役社長
高島 政人

★創業
1960年(昭和35年)

★資本金
5,000万円

★従業員
49人

★主要営業品目
金属表面処理(ボンデ・パー
ライジング・機能性塗装、超音波洗
浄)

★独自技術・製品
デルタプロテクト、超音波真空乾
燥洗浄

特殊コーティング・精密機器 部品の洗浄で 業界をリード

高島工業(株)は、ボンデ処理・パーカラライジング処理加工を専門に行う事業所としては、国内トップの地位にある。しかし、それに甘んじることなく、独自技術の開発に取り組み、ハイブリッドフロンコート・ポリシール・デルタプロテクトの塗装技術、精密機器部品の洗浄技術を確立した。

ハイブリッドフロンコートはフッ素樹脂の入った塗料を製品にコーティングすることで、高い耐食性、潤滑性を付加出来るというもの。主として、橋梁用のボルト・ナット・ワッシャーに用いられている。現在、このコーティングの出来る加工業者は国内に20~30社あると思われるが、下地処理から一貫して行える事業所はその内の2~3社で、トップは同社である。

ポリシール塗装は米国で開発された技術で、リン酸亜鉛+特殊顔料入り有機皮膜+特殊防錆剤の3層からなる高度な防錆皮膜処理の総称であり、日本では同社が最初に導入した。

デルタプロテクト塗装はドイツで開発された技術で10~15ミクロンの薄膜にも関わらず、クロムをはじめ、鉛・カドミウム等の有害な重金属を含まずに非常に高い防錆力を持っており、同社がアジアで最初に導入した技術である。

また精密機器部品の洗浄では高い洗浄力が要求される自動車や電子機器等の部品を洗浄している。

今後の課題として同社が取り組んでいるのは機能性塗装の拡販である。





Takahashi 株式会社

〒578-0921

東大阪市水走 2-4-3

TEL 072-961-3686

FAX 072-963-4375



代表取締役
高橋 一博

★創業
1947年(昭和22年)

★資本金
5,000万円

★従業員
30人

★主要営業品目
ローラコンベヤ、各種コンベヤ、
オーダーメイドコンベヤ、
自動搬送システム

★独自技術・製品
折りたたみ式ローラコンベヤ「た
ためRUN(ルン)」、超低床式移
載機「ロー・クロスター」

オーダーメイド・OEM 生産の コンベヤ専門メーカー

Takahashi(株)(旧社名:株高橋工作所)は、1947年(昭和22年)ミシン部品の製造で創業し、1967年(昭和42年)より採石場をはじめ生産ライン、倉庫等向けに各種物流搬送機的设计・製造を始めた。

現在は、コンベヤ専門メーカーとしてローラコンベヤ、各種コンベヤ、オーダーメイドコンベヤ、自動搬送システムの開発・设计・製造を行っている。

主要製品は、大手コンベヤメーカーが出来ないオーダーメイドコンベヤ、オーダーメイド機器、それらを組み合わせたコンベヤラインの设计・製造を行っている。また、50年近い実績と経験により蓄積してきたノウハウをもとに、高い企画力と技術力を活かした企画提案型OEM生産も行っている。

他社にない同社独自の製品・サービスとしては、収納や持ち運びに便利な折りたたみ式ローラコンベヤ「たためRUN」や、パレット搬送においてピット工事が不要で作業の効率性が向上し、地面より165mmに抑えた超低床式移載機「ロー・クロスター」がある。

また、独自のサービスとして、業界初の「安心の3年保証」を付けている。





タカラ産業 株式会社

〒577-0013

東大阪市長田中 2-2-30

長田エミネンスビル2F

TEL 06-7711-3080

FAX 06-7711-3090

http://www.takaranet.co.jp



代表取締役
佐藤 弘

★創業
1980年(昭和55年)

★資本金
6,640万円

★従業員
90人
(中国・蘇州タカラ 230人)

★主要営業品目
プラスチック成形品・金属加工品の製造から組立に至る一貫生産並びに販売

★独自技術・製品
ドライウェーブ(物干金物)、ハイウェーブ(補助手摺)、タカラペーパーホルダー、網戸用品(犬猫出入り口)、ウェーブルーバー(エアコンルーバー)

特許・実用新案多数、 グローバルな視点で業界をリード

タカラ産業(株)は、創業当初より自社オリジナル製品を持つことを念頭に置き、プラスチックと金属の成形品を中心に事業を展開してきた。多数の特許・実用新案を取得している。

取り扱う製品はレジャー用品、建材部品等の身近なものから、時代の先端をゆく産業設備の構造材や補助部品まで様々で、これまでに扱った製品の種類は優に1万点を超える。

デザイン性にも優れ、着脱機能がつき、ボタン1つで高さを3段階にスライドできる物干をはじめとした「ドライウェーブ」シリーズ。網戸に簡単に設置できペットが自由に屋外に出られる「犬猫出入り口」等、多彩なアイデアが感じられる。

同社は大手企業からのOEM受注で様々なニーズに応え、技術力を磨き実績を残してきた。近年、そのノウハウを活かしてオリジナル製品の開発に力を入れており、ホームセンター・量販店にも販売経路を拡げている。

今日まで、様々な産業分野にまたがり活躍してこられたのは同社のモットーである“即対応”“開発 それしか生きる道はない”を着実に実行してきたからだという。

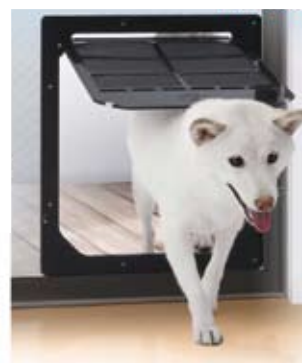
時代のニーズを先取りし、常に柔軟な発想と、斬新なアイデアのもと事業を展開しており、今後も業界でのリーディングカンパニーとしての活躍が期待される。



タカラペーパーホルダー



昇降式室内物干し (DRY-WAVE)



犬猫出入り口



株式会社 竹中製作所

〒578-0984

東大阪市菱江 6-4-35

TEL 06-6789-1555

FAX 06-6782-2053

http://www.takenaka-mfg.co.jp

E-mail:fastener@takenaka-mfg.co.jp



取締役会長
竹中 弘忠

★創業
1935年(昭和10年)

★資本金
4,680万円

★従業員
155人

★主要営業品目
特殊精密ボルトナット、樹脂コーティングボルトナット、電子機器の設計と製造及びソフトウェア制作、防錆・防食用途の表面処理加工

★トップシェア製品
フッ素樹脂コーティングボルトナット(90%)、原子力用途向特殊鋼精密ネジ(90%)

「世界初」カーボンナノチューブと樹脂塗料の複合技術『ナノテクト』

(株)竹中製作所は昭和10年(1935年)創業以来、特殊鋼精密ボルト製造を主体に、高機能表面処理事業と電子機器事業の3部門で、高付加価値製品開発により世界オンリーワン企業を目指している。

平成22年6月にボルトメーカーとして世界で初めて原子力製品国際品質規格であるASME-QSC認証を取得し、原子力用ボルトの高度品質保証に合致した製品づくりを進めており、その結果、国内原子力向けボルトで独占的シェアを維持発展させている。

また、表面処理事業での独自の高付加価値技術であるタケコート・1000は、国内外に高い評価を得ている。その高度な表面処理技術を応用発展させて、世界で初めてカーボンナノチューブ(CNT)複合の樹脂塗料開発に成功した。このナノテクトは、CNTを高濃度で有機塗料中に均一分散したもので、被膜の機械的強度が画期的に向上すると共に、相反する特性である延性と潤滑性も付与したもので他に類を見ない優れた特性を有している。同製品は航空・深海等々の苛酷な環境で評価されている。

電子機器部門では、エネルギー分野に必要な不可欠である高度なパワーエレクトロニクス技術(センサレスモータ制御、IH加熱技術)と、超高速を必要とする画像処理技術を「要」とした独自技術による開発を推し進め、高品質、高信頼性、高性能が要求されるインフラ(道路、鉄道、病院など)分野で様々な製品を提供し続けている。



ASME-QSC 認定証



ナノテクト® 製品



株式会社 棚澤八光社

〒579-8013

東大阪市西石切町 2-1-10

TEL 072-984-8841

FAX 072-984-8903

<http://www.tanazawa.co.jp>



代表取締役社長
棚澤 肇

★創業
1953年（昭和28年）法人

★資本金
9,800万円

★従業員
340人

★主要営業品目
プリント基板製造、プラスチック
金型のシボ加工、電鍍による金型
制作

★トップシェア製品
プラスチック金型のシボ加工（約
55%）

シボ加工でトップ 自動車・家電分野で利用

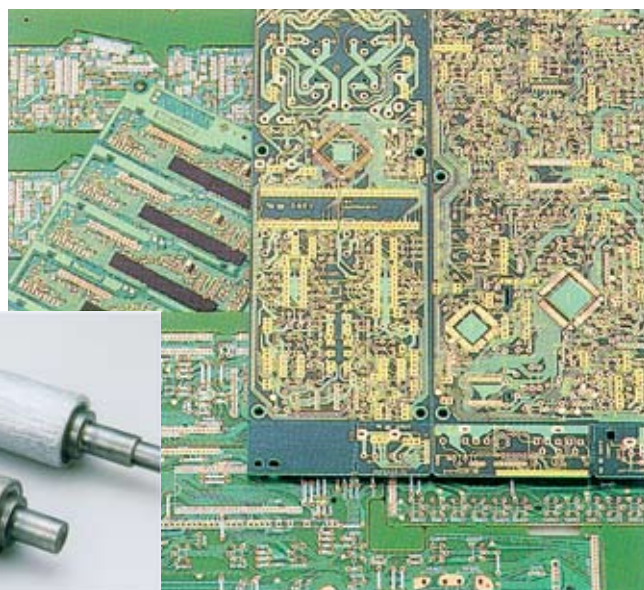
エッチング技術に応用したプラスチック金型、ロール、平板のシボ加工と電鍍技術に応用した壁紙用ロール、家電製品用のプリント配線板を製造する（株）棚澤八光社は、自動車、建材、弱電のそれぞれの業界を縁の下から支える技術先行型の企業である。

なかでも同社のシボ加工技術は非常に繊細な加工が可能で、立体感のある三次元パターンの再現に優れ、自動車の内装皮模様や家電のプラスチックケース等に幅広く利用されている。各自動車メーカー、大手建材メーカー、大手家電メーカーともすべて直接取引で、シボ加工分野では文字通りのトップシェア企業である。同社の創業者が使い出したこの「シボ」という言葉は今や全世界で使われており、同社は世界12カ国に子会社やライセンスシーを持っている。

シボ加工と並んで同社の大きな柱であるプリント配線板も業界トップクラスのシェアを持っており、東南アジアにも勝る強い価格競争力と、カスタム電子部品に求められるレスポンスの良さなどで市場を海外にも伸ばしている。

同社の創業は明治38年、東大阪市を代表する老舗企業のひとつだが、「誠実・技術・努力」を社是に、国内産業の空洞化に対応して事業拡大を進める経営戦略を展開しており、これからも同社の技術力を活かせる分野を開拓していけば、さらに大きな未来が見えてきそうである。

▼プリント配線基板（民生用ファインパターン基盤）



▲エンボスロール



チャンピオン 工業 株式会社

〒578-0956

東大阪市横枕西 3-28

TEL 072-964-2511

FAX 072-964-5176

http://champ-j.com

E-mail:okamura@champ-j.co.jp



代表取締役
水谷 昌晃

★創業
1966年(昭和41年)

★資本金
8,110万円

★従業員
90人

★主要営業品目
金型部品製造、プラスチック金型
用、成形突出しピン等

★独自技術・製品
精密加工技術

海外メーカーのニーズに 迅速に対応する生産体制の構築

1966年の創業以来、チャンピオン工業(株)は高い成長を続けている。2001年4月に社長交代という経営の節目を越え、同社は更なる成長を目指し前進を続けている。

経営戦略として生産工場の海外進出・移転を急ぐメーカーが、ここ数年急増している。それは、金型業界でも例外ではなく、特に、中国への進出・移転は目覚ましく、今後大きなマーケットになると睨んでいる。同社でも、既存の顧客の海外移転が相次ぎ、日本と同じサービスを要望するケースが増えてきている。しかし、日本から製品を輸出していたのでは、迅速な対応が出来ない場合がある。そこで、中国の上海工場を設立。現在、日本国内への量産品供給と現地メーカーよりオーダー製品を受注している。

国内では、微細化・精密化が急速に進み、多くの製品として使用されるプラスチック製品にもそのニーズは高まっている。同社は、そのようなプラスチック製品の精度を決定する金型に不可欠な、超精密金型部品を手掛けている。ミクロン公差のピン類、複雑形状のエアピン、放電加工用の電極などの一部仕様品をはじめ、毎月3000種類以上にも及ぶ製品を生産。ユーザー個々の要望に合わせたカスタムメイドも評価が高く、年々その比率を伸ばしている。

こうした流れを受け、今後、国内ではオーダー製品に特化。上海では規格製品の安定供給といった体制で、今まで以上に臨機応変な対応が可能な組織への強化を図っている。そして、難易度の高い要望に対する早期解決、品質向上と納期短縮への要望に対する改善など、様々なニーズに努力を惜しまない。

また、長年培ってきた技術をベースに、金型部品にとらわれず、他の成長産業への販路を拡大中。実際、引き合いも来ており、実験的に進めている段階である。積極的に情報を取り込み、世の中のニーズを先取りした事業展開をすることは、既存技術にも新たな視点を与えてくれる。そして、それは同社を支えている多くの顧客へのメリットにもなる。自ら難題を課し、多くの比較検討知識を得ることで、今までになかった発想や技術を取り込む。その解決に試行錯誤することで、新たな活路を見出す。同社は、そんな攻めの姿勢を忘れることなく、様々な視点からの挑戦を続けていく。





株式会社 ツヅキ

〒579-8013

東大阪市西石切町 5-1-42

TEL 072-985-2821

FAX 072-988-1696

http://www.tuzuki.co.jp/

E-mail:head-office@tuzuki.co.jp



代表取締役社長
高橋 浩二

★創業
1970年（昭和45年）

★資本金
7,800万円

★従業員
193人

★主要営業品目
ビル用アルミ建材製品全般
外断熱事業
マンション大規模改修事業

★独自技術・製品
外断熱・内外装建材のワンストップ対応

メーカーの枠を超えた 事業革新への挑戦

㈱ツヅキは、創業者 国領 薫氏が1970年、大阪府松原市にアルミ網戸の製造販売のため設立した都築商店を原点とし、現在はRC乾式外断熱工法とアルミ内外装建材の開発・製造・販売・設計・施工をワンストップで取扱う事業にまで拡充。2つの生産拠点と全国17の販売拠点を有するまで成長している。

創業から45年、約半世紀にわたるアルミ内外装建材メーカーの技術とノウハウの全てを注力し、メーカーの枠を超えた事業革新に挑んでいる。

同社がこれほど急成長した一つには、1980年代に住宅用資材からビル用アルミ建材に事業の軸を変更したことが挙げられる。材質が鉄中心だったビル建築用建材に進出し、アルミ建材の新たな市場を開拓した。豊富な製品を取り揃え、施工実績と高い品質により設計並びに建築に携わる皆様方から好評をいただき、全国の数多くの建物に採用されている。

また、その一方では昨今、高齢者の死因トップであるヒートショックを防ぎ、また、結露が発生しにくい構造で、カビ・ダニの発生を抑えるRC乾式外断熱工法が注目されている。夏は涼しく、冬は暖かく「健康・耐久性・省エネ」が大きな特長。首都圏・関西圏の集合住宅を中心に実績を重ね、美術館・医療センター・学校・オフィスなど様々な建物に採用され好評を得ている。

この2つの事業に加え今後は、ダイレクトマーケティングによるマンション大規模改修事業に注力する。高品質な製品とリーズナブルな価格での施工により、マンションの資産性維持に寄与することを目指している。

さらに、同社は平成27年度第4回東大阪市CSR経営表彰 環境部門 優秀賞を受賞した。環境配慮型の「外断熱工法」を社会に浸透させるため、事業拡大を戦略的に取組み、高橋社長のリーダーシップにより、次代の流れを察知し「環境」を前面に押し出す等の企業イメージ転換を図り、常に挑戦する姿勢が評価された。



アルミ手すり「コスモトップ」



LLH 外断熱通気層システム模型



株式会社 ティグ

〒578-0905

東大阪市川田 4-1-32

TEL 072-965-0598

FAX 072-965-1285

http://www.titanium-tig.com/



代表取締役
小澤 隆治

★創業
1984年(昭和59年)

★資本金
4,000万円

★従業員
30人

★主要営業品目
チタン製熱交換器、車いす、梯子、
自転車、モニュメント

★独自技術・製品
チタン製モニュメント、チタン加工品

チタン分野の専門集団

(株)ティグは創業以来、チタン一筋に製造・加工・製品開発を行い、チタン製の消防用ハシゴ、シェルチューブ熱交換器、バルブ、自転車フレーム、車椅子フレーム等を製造・販売している。長野オリンピックではチタン聖火台を造り注目を集めた。また、強く、軽く、さびにくいというチタンの最大限の特性を生かした自転車では、国内外で高い評価を受けている。

チタンは耐食性に優れ、人体に対しても最も安全な金属といわれ、腐食性が著しく起こる温泉地、海水、アルカリ等の有機化合物等の耐食性が必要な場所に対して優れた効果を発揮。新日本製鐵(株)と共同開発したフレキシブルチューブは、直管に螺旋の溝を付けたことによって、発生する流体の乱流効果及び伝熱面積の増大、自由自在な柔軟性により大幅に小型化が可能になった。この特性を小型熱交換器に利用し投込み型、シェル型、二重管型を開発。熱交換器の分野に大きな変革を起こしている。

1996年には水道用にチタン管を使用するための日本水道協会材質認定を取得。これまでの水道管は金属素材では鉄、銅、ステンレス、真鍮などがあった。しかし、強度、耐食性、溶出イオン等の安全性の点でチタンは他の材料よりも優れた水道管といえる。問題となるのはコスト面だが、同社は外側をステンレス、内側の接水面をチタンにすることで1から2割程度のコスト上昇に抑えている。サイズは16～60φ、臨海部や医療関係、半導体製造関連での普及が期待されている。

また、同社はチタン製車椅子を一貫して設計から製造まで行い、バスケット、テニス用といったスポーツ車を販売。チタンの減衰特性による身体への衝撃度低減という特性を十分に引き出した車椅子として多くの支持を得ている。一般の車いす販売で行われている代理店販売によらず「利用者を中心とした有志を募り、仲間に勧める“無店舗販売”」を行うことで流通コストをカットし、ユーザーの負担を軽減している。

今後は、さらなる加工・技術開発に力を注ぎ、人・地球にやさしく、リサイクル可能なチタンの特性を活かした様々な製品提供を行う。





帝国イオン 株式会社

〒577-0835

東大阪市柏田西 1-12-26

TEL 06-6727-7047

FAX 06-6724-9766

http://www.teikoku-ion.co.jp



代表取締役
中村 孝司

★創業
1960年(昭和35年)

★資本金
1,000万円

★従業員
38人

★工場
ISO9001 認証

★主要営業品目
金属表面処理と機械加工

★独自技術・製品
機能性表面処理技術

未来めっきで広がる 新たなフィールド

帝国イオン(株)は、昭和35年にめっき専業から創業し現在は、機械加工からめっきまでの一貫生産が可能な総合部品加工メーカーである。

めっきの品質だけではなく、素材、機械加工、熱処理、研磨、めっき、バフ研磨などの工程をトータルに品質管理できるシステムと近隣工場とのネットワークを活かして、多品種少量生産の需要に応える企業として、大手メーカーより信頼が寄せられている。

産業構造が大きく変わろうとしているこの21世紀、多様化するニーズに応えられるよう、「機械加工とめっきの複合技術」をキーワードに未来の表面処理技術を開発し、それを切り口とした提案型企業への進化を目指している。

【めっき技術の特徴】

◎粉体めっき技術を開発

特徴：2工程で無電解めっきを可能

用途：ダイヤモンド、雲母、カーボンなど

◎アモルファスクロムめっきを開発

特徴：皮膜硬度1800Hvの硬さを実現

用途：耐磨耗部品、耐薬品部品、耐食性部品

(平成25年度戦略的基盤高度化事業の採択)

【機械加工技術の特徴】

◎鍛造金型の短納期加工を実現

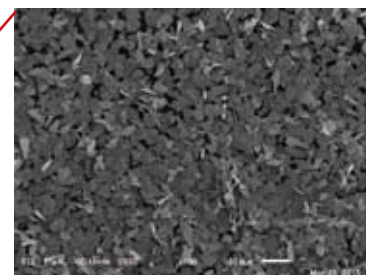
材料からの一貫生産を行っており、熱処理後の仕上げ加工を得意とし、最短5日に対応

◎微細金型への硬質めっきユニット治具を開発

微細孔φ2、長さ50mmの硬質クロムめっきを可能にした技術は、めっき加工のアイデアと独自の機械加工技術との融合で簡単ユニット化しためっき治具にある。そして、その応用で微細金型の内面にワンタッチで治具を装着するめっき方法を開発、機能に優れた硬質めっきを提供している。

同社は、社員全員のアイデアや知恵を結集して生産性と品質を高め、顧客に満足していただきたいとの思いから、ものづくりにこだわっている。そして仕事を通じて社員の成長と共に会社が成長することで、一人ひとりが自信とやりがいを見つけ、キラキラ輝く仲間と幸せな会社になって、社会に貢献したいとも願っている。

▼雲母(マイカ)に各種めっき



▲雲母(マイカ)に金めっき ×150倍



株式会社 電業

〒577-0065

東大阪市高井田中 2-5-25

TEL 06-6781-2612

FAX 06-6782-2780

E-mail: info@dengyo.co.jp



代表取締役社長
濱谷 和也

★創業
1919年（大正8年）

★資本金
9,800万円

★従業員
120人

★主要営業品目
鉄道用電車線機器製造（鉄道用架線金具）

★トップシェア製品
鉄道用架線金具（30%）

我が国唯一の鉄道用架線 金具専門メーカー

株電業は、1919年に創業、我が国唯一の鉄道用架線金具専門メーカーとしておよそ100年にわたり鉄道の安全、安定輸送に努めてきた会社である。

公共性の高い鉄道事業の電車線金具を製造するうえで最も重要なことは安全性であり、製品の安全性に対し日々努力を重ね、高品質な砂型アルミ青銅鋳物の技術、電車線構造技術の蓄積などにより電車線という特殊分野において絶大な信頼を得てきた。

2015年に開業した北陸新幹線、2016年に開業する北海道新幹線の他、海外での鉄道建設工事にも電車線金具を多数納入し、今後も続く建設工事にも電車線金具の納入の実現に向け生産性・技術力を高めている。

また現在では架線金具だけでなく鉄道事業者の支援のもと作業の省力化や設備の監視の自動化などの開発を行っている。

間もなく迎える創業100周年に向けて生産に関わる全ての設備と手順を見直し、細分化し続ける市場ニーズに的確に対応し安定供給を続けられるように日々研鑽を重ねている。



北陸新幹線（白山車両基地）



北海道新幹線（函館車両基地）



株式会社 テンキング

〒577-0006

東大阪市楠根 1-7-46

TEL 06-6746-7566

FAX 06-6746-7676

http://www.tenking.co.jp/

E-mail: info@tenking.co.jp



代表取締役社長
金星 章大

★創業
1966年(昭和41年)

★資本金
1,070万円

★従業員
30人

★主要営業品目
精密切削部品の加工、及び組立、
ガラス・樹脂容器のアセンブリ及び
検品

★トップシェア製品
ビデオレコーダー用ドラム、超音
波型ダイシングブレード用基台

★独自技術・製品
ミクロンオーダーでの外周ヘリカル
(リード)加工及び薄肉円盤の
超平坦加工

ビデオ用部品の加工・アセンブリで培った技術を 半導体・自動車・医薬の分野へ展開

(株)テンキングは、東大阪市楠根に本社を構え、一貫生産の拠点としてタイに関連会社である「TENKING(THAILAND)」を持つ精密切削部品の加工並びに精密部品の組立を行う企業である。

同社では、ビデオの黎明期にビデオレコーダー用ドラムの外周にあるヘリカル(らせん)形状をしているリードと呼ばれるテープガイド部の加工をミクロンオーダーの加工精度で行う技術の開発に成功。以来、ビデオとともに成長し続けてきた。映像データの記録媒体がテープからディスクへ、また半導体メモリへと移り変わった現在、同社ではこれまで培ってきた精密切削の技術をフル活用し、タイ工場で半導体製造装置用部品(ダイシングブレード)や自動車用油圧制御部品などへの展開を行っている。一方、日本では化粧品や医薬品などの容器について、微細なごみや欠陥がないアセンブリ、及びクリーンルームや静電除去装置を用いた高品位な検品を行っている。

製品案内 PRODUCTS		◀DVCドラムユニット 材質: AHS T6 サイズ: φ22mm 特徴: μオーダーの組立精度	
	◀ダイシングブレード 材質: A5056 サイズ: φ52mm×6mm 特徴: 両端面の平行度 0.002以下		◀ダイシングブレード 材質: A5083 サイズ: φ74mm×12mm 特徴: 両端面の平行度 0.002以下
		◀油圧制御部品 材質: ADC12 サイズ: φ27×53mm 特徴: 自動車部品 内外径μオーダー	





濤和化学 株式会社

〒578-0935

東大阪市若江東町 6-6-35

TEL 06-6723-5700

FAX 06-6723-5786

http://www.towa-chemical.com

E-mail: info@towa-chemical.com

代表取締役 菱田 新悟

★創業
1952年（昭和27年）

★資本金
1,000万円

★従業員
170人

★主要営業品目
プラスチック用着色剤・添加改質剤、殺菌・防菌・防黴・脱臭剤、合理化機器等

★トップシェア製品
プラスチック用着色剤（トップクラス）

自由な視点でモノづくり 特許保有数 60 余

昭和27年、イオウの粉末メーカーとして操業を開始（旧菱田製粉工業所）した濤和化学㈱は、昭和35年、プラスチック用着色剤の製造に業種転換し、現社名に変更、法人化した。プラスチック製品市場の拡大を的確に捉えた結果であった。以後、独自の製品開発に意欲的に取り組み、每期安定した売上推移を辿っている。

この原動力となっているのが、単独立地する研究所である。「新しいものを創造するには、自由な発想が出来る場所と時間が必要である」との考えで、生産現場から離れた研究所で、研究員が日々新製品の開発に専念しており、特許保有数も60を超える。

同社の製品は、樹脂をブレンドし成形することで種々の模様が出る『ガラール』や、二次加工なしで艶消しと植毛感のあるプラスチック製品ができる『ソフトカラー』、飛散による色の汚染がない『SPカラー（顆粒状）』の「スマートカラー」などのプラスチック用着色剤が中心である。一方で、自由な視点で新しいものをつくりだすという経営姿勢により、最近では新分野にまで進出し、MRSAやSARSウィルス、ノロウィルス、鳥インフルエンザウィルスに対し除菌・脱臭効果の高い製品を開発している。ノンアルコール品で人に安全な環境消毒剤「リバルス ET-200」、アルコール50%で手荒れ防止になる擦式手指消毒剤「ハイエストジェル」、また加湿器にセットするだけでタンクと部屋を同時に除菌できる空気清浄除菌剤「抗菌ミスト」、そして、汚染空気を薬剤で洗濯し、清浄化するという今までにない新発想で空調機やエアコンにも接続可能な空気清浄機（特許取得済）など、病院をはじめさまざまな分野で感染防止対策用の製品を次々に開発、製品化し、海外輸出にも力を入れている。



ハイエストジェル



リバルス ET-200



抗菌ミスト



ナミテイ 株式会社

〒577-0042

東大阪市西堤 2-2-23

TEL 06-6788-1131

FAX 06-6788-1138

http://www.namitei.co.jp

E-mail: info@namitei.co.jp



代表取締役
村尾 耕一

★創業
1945年(昭和20年)

★資本金
3,000万円

★従業員
80人

★主要営業品目
異型線、冷間圧造用鋼線、コンクリート製品補強用高強度鋼線、グレーチング用異型線、冷間圧造部品、切削部品

★トップシェア製品
光海底ケーブル用3分割個片(100%)
グレーチング用異型線(30%)

卓越した異型加工技術

ナミテイ(株)は卓越した異型線加工技術及び材料メーカーとの最適材料の共同開発により、ユーザーが要望する機能に最適な形状に応える製品を提供する会社である。

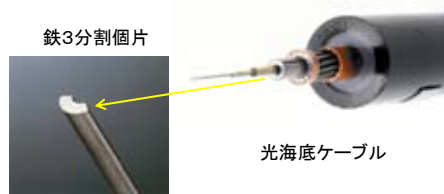
異型線は需要分野別には自動車、通信、造船、電機、土木・建築等々幅広い分野で使用されており、最近は特に工程省略・コストダウンを検討している顧客からの要望が増加している。

代表例としてはNHKのプロジェクトX(2003年2月14日放映)で取り上げられた通信用「光海底ケーブル」には同社の鉄3分割個片(異型鋼線)が採用され、現在までに地球約4周分に相当する長さの製品を供給している。また自動車向けでは安全対策用のシートベルトの精密軸部品、ステアリング、シート等々の保安部品に採用されている。

また、冷間圧造部品も異型線製造のノウハウから発展させた技術により顧客に支持される製品を提供している。この製品群は主に自動車向け部品が主流となっているが、生活に密着した製品群にも採用されつつある。

同社のモットーは顧客の要望する機能に最適な形状・品質を提供し、納期厳守を徹底し顧客満足度ナンバーワンを目指すことである。

光海底ケーブル 鉄3分割個片



鉄3分割個片

光海底ケーブル

異形線から部品へ



シートクライナー、シートベルトなど、自動車部品に多数採用されています。

異形線



 ナミテイ株式会社



有限会社 ニシムラ・ベンディング

〒578-0975

東大阪市中鴻池町 2-4-14

TEL 06-6744-9122

FAX 06-6753-7111

<http://www.mecha.ne.jp/~n-vend/index.html>



代表取締役社長
西村 正史

★創業
2000年(平成12年)

★資本金
300万円

★従業員
4人

★主要営業品目
電子制御機器、検査機、ソフト開発及び自社製品の製造販売ランドリー機器及び店舗販売

★独自技術・製品
金属検知機、コインランドリー店舗向け店舗管理システムの開発

最先端金属検知機で 食の安全を守る

(有)ニシムラ・ベンディングは、平成12年に自動販売機の開発・製造・販売会社として設立した。

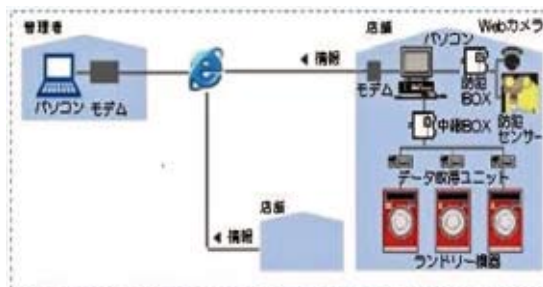
平成14年には、コインランドリー店舗向け店舗管理システムの開発を手がけ、平成15年に販売を開始した。

同システムは、Webを活用することで、複数ある店舗の利用状況や売上状況を本部でリアルタイムに管理することが出来るもので、あらゆるメーカーの機器とも接続可能であるため、人件費をはじめとしたランニングコストが削減出来ると好評を得ている。

また、平成19年より顧客のニーズによって食品加工物などの金属検知機の開発に取り組み、製品化を実現している。

同検知機は、従来の金属検知機で検知精度が安定しなかった塩分濃度の高い製品(梅ぼし)、アルミ蒸着製品(インスタントカップ麺)などでも、独自センサーにより、微小な金属片を安定して検知できるものである。これまでのように商品ごとに検知感度を調整する必要がなく、複数の商品を一度に検知することが出来るため、数種の食材が混在する弁当などの商品も検査出来るばかりでなく、1つのラインで複数の商品を一度に検査することが可能である。同製品の導入により検査ラインを縮小する事ができ、人件費などのランニングコストを大幅に削減出来るメリットがある事から最近では、大手食品メーカーでも採用され始めている。

また、同社の「金属検知機」は、平成21年12月に「東大阪ブランド」の認定を受けている。





株式会社 ニッサチェーン

〒577-0816
東大阪市友井 4-3-23
TEL 06-6722-8221
FAX 06-6723-1746
http://www.nissa.co.jp
E-mail: info@nissa.co.jp



代表取締役社長
荻野 普暢

★創業
1935年(昭和10年)

★資本金
4,000万円

★従業員
65人

★主要営業品目
小型チェーン・ワイヤー・線材製品、DIY
関連商品

★トップシェア製品
小型チェーン(65%)

鎖、豊富な種類と品質で ニーズに応える

(株)ニッサチェーンは、一般消費者も使用するような小型のチェーンの製造販売を手掛けており、主にDIYを取扱うホームセンター等に製品を納める他、さまざまな企業へ部品として納入している。同社は、昭和10年に初代社長が金物問屋として創業したのが前身で、昭和26年に現在の業種に転換、会社として50年余りの歴史を誇っている。

取り扱うチェーンは、形、サイズ、メッキ、材質いずれも様々で、実に10,000アイテムにも上り、業界シェアで65%を占めている。

一般にチェーンは、消費者が様々な用途に利用しており、そのニーズは計り知れない。故にそれに応えるべく、同社では、日々新製品の開発に惜しみない努力を重ね、品質第一主義をモットーに確固たる地位を築き上げている。その基盤を支えているのが、生産体制にある。より高品質のチェーンをよりリーズナブルに提供するため、昭和39年にいち早く全自動製鎖工場を完成、さらに平成7年には新工場を完成させた。全自動製鎖機械は全て同社オリジナルで、100台近い設備から月産100万mものチェーンを生産するに至っている。

また、同社は製販一体の経験から生まれたノウハウを発揮して、販売店の立地・商圈等から最善の商品ラインアップを提案、POP、プライスカード、カタログで消費者にダイレクトに情報を伝達することで、対面販売の手間を軽減させる他、販売店の意見やデータの分析を通じてニーズを把握し、新製品開発に繋げるシステムティックなコンサルティングセールスを実現した。

今後ますます多様化が予想されるチェーンに、同社は、あらゆる角度から積極的に提案し、日本の空間をプロデュースする総合企業を目指している。





ニッセンリベット 株式会社

〒579-8027

東大阪市東山町 10-25

TEL 072-980-6400

FAX 072-980-1135

http://www.nissen-co.co.jp

E-mail:postmaster@nissen-co.co.jp



代表取締役社長
山下 眞一

★創業
1949年(昭和24年)

★資本金
1,000万円

★従業員
39人

★主要営業品目
ブラインドリベット、シールドリベット、Sボルト、バルブタイプ、シールドバルブリベット、チタンリベット

★トップシェア製品
ブラインドリベット (30%)

国産初 チタン製 ブラインドリベット開発

ニッセンリベット(株)は日本経済の復興期であった昭和24年、釘と鉄線の製造を中心とした日本製線(株)を母体に創業。日本初の国産化を実現したブラインドリベットの製造で着実に業績を上げ、現在業界トップに近づくシェアを獲得するまでに成長した。

MADE IN JAPAN だからこそできる品質へのこだわり、少量多品種の生産、クイックデリバリー。顧客の要望に細やかに応えるために、創業以来守り続けてきた信念。伝統の中で磨き上げてきた新素材を含めたファスニングテクノロジーと時代の動きをしっかりとらえる発想力で、顧客の未来に向けて新しい価値を提案してきた。

産業界のあらゆる分野、あらゆる現場で活用されているブラインドリベット。片側から複数の母材をワンアクションで締結することができ、作業の省力化・コストダウン・スピードアップ等の合理化に大きく貢献している。

同社では、標準品として市場で使用されているフルサイズをラインアップするとともに、顧客が要求する多様なアプリケーションに対応もできる仕様を変更した特注品も製造している。また材質も従来のアルミ・鉄・ステンレス・銅に加え、軽量で耐食性の強いチタン素材を国産として初めて採用した。

ブラインドリベットのパイオニアとして、今後も“つなぐ”技術をリードし続けている。





二藤レール 株式会社

〒579-8037

東大阪市新町 12-27

TEL 072-987-2755

FAX 072-987-2756

代表取締役社長 阪本 薫

★創業
1947年（昭和22年）

★資本金
9,000万円

★従業員
61人

★主要営業品目
冷間圧造用炭素鋼線・普通鉄線・
なまし鉄線・古紙結束用鈍鉄線・
結束線・ノーリツばんせん

★トップシェア製品
足場結束用「ノーリツばんせん」

足場番線「ノーリツばんせん」 が職人から好評を得る

二藤レール(株)は、創業1947年（昭和22年）の普通線材の2次製品を製造する伸線メーカーで、トップシェア製品は足場結束用「ノーリツばんせん」である。同製品はなまし鉄線をかんざし状に加工したもので、主に建築現場で多用されている。

発売以来50年以上という、息の長いベストセラー製品であり、技術の進歩とともに連続焼鈍炉の温度、時間、雰囲気ガスの制御技術を活用することで、硬さにムラがなく柔らかくて曲げやすいように仕上げている。約半世紀前まで、足場番線は職人自らなまし鉄線から作っていたが、現在は足場番線といえば「ノーリツばんせん」と認知されている。「ノーリツばんせん」は、サイズが31×700など6種類で、1ケース200本入り。月間生産量は約30,000ケース。「ノーリツばんせん」の販売量はこの数年、仮設足場パイプへの移行や輸入品の流入などが影響して減少している。しかしながら、西日本中心に全国で販売しており、特に近畿や東海でのシェアは圧倒的である。もちろん全国でもシェアはトップであり、それが評価され「東大阪ブランド」の認定も受けている。

ホームセンターでは「ノーリツばんせん」とプライベートブランドの輸入品が並んで置かれていることがある。締め具の「シノ」を使い2本の足を均等に締め込むが、輸入品では硬さにムラがあるためにうまく締め込むことが出来ない場合があり、その点で自身の命にもかかわってくる職人からは「ノーリツばんせん」が好評を得ている。

この経済環境下でも海外の造船所からも定期的に引き合いを得ており、引き続き品質の維持に努め、価格競争ではなく品質の良さで「ノーリツばんせん」のファンを更に増やすべく努めている。





日本化線 株式会社

〒577-0067

東大阪市高井田西 3-9-25

TEL 06-6783-2366

FAX 06-6783-2360

http://www.nippoly.com

E-mail: wire.osaka@nippoly.com



代表取締役社長
菅野 輝男

★創業
1948年(昭和23年)

★資本金
1,000万円

★従業員
20人

★主要営業品目
汎用各種カラーワイヤ、
デザインカラーワイヤ「自遊自在」、
「頑固自在」

★トップシェア製品
造形用カラーワイヤ(90%)「自遊自在」、
「頑固自在」

デザインカラーワイヤ 自遊自在® * 頑固自在®

日本化線(株)が開発販売しているデザインカラーワイヤ「自遊自在」は、心線に柔らかい針金やアルミ線を用いて合成樹脂を被覆した特定造形用カラーワイヤで、業界のシェアの約90%を有している。

同社は同製品を新素材として安定供給しているのに加えて、一般市場に「自遊自在」の普及を促進するため、見て楽しく作って面白い作り方のテキストを発刊し好評を得ている。また、「自遊自在」は、一般の針金と違い子供や女性でも簡単に曲げたり、ねじったり、巻きつけたりすることができる柔らかい素材であることから「自由につくろう」をテーマに手づくりセットや工作キット等を企画し、手づくりに対する感覚を広げ、夢のある造形遊びとして全国的にPR活動を行っている。

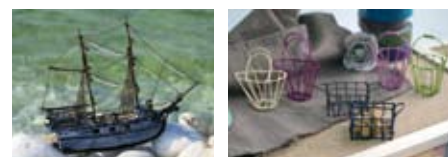
また、「頑固自在」はデザイナーやクリエイターからの要望により、「自遊自在」に比べてしっかりとした質感に仕上げ、実用的な作品も製作できる仕様になっている。着色は和風色にこだわり、業界初のマット色を採用した高品位でアーティスティックなマットカラーワイヤである。

カラーワイヤクラフトは汎用性があり、総合企画により常に新しい情報の提案を行うことにより、ホビーと実用性を兼ねた、デザイン、ディスプレイ、ワイヤアート、花材、教材、日用雑貨、ワイヤ模型、ガーデニング等、手づくりで夢をカタチにできる楽しいニューホビーとして、今後も市場拡大が期待される。

自遊自在® 30 Colors



頑固自在® 16 Colors





株式会社 日本放電技術

〒 578-0967

東大阪市新鴻池町 12-2
TEL 072-965-8781
FAX 072-965-8674



代表取締役
吉川 昭博

★創業
1975年（昭和50年）

★資本金
1,700万円

★従業員
10人

★主要営業品目
細穴放電加工機、形彫放電加工機、
欠損工具除去用放電ユニット、各
改造レトロ

★独自技術・製品
ねじ切機能付細穴放電加工機

ねじ切りやタップ加工を 一台でこなす細穴放電加工機

（株）日本放電技術は、1975年（昭和50年）の創業以来、今日まで各種放電加工機や特殊放電加工機等の専門メーカーとして、多様化するユーザーのニーズに応えるべく日々技術開発に注力し、新たな製品を世に送り出している。

直近では、細穴放電加工機でありながら、ねじ切り加工やタップ加工が可能な機械を市場投入し、好評を得ている。機械型式は、JEM-50FD。細穴加工は、φ02～φ60%まで、0.1mm刻みに加工が出来る。

また、タップ加工は、M3～M8mmまで5サイズの加工が出来、自動車関連、航空機関連、造船関連等々に用いられる難削材の金型加工や部品加工に数多く使用されている。また、実績としては、ポリテクセンターをはじめ、数多くの納入実績がある。



型式：JEM-50FD



型式：JD-50E



株式会社 仁張工作所

〒 578-0921

東大阪市水走 3-14-6

TEL 072-962-2831

FAX 072-963-4183



代表取締役
仁張 正之

★創業
1964年（昭和39年）

★資本金
2,500万円

★従業員
106人

★主要営業品目
別注スチール、ステンレス家具・
什器、精密板金加工品の設計及び
製造販売

★独自技術・製品
別注対応も可能な貴重品ロッ
カー、デザインロッカー

ニーズに応じた製品を提供 する板金加工の専門家集団

株仁張工作所は、創業以来、主としてスチールやステンレスの薄鋼板を加工して、各種保管庫、キャビネット、ロッカー等を設計・製造するなど、幅広い用途を持つ箱物板金製品・各種精密板金製品を提供している。現在では多業界・多業種におけるサプライヤーとして板金加工部品供給を筆頭に、OEM製品やオーダーメイド、オリジナル製品など、多様な製品を提供する『板金加工の専門家集団』である。

同社のオリジナル製品で、堅調に受注を伸ばしているのが、貴重品ロッカー「N-forme」シリーズ、デザインロッカー「N-model」、「BOXE」シリーズである。これらのロッカーには規格サイズの他に、イージーオーダーシステムを採用し、「何を保管するか」というお客様の要求に応じた仕様（サイズ、マス数、錠タイプ、付属品等）で1台から受注する仕組みを構築し、インターネットを通じて販売している。

同社の強みは、設計から板金機械加工、溶接組立、塗装、仕上アッセンブリー、完成品までの一貫生産体制を構築していることである。お客様のビジネススタイルやライフスタイルからのニーズに合わせてパーソナルロッカーの他、野球場や競技場のスポーツロッカーや消防署向け防火衣ロッカーなど、必要とされる様々な場面に適したロッカーや保管箱をこれからも提供し続ける企業である。





熱研化学工業 株式会社

〒577-0004

東大阪市稲田新町 2-10-1

TEL 06-6745-4118

FAX 06-6745-4158



代表取締役社長
井本 治朗

★創業
1975年(昭和50年)

★資本金
1,500万円

★従業員
30人

★主要営業品目
耐熱塗料、耐熱耐薬品塗料

★トップシェア製品
耐熱耐薬品塗料(65%)

耐熱性・耐薬品性特殊塗料 のオンリーワン企業

熱研化学工業(株)は、耐熱性、耐薬品性に優れた特殊塗料を製造販売する塗料メーカーである。塗料は大きく一般塗料と特殊塗料に分類される。市場全体では、一般塗料が特殊塗料を凌ぐ規模であり、大手企業がこの市場を占有している。同社は、特殊塗料に特化し、オンリーワン企業として前述の如く、耐熱性、耐薬品性に優れた塗料で、シェア65%を占めている。

同塗料は主に、各種製造プラントや地方自治体のゴミ焼却施設に使用される塗料で、同社の耐熱塗料の中には、摂氏1200℃にも耐えうるものもある。特に地方自治体のゴミ焼却施設の煙突内部では、様々なゴミから出る有害物質等が結露し、硝酸や塩酸が発生する。それが塗膜を侵食させサビが発生、煙突内部の劣化を進めて行く。そうした現象を未然に防止するのに同社の耐熱、耐薬品塗料が効果を発揮する。

煙突内部に同社の主要商品である「ヒートップ AI-250」を施すことによりこの現象を未然に防止することができるのである。その効果は絶大で、今までの実績から日本全国の多くのゴミ焼却施設では、同社の塗料が使用されており、約5年～7年サイクルで塗り替えられている。

同社は、今後ますます製品の耐久性をアップさせるべく日々研究を重ね、信頼を揺るぎないものにするよう邁進している。





ハードロック工業 株式会社

〒577-0063

東大阪市川俣 1-6-24

TEL 06-6784-1131

FAX 06-6784-1161

http://www.hardlock.co.jp/

E-mail:h.office@hardlock.co.jp



代表取締役社長
若林 克彦

★創業
1974年(昭和49年)

★資本金
1,000万円

★従業員
60人

★主要営業品目
ハードロックナット、HLB(ハードロックベアリングナット)、HLS(ハードロックセットスクリュー)

★トップシェア製品
ゆるみ止めナット(トップクラス)

ゆるみ止めナット一筋 「安全」を支えて40年

確かな技術力と厳格な品質チェックを背景に、常に「安全」を願い「安全」を支えてきたハードロック工業株。その特許商品である「ハードロック」[HLB][HLS]は、諸官庁を始め鉄道、自動車、造船、橋梁、鉄塔、一般機器、ロボット、建設関係、原子力発電設備など、幅広い産業で豊富な実績を積み重ねている。

特に、高精度が要求される原子力発電設備では、欠くことのできない締結部品として評価、採用されており、世界各国にも輸出されている。米国のNAS 3350規格の緩み試験では非常に優れた結果を出す。

また、当初車体のボルトが抜け落ちるトラブルがあった新幹線「のぞみ」であるが、同社製品を用いてからは全く問題なし。最近では、大鳴門橋、瀬戸大橋、関西国際空港連絡橋、明石大橋、長野新幹線のレールと枕木の全線締結部などの大型プロジェクトに参画したほか、震災後の六甲山トンネルの補強工事などにも相当数使われている。台湾新幹線のレールと枕木締結にも400万個納入実績を得ている。

このように、いかなる激振でも緩まないロックナットとして信頼を得ている「ハードロック」は、二個の凹凸ナットを用い、一方を偏芯させることでクサビの作用効果を果たす。この時、ボルトに対するねじ部の傷や焼付きなどは一切なく、何十回着脱を繰り返しても安定したサイクルで緩み止め効果が持続する。そのため保守点検が不要で、経済性にも優れる。しかも、スパナで簡単に締め付けができて作業性は良好。

近年、用途の拡大とともに製品材質も多様化し、今では鉄のほかステンレス、チタン、合成樹脂があり、例えば合成樹脂ナットは化学・薬品関連で使用されている。

今後もさらに新しいゆるみ止めナット、スペースロックナットを世に送り出し、安全という目に見えない形に挑戦、産業社会に貢献していく。





株式会社 ハウスビーエム

〒577-0011

東大阪市荒本北 2-6-25

TEL 06-6744-9558

FAX 06-6744-9568

http://www.housebm.com/



代表取締役社長
安心院 國雄

★創業
1967年(昭和42年)

★資本金
1,200万円

★従業員
85人

★主要営業品目
電動工具用刃物製造販売

★トップシェア製品
リョーバコアドリル、換気コアドリル、ダウンライトコアドリル、フリーコンパスホルソー、インサイドカッター、ツノワンダウンライトホルソー

新製品開発のコンセプト「安全、安心、省エネ、省施工、環境をテーマに」

(株)ハウスビーエムは、住宅、ビル、マンション、工場等のライフライン（電気、ガス、エアコン空調、水道の給排水）に関わる工事用工具（穴あけ、カッティング等）の製造・販売メーカーとして、国内に4工場と、札幌から九州まで9営業拠点を持っている。昭和57年に東京営業所の開設以来、各営業拠点には全商品約2,500アイテムのストックルーム（在庫）を持ち、顧客の要望に即日対応できる納入体制を整えている。このように同社は、30数年前から顧客に対するジャストインタイムと地域密着型のコンビニ商法を実践して顧客第一主義を貫いた結果、確固たるシェアを保っている。また外国特許12件と国内特許を数十件持ち、業界のオピニオンリーダー的役割も果たしており、新製品開発のコンセプトである「安全、安心、省エネ、省施工、環境」をテーマに独自製品の開発に力を入れている。

エアコン取付用穴あけ工具の「両刃コアドリル」は昭和56年からの長期ヒット商品であり、ヨーロッパでは「ジャパニーズコアドリル」と呼ばれている。また、換気扇取付用等の大口径コアドリル「換気コア」は平成6年から発売し、異径サイズの Cutter を簡単に交換できるシステム（特許）がユーザーに受け入れられ、安定した売上を確保。姉妹品である「ダウンライトコア」も好評である。さらに、穴あけ施工時に出る粉塵をシャットアウトするクリーンダストカバー（グッドデザイン賞を受賞）もユーザーに喜ばれている。その他、独自開発の小径「排水マスホルソー」や、立ち上げ塩ビパイプを内側からカットする「インサイドカッター」、φ32～φ630までの径をフリーで穴あけの出来る「フリーコンパスホルソー」など、続々とユーザーのニーズに応えた新製品を市場に送り出している。





株式会社 ハルナ

〒577-0006

東大阪市楠根 3-5-3

TEL 06-6743-1550

FAX 06-6743-1551



代表取締役社長
春名 孝子

★創業
1972年（昭和47年）

★資本金
1,000万円

★従業員
47人

★主要営業品目
金型の製造販売、工業用プラスチック製品の加工及び販売、プラスチック製品加工用機械の販売

★独自技術・製品
プラスチック製品製造に関する独自技術の開発「カセットモールドシステム カモス」、ガス抜き装置「エコマック」

成形時に発生するガス抜き装置 「エコマック」で頭角を表す

（株）ハルナは、プラスチックの成形・金型製作に従事し40有余年、さまざまなノウハウを蓄積してきた。金型製作においては、ワンタッチで金型の着脱がスムーズにできる少量、多品種、精密成形専用のカセットモールドシステム「カモス」と量産用角カセットモールドシステム「Jカセット」を開発。「カモス」は特許を取得し究極の高精度高品質の成形、金型費用の大幅な費用削減に威力を発揮し、また短納期対応ができるなど顧客のニーズにこたえている。

また、同社では成形の仕事に長年携わっている中、「成形業界の目線」に立って問題点を見出すことができる。お客様が成形で困っている問題、例えばガスで起きる不良品の発生と品質の低下である。金型メンテナンスサイクルの削減化を改善目標として、成形時にシリンダー内で発生するガスを効率良く抜くことのできる成形業界で類をみないガス抜き装置「エコマック」を1997年（平成9年）12月に開発し、特許を取得。ガスで困る数多くの顧客からは好評を得ている。

今後も、プラスチックに関するあらゆる相談はもとより、プラスチック製品に関する新規開発案件などのニーズに対応していく。



▲「エコマック」SX-200



▲「カモス」カセットモールドシステム(母型)



▲φ90カセットモールド3種



株式会社 ピカコーポレイション

〒577-0013

東大阪市長田中 4-4-10

TEL 06-6747-6856

FAX 06-6747-6860

http://www.pica-corp.co.jp/



代表取締役社長
坂口 守正

★創業
1957年（昭和32年）

★資本金
9,500万円

★従業員
245人

★主要営業品目
アルミニウム合金製はしご・脚立・
作業台等各種作業用製品、園芸用品

★トップシェア製品
アルミニウム合金製はしご
(35%)、小型アルミガラス温室
(100%)

特注品ブランドで更なる飛躍を目指す はしご脚立業界ナンバーワン企業

（株）ピカコーポレイションは、昭和32年（1957年）の創業以来、各種はしご、脚立、作業台、工業用足場、特別仕様品、温室等の各種園芸用品のメーカーとして歩みを続けてきた。

“PiCa”は“People and Ideas in Creative Action”つまり、“創造性あふれる人々とひらめき”が集まったチームであることを表わしている。ひと言で言えば「個性の輝き」。多様化、成熟化した現代社会だからこそここにもない鮮やかな個性を大切に磨きあげ、きらめく存在になりたいという願いがこめられている。

同社は永年にわたる製品づくりの歴史の中で様々なノウハウを培い、人々の暮らしと作業を快適にする提案を行ってきた。成熟した市場に安住せず、常に革新・迅速・挑戦、すなわち「INNOVATION, SPEED&CHALLENGE」の精神で、真の顧客満足の創出をテーマに歩みを続け、アルミ製合金はしごでは35%、小型アルミガラス温室では100%の市場シェアを有している。尚、平成20年度決算以降、業界ナンバーワン企業となり確固たる地位を築き上げている。

また、同社はコア事業であるオーダーメイド（特注品）製作をピカ特注ブランド「ピカオーダーメイドシステム」として位置づけ、ブランド力の浸透に努めている。「ピカオーダーメイドシステム」は、顧客の発注に基づき、ゼロから製作する完全オーダー製品「フルオーダー」と顧客の希望にあわせて同社既製品をベースにカスタマイズ製作する「クイックオーダー」システムを持ち合わせており、「フルオーダー」では、各種工場やイベント設備、鉄道、航空機・造船、発電所、さらには宇宙開発関連まで、あらゆる現場に対応して顧客ニーズに答えている。一方「クイックオーダー」では、独自に開発した「オート見積システム」、「オート作図システム」により、製作から納品までスピーディーな対応を実現している。

さらに、平成22年には、異分野の昇降作業台を発売。平成27年にはポリカーボネートの踏台を発売するなど、新たなマーケット開拓に動き出している。





東田機工 株式会社

〒577-0066

東大阪市高井田本通 2-3-3

TEL 06-6783-3001

FAX 06-6783-1417

E-mail: higashida-m.c@k3.dion.ne.jp



代表取締役
東田 勇人

★創業
1922年(大正11年)

★資本金
1,000万円

★従業員
11人

★主要営業品目
平ダイス式転造盤、各種産業機械、
平ダイス

★トップシェア製品
平ダイス式水平型転造盤

マイクロサイズからM24まで平ダイス式 ローリングマシンの可能性を追求

東田機工(株)はネジやピン等を生産する平ダイス式転造盤(ローリングマシン)他、産業機械及び工具の製造・販売をしている。

同社の製品は、マイクロサイズから大型機まで幅広いバリエーションを誇り、デジタルカメラ・ビデオ、コンピュータ等の精密機器から自動車部品にいたるまで、幅広い分野の部品に対応が可能である。また、精度、剛性、耐久性、操作性、特殊品対応力に優れており、顧客の高品位・高付加価値生産に貢献している。

その中でも同社の平ダイス式水平型高精度転造盤(HR-CW)は、高精度ネジ転造はもちろん、複雑高度なフォームローリングも高精度に安定生産できる高性能M6級転造盤である。

このような高精度・高耐久性の秘訣は、スライド部の「キサゲによる高精度摺動面仕上げ」にある。これは摺動面を精密な平面に保ちながらも、微細な油だまりをつくることにより油膜を保持し、抵抗を削減するというものである。

展示会等に出展する際は必ず機械を持参して実演加工をする。「機械はこれで、素材はこれで、一瞬でこういったものが出来ますよ」というところを実演することで、見る人は面白さや信頼を感じる。そういった高精度加工を、工場でなくスポットライトの当たった絨毯の上でできることが製品の信頼につながる。

キサゲを中心とする残すべき伝統技術と、顧客のニーズをもとにした最新の機能開発を良い形で融合させることによって、顧客に喜んでもらえる、というよりもびっくりさせる。「顧客満足」ではなく「顧客驚嘆」を狙いたい、とは社長の弁である。





菱井工業 株式会社

〒578-0967

東大阪市新鴻池町 2-2

TEL 072-961-1565

FAX 072-963-6159

http://www.hishiikogyo.co.jp

E-mail: crane@hishiikogyo.co.jp



代表取締役社長
菱井 生男

★創業
1961年(昭和36年)

★資本金
2,000万円

★従業員
37人

★主要営業品目
物流搬送システム、クレーン製造

★トップシェア製品
ホイスト式天井クレーン

圧倒的製作スピードで 最高品質のクレーンを提供

菱井工業(株)は関西でも数少ないクレーン専門メーカーで、関西におけるシェアは業界トップ、全国でもトップクラスに位置する。

同社の評価を高めている要因の一つには製作スピードにある。限られた工場敷地内で、多い月には月産60基ものクレーンを製作することもある。これを可能にした同社の生産工程の在り方は、長年にわたり培ってきた経験と“何か良い方法はないものか”と常に自問自答を繰り返してきたことから得た知識により産み出されたものという。そして、もう一つの要因は溶接技術を筆頭とした品質である。品質には“これでいい”というゴールが存在しない。常に今よりも良くすることを念頭において仕事に臨まなければならない。「現状肯定主義ではなく現状否定主義で」、これは菱井社長が常々社員たちに言い聞かせている言葉である。菱井社長は、現状に満足することなく、日々探究心を持つことで個々がレベルアップし、ひいては会社全体のレベルアップにもつながると信じている。

品質向上の精神を社員全員が強く意識付ける為のツールとして、2010年2月にISO9001認証を取得した。これを広く社員に浸透させることが社員個々のレベルアップの手助けになると考えている。

クレーン業界という小さなパイの中でシェアを勝ち取る為には、「品質一番」という原点に返り、品質向上のための労は惜しまず邁進することで顧客の信頼を得ていくほかに方法はないと確信している。





兵田計器工業 株式会社

〒579-8034

東大阪市出雲井本町 1-6

TEL 072-982-1121

FAX 072-988-2959

http://www.hyoda.co.jp

E-mail:hyoda@axel.ocn.ne.jp



代表取締役社長
兵田 善男

★創業
1917年(大正6年)

★資本金
3,300万円

★従業員
135人

★主要営業品目
工業用温度計、温度センサー、圧力計
計その他付随計測機器

★トップシェア製品
工業用ダイヤル温度計(業界トップ)

世界のインフラに貢献する 兵田ブランド

現場型から発信式を加えたハイブリッド式で遠隔集中制御システムを構築

ダイヤル温度計を幅広いニーズに対応して製作。それらの器種に加えて温度センサを感温部に一体収納して温度集中制御システムを可能にするハイブリッド式温度計を開発し、新たな需要を掘り起こしている。

ダイヤル温度計とは、電気・電源を必要とせず流体の膨張収縮を用いて純機械的に温度指示するもの。しかしながら、電気式温度計のように長距離測定ができない欠点があり、市場が限られていた。同社は、その温度計の感温部の中に温度センサを合体させて現場測定と遠隔測定を同時に可能にしたハイブリッド式温度発信器を製品化し、従来別々の温度計として購入・設置していた分野に一台でまかなえる温度計を開発した。

重電機器用・保護機器で圧倒的なシェアを誇る

電力・電気に関連する機器で発電、送電、変電そして配電に至る各種重電機器を安全に管理・監視する温度計、圧力計、油面計、放圧装置および油流継電器等は、欠かせないものであるが、これらの計器、継電器等を取り扱っている。また、新幹線など鉄道車両に搭載された車両変圧器用の温度継電器、温度発信器、油流継電器、放圧装置は車両の安心・安全走行という重大な使命を担っている。

安全・安心へ(エコアクション21の認証・登録)

同社の製品は、ほとんどが社会性の高い製品である。それは電力、交通、ビルなどのインフラに直結する安全・安心を司るものになっている。それを構築する根底にはISO9001をベースにした信頼の品質および環境ISOのエコアクション21がある。





ヒヨコペイント 株式会社

〒577-0835

東大阪市柏田西 2-16-15

TEL 06-6728-6501

FAX 06-6728-6523

<http://www.hiyokopaint.co.jp>



代表取締役社長
酒匂 肥佐津

★創業
1963年(昭和38年)

★資本金
1,000万円

★従業員
50人

★主要営業品目
工業用塗料製造(メラミン・アクリル焼付け塗料等)

★独自技術・製品
高機能性抗菌塗料(ULTRA 必殺シリーズ)

人に優しい、環境対応型 高・多機能性抗菌塗料を開発

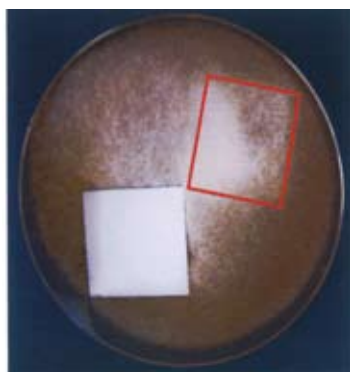
ヒヨコペイント(株)はメラミン焼付け塗料及びアクリル焼付け塗料などの工業用塗料のメーカーである。

塗料業界全体が成熟産業であり、さらに海外製品との価格競争が激化する中、付加価値のある新たな商品を模索していた。平成22年10月、“人に優しく環境対応型の塗料”をコンセプトに、国内発となる高・多機能性抗菌塗料「ULTRA 必殺シリーズ」を開発。同塗料が塗布された場所には、大腸菌、黄色ブドウ球菌、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)、O-157などに対する防菌性に加え、防カビ(45菌)、防藻(27菌)の効果も確認されている。

同製品は他業界で採用されていた抗菌作用のある添加剤を加えて実用化。塗膜中の添加剤に細菌が接触することで、たん白質やDNAなどの合成及び呼吸を阻害し、生育を阻害された菌は、危険情報を伝達する忌避効果を保有している事から、塗膜に近寄らない法則を活用している。

同製品は、学校校舎の手すりや床面、飲食店の厨房設備・食器棚、生鮮食料品陳列棚。さらに、高度な安全性が求められる病院内の医療機器や医療用具等にも十分使用可能である。食品衛生法にも適合している為、食器や魔法瓶、貯水槽など直接食べ物が触れる面での活用も考えられている。

今後は、口蹄疫ウイルスや多剤性耐性菌に対する効果も立証し、海外での利用も視野に入れている。



高機能性抗菌塗料焼付け塗料試験板。
カビの発育が全く認められない。



左以外、同社高機能性抗菌塗料を使用。
カビの発育が全く認められない。



株式会社 日吉プロダクツ

〒577-0045

東大阪市西堤本通東 1-3-22

TEL 06-6787-8285

FAX 06-6787-3085

http://haneji.co.jp

E-mail:yoshida@haneji.co.jp



代表取締役
吉田 信弘

★創業
1919年(大正8年)

★資本金
5,000万円

★従業員
26人

★主要営業品目
“ハネジ”滑弁式往復動真空ポンプ製造販売及び関連真空機器、設備設計製作、理化学機器、化工機設計製作販売、機械制御機器設計製作

★トップシェア製品
“ハネジ”滑弁式往復動真空ポンプ製造販売

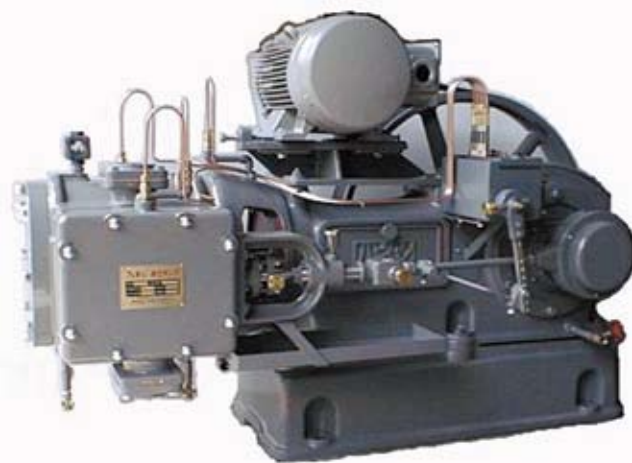
“ハネジ”真空ポンプの ワンストップ工場

株日吉プロダクツは、大正8年創業の、往復動滑弁式真空ポンプ、回転容積式空気瓦斯圧送機の専門メーカーである。同社は製品の性能と品質に改良を加え、昭和18年、その技術の優秀性を認められ陸軍燃料本部・軍需省燃料局の指定工場として認定を受けた。

以来、顧客の技術革新の要望に応えながら、常に業界の先頭に立ち、研究・改良に努力を重ね、現在では往復動滑弁式真空ポンプの全国シェア30%程度を占めるに至った。更なるシェアの拡大を目指して新製品の試作機も完成し、百周年を迎える記念イベントでの発表を計画している。

同社の製品の特徴として、消耗品については出来るだけコストを下げ、メインの部品については肉厚を厚くし、より丈夫に設計している事が挙げられる。その甲斐あって真空ポンプの寿命は、一般的には10年から30年であるが、同社の製品は、メンテナンス次第で40年～50年稼動出来ることが証明されている。目標は100年。製品に愛着を持って頂いているお客様が多く、大変喜ばれているとのこと。工場の中には、オーバーホールを待つ真空ポンプがところ狭しと並べられている。

社長によると、同社の一番の自慢は、「従業員が自分の仕事に誇りを持ち、自ら考え仕事をする事」であるという。社長はじめ従業員一人一人が技術屋であり営業マンとして更なる発展を目指す。





株式会社 フジキン

〒577-0015

東大阪市長田 3-9-21

TEL 06-6787-2201

FAX 06-6787-1611

http://www-ng.fujikin.co.jp

E-mail: info@fujikin.co.jp



代表取締役会長 兼 CEO

小川 洋史

★創業
1930年（昭和5年）

★資本金
540,000万円（グループ計）

★従業員
2,600人（グループ計）

★主要営業品目
特殊精密バルブ機器、超精密ながれ（流体）制御システム

★トップシェア製品
半導体製造装置用バルブ（70%）
水素ステーション向け超高压バルブ（100%近く）

特殊精密バルブ機器では超ダントツ 世界に先駆ける開発も

（株）フジキンは特殊精密バルブ機器と超精密ながれ（流体）制御システムのトップランナーである。半導体・FPD製造設備、宇宙ロケット、新エネルギー、ケミカル、バイオプラント、原子力・火力発電、造船など最先端の技術が要求される分野に製品を供給。特に半導体製造装置用バルブの市場シェアは、国内70%に拡大し、業界No.1となっている。

現在、半導体製造装置のガス供給系に広く採用されているFCSPは、超高速応答・超高精度の圧力制御式流量コントローラとして、半導体デバイスの微細化・高集積化に貢献している。上流側の供給圧変動、及び温度変動があっても、1000分の1秒以下の超高速フィードバック制御にて、超高精度の流量コントロールが可能。高温対応の機種は、今まで不可能であった250℃のガスの流量制御を実現した。この最先端技術を、顧客と共に日々改良を重ね、磨き続けることで、同社は、超微細加工の分野でも技術力を伸ばしている。

また、2008年に「超モノづくり部品大賞 環境関連部品賞」を受賞した製品などが、今、水素ステーションの制御弁として100%近く採用されている。水素充填機の高圧対応により燃料電池車の走行距離が延び、また高耐久によるメンテナンス軽減を可能にすることで新エネルギー産業をも支えている。そして、世界初のFCV“MIRAI”にも車載用が採用され、今後のさらなる水素エネルギーの発展にフジキンも技術力で貢献している。

この他、ライフサイエンス事業として、チョウザメ（キャビア・フィッシュ）の養殖やX線撮影装置などの医療機器の開発・販売といった新ジャンルの事業にも積極的に取り組み、大きな成果をあげている。





株式会社 富士製作所

〒578-0984

東大阪市菱江 6-4-28

TEL 072-964-2270

FAX 072-964-0371

http://www.fujiseisakusho.com

E-mail:fuji@fujiseisakusho.com



取締役社長
木村 文雄

★創業
1943年(昭和18年)

★資本金
4,800万円

★従業員
60人

★主要営業品目
六角切削ナット、各種ナット

★トップシェア製品
大型特殊切削ナット (50%)

熟練工の技が活きる 大型特殊ナットでブランド確立

「ねじ作り一筋に70有余年」六角磨きナットメーカーとして歩んできた(株)富士製作所は、昭和50年にJIS表示認定工場に指定されて以来、品質に自信を持って標準ナットや、特殊ナット、超高ナット、ゆるみ止めナットなどを製造している。

材質は、鉄、ステンレス、真鍮など常時あらゆる鋼材を在庫し、サイズは小径サイズ6ミリから超大径150ミリまで、広範囲の製品サイズを生産している。

同社の特徴は「大型特殊切削ナット」メーカーということで、ナット業界でもこの種のナットを製造している企業は少ない。

売上の70%は大型ナットが占め、業界シェア50%とトップである。これらのナットは建設や橋梁などに必要とされ、瀬戸大橋や明石大橋のワイヤの結束ナットに採用されており、関西国際空港や原子力発電所の厳しい検査にも応えている。

一般的には造船、重機、特殊車輛などにも使われており、多品種少量生産も特徴の一つ。「切削ナットはたとえ一つでもお受けします」というように、ほとんどの製品が独自のナット自動切断機やねじ切盤を使った熟練者による製品である。

最近はゆるみ止めナットに需要が高まり一段と研究が進められている。フジダブルロックナット、フジトリプルロックナット、フジロックナット、フジスピードロックナット、フジクイックナット、フジクイックナットMタイプなど様々な用途に応じて新製品を開発している。

高さ(長さ)500ミリの超高ナットが注目されて、大型切削ナットとともに東大阪ブランド製品の認定を受けている。

平成14年には、ISO9001も取得し5S、EA21、CSRを中心に活動する。





藤塚精密金型 株式会社

〒577-0033

東大阪市御厨東 2-12-12

TEL 06-6787-2103

FAX 06-6787-1810



代表取締役
藤塚 孝征

★創業
1951年（昭和26年）

★資本金
1,200万円

★従業員
36人

★主要営業品目
プラスチック射出成形用精密金型
の設計・製造

★独自技術・製品
複雑なスライド構造を多用した精
密金型、2色成形・プラマグ・C
FRTP等の特殊金型

スライド機構を持つ金型 製造に異彩を放つ

藤塚精密金型(株)はプラスチック射出成形用の精密金型メーカーである。設計から精密機械加工、手仕上げから最終組み立てまで一貫して行っており、高精度高速加工機等の設備と職人の感性を駆使して、家電、自動車部品、産業機器、医療機器、ゲーム機や携帯電話等、幅広い分野のプラスチック部品用の精密金型を製造している。

得意とするのは、複雑なスライド機構を持つ金型製造で、具体的にはひとつの製品に対し20箇所以上のスライド機構を必要とする金型や、独自の手法を用いて多段階にスライド機構を可動させていく金型等を製造している。

また、最適な金型温度を作り出す冷却回路を設定する技術や、プラスチック成形部品の成形時の収縮によるヒケや変形を測定し、それに合わせて金型側を変形させる技術を用いてミクロンオーダーのプラスチック成形品を実現する金型技術を有しており、これらのコア技術をベースとして、顧客が安心して使用できる金型を提供している。

多くの業界の様々な製品、様々な樹脂に対する金型製造の実績を持ち、二色成形や、封止成形、プラスチックマグネット、熱可塑性カーボンシート（CFRTP）との複合成形など、様々な特殊金型も対応し、ひとつひとつの課題を解決してきた経験が、次の新たな課題への挑戦を可能としていることが強みでもある。





フジ矢 株式会社

〒578-0922

東大阪市松原 2-6-32

TEL 072-963-0851

FAX 072-963-3726

http://www.fujiya-kk.com

E-mail:info@fujiya-kk.com



代表取締役社長
野崎 恭伸

★創業
1923年(大正12年)

★資本金
3,000万円

★従業員
81人

★主要営業品目
ペンチ、ニッパ、超硬製品、
ステンレス製品等作業工具、
工具収納袋

★トップシェア製品
ペンチ・ニッパ(37%)

グローバルなナンバーワンペンチ、 ニッパメーカーを目指して

創業以来ペンチ・ニッパ類の製造を中心に、現在日本国内で業界のトップメーカーに位置し、シェアも37%を誇るフジ矢(株)。販売網は、電設、機械、金物などの卸商社とホームセンターなどの大型量販店を中心に安定した市場を確保して着実な発展を遂げている。

また2007年8月には、ベトナムのホーチミン近郊に100%製造子会社となる現地法人である『FUJIYA MANUFACTURING VIETNAM CO.,LTD』を設立した。現在、日本人スタッフとベトナム人従業員を合わせると本社工場に匹敵する規模となった。

生産拠点の位置づけとして、日本国内の工場では高付加価値・高技術な商品を、ベトナム工場では大量生産商品を生産し、両工場共に職人技の技術を継承して生産している。販売拠点としては、国内販売チャンネルには、新商品の企画・開発を進めた総合工具メーカーを目指す。またホーチミン営業所を開設しアジア市場の販売拠点として位置づけ、現地販売代理店やユーザーへのサービスを強化し、適地生産、適地販売で同社のグローバル戦略を進めて行く。

2015年11月には、同業社である花園工具(株)をグループ化しさらなる飛躍を目指す。



[FUJIYA MANUFACTURING VIETNAM CO.,LTD.]



株式会社 フセラシ

〒577-0053

東大阪市高井田 11-74

TEL 06-6789-7121

FAX 06-6781-1734

http://www.fuserashi.com/

E-mail:support@fuserashi.co.jp



代表取締役社長
嶋田 守

★創業
1933年(昭和8年)

★資本金
30,030万円

★従業員
550人

★主要営業品目
精密ナット及び各種圧造部品製造

★トップシェア製品
自動車用精密ナット(業界トップ)

圧造技術を活かして 未来に繋がるパーツ造りへ

株フセラシは主力事業の一つである精密ナットの分野において、自動車、建設機械、電機を中心にナットメーカーとして世界トップのシェアを誇る。

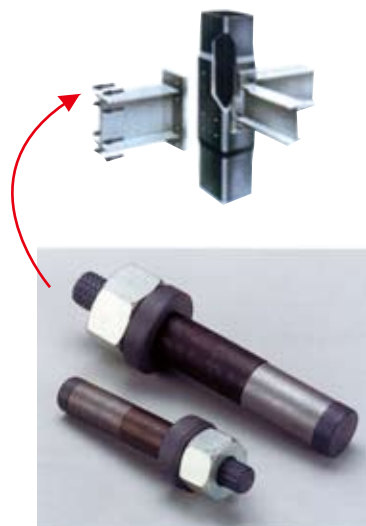
こうした事業を支えるのは、設計開発から納品まで迅速・効率的にサイクルする同社独自のプロダクトシステムである。

1933年の創業以来、精密ナット・各種圧造・鍛造部品のリーディングカンパニーとして、全国に顧客ニーズ対応の為の営業拠点と国内4工場、海外3工場のグローバル体制を配している。『品質最優先』『納期順守』『適正価格での販売』の徹底と実践により、高品質で安全性の高い製品はもとより、環境に優しい新製品の開発段階からの参画等、全世界の顧客に届けている。

近年では、自動車関連製品・エコ関連製品・特殊建築用複合製品などあらゆるフィールドを広げ、グローバルな視点で顧客の多様なニーズに応えている。

成型の基本となる熱間・温間・冷間、3タイプの圧造技術に加え、冷間鍛造技術を基本とし、これらの技術をライン化した設備に加えて、製品の仕上げ加工に使われるNC旋盤、研磨、タッピング、熱処理などのラインを備えている。

永年にわたり培ってきたこれらの技術や設備を使い分け、また組み合わせることによって様々なパーツを効率よく、経済的に量産し、総合パーツメーカーとして、今後も顧客から信頼されるメーカーとして、独自の技術力と柔軟な発想で新しい時代に応えるモノづくりを追求し、さらなる飛躍を目指し挑戦しつづける。



鉄骨接合工法用ハック高力ワンサイドボルト



株式会社 ブレッシング

〒577-0057

東大阪市足代新町 17-9

新町ビル1階

TEL 06-7651-2223

FAX 06-7651-0401



代表取締役
北岡 利康

★創業
2008年(平成20年)

★資本金
500万円

★従業員
7人

★主要営業品目
繊維製品全般の製造販売

★独自技術・製品
マルチプルストレッチ(タテ、ヨコ、ナナメに伸縮する)
BEYOND COTTONの素材

天然繊維に付加価値を求めた 製品を開発

(株)ブレッシングは、原材料からオリジナル化を進めている。オリジナルの原糸が最大の付加価値化だと考え、日夜新しいモノづくり、新しいファッションの追及に邁進している。

特に、天然繊維に着目し、コットン100%での繊維の付加価値化に成功した。

BEYOND COTTONは綿100%でありながら、タテ、ヨコ、ナナメのいずれの方向にも伸び縮みする、マルチプルストレッチを実現した。

また、糸の改質加工を施し洗濯しても新品同様にやわらかい肌触りを実現している。

ECO-EVER加工は、人と地球に優しい加工技術を確立し、環境と健康に影響を与える有害な薬剤を一切使用せず、各種機能性を分子レベルで繊維に共有結合した画期的なナノテクノロジーで、透湿撥水機能と洗濯耐久性が高い。





株式会社 ベル玩菓

〒578-0921

東大阪市水走 3-7-32

TEL 072-966-0271

FAX 072-966-0233

http://www.bellganka.jp/

E-mail: info@bellganka.jp



代表取締役
松葉 善治

★創業
1965年(昭和40年)

★資本金
2,500万円

★従業員
18人

★主要営業品目
玩具・販促製品・OEM製品

★トップシェア製品
小物玩具(業界トップ)

グローバル展開で小物玩具市場の トップを走るSP商品のパイオニア

(株)ベル玩菓は昭和40年、東大阪市西石切町にて創業、菓子と玩具をセットしたいいわゆる玩菓を製造販売していたが、その後、小物を中心とした玩具のウエイトを高め、現在、玩具が売上の95%を占めるようになり、外食産業、アミューズメント関連、百貨店、広告代理店、玩具問屋等全国200社以上に向けて販売している。当初、同社は輸出にウエイトを置いていたが、円高傾向になるに従って国内市場重視に転換し、現在、製品の約9割を海外生産し、国内で販売している。

同社は、社長の40年来のパートナーである香港商社を内外への販売拠点とし、本社は製品企画、金型設計、デザイン及び国内販売、中国は生産拠点と位置付けることによってグローバル化を図り、コストパフォーマンスの高い製品づくりと多様な販売網を確立している。製品企画にあたっては、Webを利用して、本社と香港商社・中国工場間で、校正や品質のチェック等を行っており、製品管理や納期の短縮に効果を上げている。

同社は常時2500アイテムを超える製品を揃え、短納期化する顧客のニーズに応えるべく、東大阪市水走と兵庫県春日町の2拠点にコンピューター制御による物流センターを設置し常時ストックを有することにより、オーダーに対し即日発送できる体制をとっている。このように高品質・低価格かつ多品種、そして短納期化を図ることにより、「ベル玩菓にオーダーすれば短期間で何でも揃う」との評判が定着し、外食産業・アミューズメント施設での景品や、大手製薬会社・自動車メーカー・広告代理店・異業種企業からのOEM製品、イベントグッズ、ノベルティ製品として、小物玩具の分野においては高い業界シェアを占めるようになった。

同社の製品は、従来小学生程度の年齢を対象とし、低価格製品に絞っているが、今後は対象年齢にとらわれることなく、低年齢対象商品は「子供たちに喜びを与え想像力を豊かにする企業」をコンセプトに。高年齢対象製品は小物玩具以外にも、日用雑貨・エコ製品などより付加価値の高い製品作りに取り組み、更なる成長を目指している。





株式会社 ホーライ

〒577-0066

東大阪市高井田本通 2-3-10

TEL 06-6782-1281

FAX 06-6782-4718

http://www.horai-web.com

E-mail: info@horai.co.jp



代表取締役
鈴木 雅之

★創業
1949年（昭和24年）

★資本金
3,600万円

★従業員
150人

★主要営業品目
粉碎機、破碎機製造

★トップシェア製品
粉碎機・破碎機（60%）

独創的粉碎機の開発 ヒントはバラの花

昭和30年代のプラスチック産業の興隆期に、いち早くプラスチック廃材の再生利用に目を向け、プラスチックリサイクル用粉碎機を開発、半世紀も前からリサイクルをテーマに歩みつづけているのが株ホーライである。

以来、各種の粉碎機・破碎機を開発し、現在では業界シェア60%を誇るトップ企業である。

同社の粉碎機・破碎機は、回転する鋭利な刃によって対象物を切断する回転剪断方式を採っているが、この開発のきっかけはバラの花がヒントになった。

重なりあう花びらを刃物に見立て、この方式の粉碎機が誕生したのである。

粉碎機や破碎機は、ただ対象物を細かくすればよいというものではない。リサイクルの方法によって様々な粒度や比重に粉碎加工することが要求される。

こうした要求に応じて目的に応じた最適な機種を設計できることが同社の最大の利点である。

この結果、プラスチックフィルムの廃棄物を道路舗装の補助材として再利用する技術開発や、PETボトルリサイクルの分野にも貢献し注目を集めている。

また、アフターサービス体制も同社の強みのひとつである。納入した機械を最適な状態で末永くユーザーに使ってもらうために、アフターサービス専門の部隊を設け、全国に配備している。

各種リサイクル法の成立により、当製品に対する社会的ニーズは益々高まりつつある。こうした中で、粉碎機・破碎機に加えて造粒機や選別機をはじめとする周辺機器もラインナップし、さまざまなリサイクルニーズに対応できるプラント開発に力を注いでいる。





北勢工業 株式会社

〒577-0815

東大阪市金物町 2-14

TEL 06-6723-0471

FAX 06-6723-0477

http://www.hokusei-kogyo.co.jp/

E-mail:soumu@hokusei-kogyo.co.jp



代表取締役社長
北山 晴英

★創業
1949年(昭和24年)

★資本金
15,750万円

★従業員
130人

★主要営業品目
マンホール鉄蓋、樹木根囲い保護材、その他の水道・土建用鋳鉄品

★トップシェア製品
ルーツグレート(60%)

樹木根囲い保護材で 都市空間をアート

街並みにやさしい表情や重厚な趣を与える樹木根囲い保護材、車止めやフェンス、ベンチなどの景観鋳物。やわらかい曲線を形作り、時を経るほどに風合いが増す鋳物は安らぎの街づくりに欠かせない重要な役割を果たしている。

北勢工業(株)はこの景観鋳物の中で樹木根囲い保護材「ルーツグレート」の製造販売で、約60%のトップシェアを誇っている。

街路を彩る樹木を保護しながら、空間にデザイン性を付加する「ルーツグレート」。豊富なデザインバリエーションを持つだけでなく、快適性や安全性にも配慮。タバコの吸殻を通さず、ハイヒールのかかとや車椅子、杖が落ち込まない75mm幅スリットで快適で安全な歩行を約束し高い信頼を得ている。これらは熟練した技術の結晶であり、平成5年度通商産業省(現経済産業省)選定のグッドデザイン賞に輝いた実績を持つ。

そして更なる安全性を追求し、「ルーツグレート」の表面に幾何学模様を独自の技術で鋳出し、優れたスリップ防止効果を発揮する「ジオタイプ」を展開。バリアフリーの視点を取り入れたユニバーサルデザイン技術を結集した製品として自信を持って提供している。

本社には商品開発部を有し、企画から生産まで一貫して手掛ける強みを生かし、実用性・デザイン性・材質などに細かく配慮した製品を創造。そして、高速高圧自動造形ラインなどの最新鋭設備を持つ自社工場と協力工場を保有し、多品種少量生産を可能にしている。また、日本各地に営業所(16ヶ所)を展開し、地域密着型の販売力を強化。街の快適環境の創造に貢献している。





ホルベイン工業 株式会社

〒579-8063

東大阪市横小路町 4-10-52

TEL 072-985-1221

FAX 072-985-3516

http://www.holbein-works.co.jp



代表取締役社長
川見 良夫

★創業
1900年(明治33年)

★資本金
8,000万円

★従業員
98人

★主要営業品目
油絵具、水彩絵具、画用液製造

★トップシェア製品
専門家用油絵具・画用液(50%
~)

専門家用油絵具で トップブランドの地位

ホルベイン工業(株)は明治33年、洋画材料金属製品の製造業として発足、当時国内の洋画材料のほとんどは、海外からの輸入に依存していた。

大正8年には、ホルベイン洋画材料研究所を設置、英仏諸国の洋画材料、特に絵具や画用液の分析・研究に着手する一方、絵具製造に乗り出し、逐次、洋画材料全般の製造販売を行うようになった。

その後は欧米向け輸出を開始、次第に輸出も本格化するが、第二次大戦による戦災で工場・社屋が焼失し、一時事業は中断されてしまう。

昭和21年、吉村合名会社を改組し現社名で事業を再開した。以後、生産量、販売網が大きく伸展し、昭和50年代初期に、わが国におけるトップブランドの地位を不動のものにした。

現在、専門家用油絵具・画用液は国内市場で50%以上のシェアを占めている。これは、描画用色材の“総合メーカー”を指向した結果、同社ブランドのイメージアップが図れたことが要因となっている。

また、これまで職人の経験や勘に頼るところが多かった油絵具の生産に、科学的見地を導入し、研究を重ね品質改善に努めてきた賜物といえる。

同社の研究成果の一つとして挙げられるものに、東京藝術大学と産学協同研究で5年の歳月をかけて開発した油絵具「油一/YUICHI」があり平成19年に発売した。

平成22年には絵具づくりの知恵を結集し最新技術と最新顔料を使ったホルベイン高品位油絵具「VERNET(ヴェルネ)」を発売した。

平成25年光学レンズのサングラスブランド「SWANS」(山本光学(株))と同社の技術部の共同研究で生まれたスケッチ専用の偏光グラスを発売した。

また、平成27年近畿大学工学部宮澤教授監修による大学発の特許技術を組み込んだ機能性アロマ配合の油彩画用液は、描画中イキイキとした制作活動を支援する。今後もアーティスト周辺の製品開発を行っていく。





株式会社 マイ・テクノス

〒577-0036

東大阪市御厨栄町 2-13-7

TEL 06-6789-8630

FAX 06-6789-8631

<http://www.maytechnos.com>



代表取締役
森本 晃

★創業
2008年(平成20年)

★資本金
1,000万円

★従業員
3人

★主要営業品目
フィルター装置製造販売

★独自技術・製品
自己洗浄機能付きろ過(フィルター)装置

環境・コストを意識した 新時代のフィルター装置

従来の潤滑油を含む液体ろ過装置は、フィルターでろ過し、微細な不純物をフィルター部に付着捕集、フィルターと共に産業廃棄物として処理する為、ランニングコストが膨大であった。また、目詰まりを起こさないように、定期的にフィルターを取り除き、機械内に溜まったスラッジ(金属粉)を掃除、再度フィルターを装着するという行程を繰り返していた為、生産工程でのタイムロスも生じていた。

(株)マイ・テクノスが開発した「エコロ・マチック・フィルター」は、メインフィルターでろ過、フィルターに付着したスラッジなどの不純物を下部のサブフィルターに排出。次に、圧縮エアで振動を起こすことで、メインフィルターに付着したスラッジなどを剥離する。これら一連の動作を取り入れた同社のろ過装置を採用することで、フィルター交換の大幅削減、メンテナンス時間の短縮、洗浄・スラッジ除去の簡素化、産業廃棄物処理費用の削減などの効果が得られる。さらに、ろ過されたスラッジにはコバルト、タンゲステン、ニッケル、チタンなどの希少金属も混ざっており、回収されたスラッジ粉は再資源化も容易である。

同製品は、大手電機メーカーをはじめ、中国、東南アジア、ヨーロッパ、アメリカ企業からも受注があるなど、着実に販路を拡大している。精密研削向け、一般研削向け、ワイヤーカット用など様々なバリエーションがあり、基本的な仕様は共通であるが、希望に応じたカスタマイズが可能。

今後は、環境に配慮した製品として、様々な用途への利用が期待されている。



EcoloMatic・Filter 集中タンク 大容量処理可能



EcoloMatic・Filter タンク
超硬等の精密濾過



有限会社 マグライフ

〒578-0974

東大阪市鴻池元町 3-23
TEL 06-6748-2336
FAX 06-6748-2339



代表取締役
石井 克典

★創業
2003年(平成15年)

★資本金
300万円

★従業員
2人

★主要営業品目
マグネット製品全般、すべり止め
塗料、ボード全般(防災製品)、
両面テープ全般

★独自技術・製品
強磁力プリントマグネットシー
ト、溶剤系・UV系インクジェッ
ト機で直接印刷が出来るマグネッ
トシート、マルチ鉄粉シート、
セーフティペイント

特殊シートや塗料の開発で 差別化を図る

(有)マグライフは「新素材を探求する」をモットーに、各種製品を提供している。

溶剤系・UV系インクジェット機で直接印刷が出来る業界初のマグネットシート「強磁力プリントマグネットシート」は、強磁力タイプで吸着力が高く、シートの厚みが薄いため重さも軽い。直接印刷出来ることから印刷物を貼り合わせる事もなく作業効率のアップに繋がるもので、屋内外問わず多様な演出が可能である。

また、マグネットの相手方として開発した「マルチ鉄粉シート」は、溶剤系・UV系インクジェット機で直接印刷が出来る業界初の鉄粉入りシートで、別素材との貼り合わせが可能なフレキシブル素材で加工性・表現性にも優れ、防錆加工も施されているので屋外でも使用可能な防災製品認定製品である。いずれも溶剤系・UV系インクジェット機で直接印刷できるシートの強みがある。

歩行者の安全性向上を目的として新しく開発したすべり止めクリヤー塗料「セーフティペイント」は、シックハウス対応製品で、下地の色合いのままにローラーで簡単に施工でき、屋内外使用可能、色々な素材に塗装可能で用途が広がる。当製品は、転倒事故防止対策の必要性を考え、開発されたもので、同社の探究の成果が表れた結果である。





松尾捺染 株式会社

〒577-0062

東大阪市森河内東 1-9-8

TEL 06-6782-6281

FAX 06-6782-6284

http://www.matsuo-nassen.co.jp

E-mail: osamu49er@matsuo-nassen.co.jp



代表取締役社長
松尾 治

★創業
1926年(大正15年)

★資本金
2,000万円

★従業員
50人

★主要営業品目
染色加工(機械捺染)(ハンカチ、
エプロン、布バッグ、衣料)

★トップシェア製品
ハンカチーフプリント

ハンカチーフのプリントで 世界一

松尾捺染(株)は、捺染すなわち繊維の染色加工(機械捺染)に優れた技術を有している。

年間加工量は、300万平方メートルに及び、うち50%がハンカチーフの捺染、その他はエプロン、布バッグ、衣料となっているが、ハンカチーフのプリントでは世界最大の加工量を誇る企業である。

CADシステムの導入により、図案・デザイン等の読み取り、割り付け、試し刷りなど製版前の十分な検討が可能となっており、同システムは製品の多様化への対応や短納期生産、さらには取引先への企画立案にも大きな役割を果たしている。

同社は、大正15年に大阪市内でタオル・ハンカチーフの印入れを業として創業。戦時中、中国へ工場を移していたが、戦後、大阪市内で再スタートした。昭和34年に東大阪工場を開設、フラットスクリーン等による機械化を進め、業界トップ企業の地位を築いた。その後、本社機能を段階的に東大阪市に移し、平成3年には本社工場の拡張とともにFA化、ニューファクトリー化を実現し、同社の本社工場は本市でも最も美しい工場のひとつに生まれ変わった。

最新の設備と高い技術力をもとに、同社は今後も海外生産を指向せず、あくまで国内でのものづくりにこだわる企業として発展が期待される。





株式会社 松下商會

〒578-0912

東大阪市角田 1-7-40

TEL 072-966-0178

FAX 072-966-0177

<http://www.matsushita-shokai.com/>

E-mail: info@matsushita-shokai.com



代表取締役
松下 幸司

★創業
1962年(昭和37年)

★資本金
10,000万円

★従業員
17人

★主要営業品目
液晶用導光板、液晶関連製品、プラスチック銘板、面発光製品、プラスチック精密加工

★独自技術・製品
精密切断・鏡面加工、印刷・切削加工

エッジライト導光板の 配光設計から加工まで自社で一貫生産

株松下商會は、アクリル導光板の国内有数メーカーとして、導光板用精密カット機の開発と共に、導光板を進化(薄肉化、広面積)させる過程で必須となる高精細ドットパターン付与の最新テクニックであるオンデマンド方式インクジェット装置を導入し、独自のノウハウを構築した。

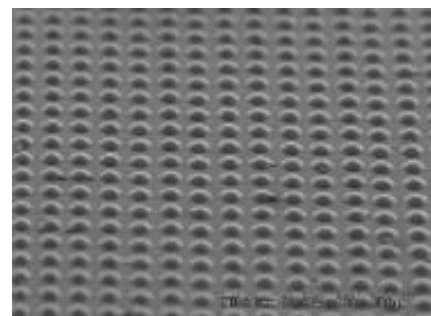
その特徴は、導光板配光部のレンズアレーを金型を使用せずにオンデマンドで作製する事である。同装置はインクジェットプリンターから透明の紫外線硬化樹脂を透明樹脂板上に吐出し、各々の表面エネルギーの差を利用して、吐出された樹脂をレンズ形状のまま紫外線で硬化させるものである。

同装置はマルチドロップ技術により、同一ノズルから1～15滴を高速で吐出することができる。例えば15滴を高速で吐出すると、最初の液滴が樹脂板に到着するまでに残りの14滴が最初の液滴に追いつき、1滴として着弾する。このように、着弾した液滴の量を15段階まで制御可能であるが、導光板用途には最大7滴までを使用し、約35 μ ～80 μ の範囲でレンズ径を変更しながらの印字が可能である。

インクジェット方式の長所として、① ϕ 35 μ mレンズによる高透明度のパネル②金型が不要③薄型・大型への対応が可能④少量多品種への対応が可能⑤高速、高効率の量産が可能⑥オンタイムで瞬時に設計変更可能⑦リードタイムの大幅短縮、などが挙げられる。

インクジェットで配光パターンを作成するためには、大小のマイクロレンズを組み合わせて、配光を行う事になる。300DPIでの印字が可能となるため、微細なパターンをデザインできる。配光パターンは画像として作成するため、PC上でのプレビューが容易に行える。

同社は、この技術を活かしスマートフォンやタブレット、ノートブックPC、TVなどの液晶関連製品やサインなど薄型看板のバックライト導光板として製品を生産。更にLEDと組み合わせることにより省エネ効果のある面発光製品を各種開発中である。



マイクロレンズ拡大図



マツシロ 株式会社

〒578-0912

東大阪市角田 1-10-8

TEL 072-962-1431

FAX 072-963-0128

http://www.m-elitebag.co.jp

E-mail:info@m-elitebag.co.jp



代表取締役社長
松城 幹夫

★創業
1949年(昭和24年)

★資本金
4,860万円

★従業員
15人

★主要営業品目
エリート印紙袋、袋物、服飾雑貨
「Loop Change Loop」

★トップシェア製品
ペーパーバッグ(30%)

群を抜く製品企画力で 多彩なペーパーバッグ

駅売店やコンビニエンスストアなどで売っている手提げ紙袋(ペーパーバッグ)。マツシロ(株)は、年間50億円といわれるこの市場で約3割のシェアを誇る最大手メーカーである。

米国製のきれいなラッピング用紙袋をヒントに、販売用手提げ紙袋を国内で初めて製品化したのは昭和34年。先代社長の「デザインと耐久性を重視すれば売れる」という発想で、紙袋にビニールを被せたことにより、強度だけでなく、単なる消耗品であった紙袋にお洒落な製品というイメージを植えつけることに成功した。

現在、同社が製造している紙袋はデザイン別に約130種類。なかには発売以来20年間というロングセラーもあるが、約7割は毎年デザインを変えている。それほど製品企画力は高い。最近では、底が三角形のものや、ポケット付きの製品も開発している。これは、企画担当者4人を専属とし、加えて約50社のデザイン事務所と契約を結び、「紙袋をただの物入れではなく、ファッションの一部にしたい」をモットーに、常に新しいアイデアを求める同社の姿勢によるものだ。

また、紙は他社より上質のものを使用する傍ら環境問題にも配慮し、再生紙を30%含む紙の使用も50%にのぼる。また、焼却時に有毒ガスが発生する塩化ビニールの代替品として、塩化ビニールと同様の機能をもつポリプロピレン(NIPP)を樹脂メーカーと共同で開発、導入している。

一方、企業のオリジナル紙袋を受注する新しい部門を設立。これまでに蓄積した企画力を活かして、受注先の小売店や企業のイメージアップにつながるような紙袋の作製に注力する。





マツダ紙工業 株式会社

〒577-0827

東大阪市衣摺 5-14-24

TEL 06-6728-8501

FAX 06-6728-3990



代表取締役社長
松田 和人

★創業
1958年（昭和33年）

★資本金
2,000万円

★従業員
30人

★主要営業品目
段ボールケース・印刷紙器、面取付美粧段ボールケース、仕切箱、その他段ボール製品・製造販売

★独自技術・製品
段ボール製チェスト、段ボール製デスクセット

ボランティアでの製品開発 が新市場を創出させる

マツダ紙工業(株)は、創業1958年（昭和33年）、主に段ボール製品・印刷紙器を製造販売している。また、東日本大震災の際にパーテーションを被災地に届けるなど、支援活動を行っている。あくまでもボランティアの一環で作ったものであったが、仮設住宅にタンスがないとの悩みを聞き、5年以上使用可能な強度を持つ整理ダンスを開発したのがきっかけで、後に製品化する運びとなった。

開発段階で、強化段ボールを使用し強度を高め、水がこぼれても弱くなりにくい撥水性段ボールを天面と底面に採用し耐久性を持たせ、段目を見せない一体構造にすることに検討を重ね、デザイン性にも優れたECOで軽くて丈夫な整理ダンスを完成、「チェスト」と名付けた。自由にペイント出来る「オリジナルチェスト」、「ママのアイデアでお片付けを習慣に」をコンセプトにした「お片付けチェスト」など全品合わせて、12色のカラーバリエーションを5段と3段の2タイプを用意し、様々なニーズに応えている。

東大阪ブランド推進機構より「ナンバーワン認定」製品にも選ばれたチェストをはじめ、「子供に笑顔を、ほっこりとした家庭に」をコンセプトとした製品開発を手掛ける。





株式会社 松田製作所

〒578-0963

東大阪市新庄 4-13-12

TEL 072-964-1199

FAX 072-963-6202

http://www.kkmatsuda.com/

E-mail: info@kkmatsuda.com

代表取締役社長 徳竹 仁志

★創業
1978年(昭和53年)

★資本金
1,000万円

★従業員
8人

★主要営業品目
自動研磨機、特殊研削盤、研磨口
ポット、自動バリ取機

★独自技術・製品
MC加工後バリ取り加工、平板
レーザー抜きバリ取装置(特許)

オーダーメイド研磨機の スペシャリスト

機械の組立、部品の機械加工及び表面処理加工機的设计、製作を行っている(株)松田製作所は、表面自動研磨に関する特許・実用新案を多数有する表面処理関連機械製作のスペシャリストである。「受注先のどのようなニーズにも対応した研磨関連機を提供することができる」と社長が自負するように、アルミ、鉄、ステンレス等の金属製品から、楽器、机、椅子、手すり等の木製品まで、あらゆる製品の自動・半自動の表面研磨(羽布・ヘヤー・バリ取り・面取り・研削・切断等)機を設計から製作まで一貫して手掛けている。

同社は、電気音響機器部品の表面処理加工メーカーの子会社として、昭和53年12月に現所在地で創業。平成5年10月に独立し、現在に至っている。

同社の強みは研磨機的设计から自社で行っていることであり、受注した段階から顧客の要望・条件を細部にわたって取り入れ、ニーズに100%対応した製品を提供している。汎用機器では対応できない表面処理も同社のオーダーメイド研磨機なら可能になるということで、同社の製品に対する信頼は高い。

現在は商社との取引も比較的多いが、今後は企業とダイレクトに取引していきたいという。「我が社の研磨機で、受注先の省力化とコストダウンの手伝いをする」をモットーに、オーダーメイド研磨機の製作だけでなく、最近では、高齢化した技能工に代わるeCOに十分配慮した自動機作り及び汎用機器の製作にも意欲的に取り組んでおり、さらなる飛躍が期待される企業である。





松村工芸 株式会社

〒577-0056

東大阪市長堂 3-2-23

TEL 06-6782-3336

FAX 06-6783-6343

http://www.mkaa.co.jp/

E-mail: info@mkaa.co.jp



代表取締役
松村 恵造

★創業
1928年（昭和3年）

★資本金
4,400万円

★従業員
190人

★主要営業品目
フラワーデザイン材料卸、
フラワーホビー資材

★トップシェア製品
アクアフォーム（60%）

花をより美しく演出する アクアフォーム

松村工芸(株)は、花をより美しく演出するための花の資材全般を扱う企業である。フラワーアレンジメントに使用する吸水フォーム「アクアフォーム」をはじめ、花器、リボンなどのラッピング資材やバスケットなど、6万点を越える商品群の卸販売を行っている。

中心商品であるアクアフォームはフェノール樹脂の発泡体で国内の自社工場生産している。ノンフロン生産、ハウスシックの原因となるホルマリンの含有量が非常に少なく、またダイオキシンを含まないなど、環境にもやさしい商品である。さらに添加物を植物由来のものに変えることにより、花もちを約2倍アップ（同社従来品比）させることに成功した。売上の一部は「緑の募金」に寄付している。

アクアフォームは花のアレンジメント以外にも、ブルーベリーやバラなどの溶液栽培の培養土や屋上緑化等の人工保水基盤としても使用されている。また、その発泡技術を応用して衝撃緩衝材や吸音材など様々な分野で活用されている。

デザインの要素の強い花器や資材類は、欧米の最新トレンド商品を直輸入している。

また、数年前からは、花器やリボンといった資材の販売だけでなく、企業とタイアップしてギフトや通販向けのプリザーブドフラワーや造花のアレンジメント作品も企画・製作・販売している。

今後も「花と緑で社会に潤い」を与えられるよう、環境や市場のニーズにあった商品開発・展開をはかっていく。





株式会社松村合金 ダイス研究所

〒579-8031

東大阪市豊浦町2-2

TEL 072-988-1115

FAX 072-987-8643



代表取締役社長
松村 謙三

★創業
1959年（昭和34年）

★資本金
1,300万円

★従業員
21人

★主要営業品目
樹脂押出成型用金型（ダイス、ニップル）、チューブ押出成型用ユニット

★独自技術・製品
精密加工技術、チューブ押出成型用ユニット

チューブ押出成型用ユニットを 新たな事業の柱に

株松村合金ダイス研究所は「こだわりを持った、ほんまもの」企業を目指して事業活動を行っている。顧客に満足頂ける製品や企業とは何かを日々追求し、ISO9001に基づいた品質管理、エコアクション21に基づいた環境経営を行っている。

主力製品は電線やチューブを成型するダイス、ニップルといわれるもので、リピートオーダーでも材料や加工条件が変わることもあり、受注生産でのモノづくりで対応する。そのため自動機の作業はわずかで、手作業による加工、仕上げが殆どとなる。

1個1個のモノづくりだからこそできる、職人の技「匠」で同社のモノづくりは行われている。

顧客の悩みや現在の問題点を解消し、安心・安定した製品づくりを支えることが同社にとっての喜びである。

その集大成として「チューブ押出成型用ユニット」の企画、販売にこぎつけた。これは経営革新計画の承認も得て、もう一つの柱となるべく販売の強化に取り組んでいる。

2015年（平成27年）11月には主力工場である米子工場の増築を行い、設備増強を推進し、人材育成にも活かし、さらなる飛躍をすべく社員一丸となって取り組んでいる。





株式会社松よし人形 (人形工房松寿)

〒577-0843

東大阪市荒川1-10-4

TEL 06-6722-0161

FAX 06-6727-1455

http://www.matsuyoshi-doll.co.jp/



代表取締役
小出 康雄

★創業
1960年(昭和35年)

★資本金
1,000万円

★従業員
20人

★主要営業品目
雛人形、市松人形、一般人形の製造卸・小売

★独自技術・製品
雛人形(オリジナル商品)

いつの時代にも 伝統工芸の心を

昭和35年初代社長が尾山人形で創業。その後雛人形、市松人形と拡大し、関西では技術と生産量でトップを誇る「株松よし人形」。

小出社長は「昔は、花嫁道具としていちまさんがよく売れたんですがね」と話す。一時は同社の市松人形が口コミで広がり全国から年間五千体もの発注を受けた。現在は、七段飾りの雛人形が年々縮小傾向にあり、三段飾りや親王飾りが主流になってきた。

同社の雛人形の木胴には桐が使用され、その中に樟脳を埋め込んでいる。また、藁の代わりに藺草を使用し、虫除けを可能にした。市松人形、雛人形の頭は専属の職人が手掛け、オリジナル化に注力している。

華やかで、繊細な人形作りにも力が必要な工程がある。雛人形では、肩から肘までの腕の折れ方のバランスで人形の善し悪しが決まる。その「形」を作る腕折れには、かなりの腕力があるので、男性の力が必要である。しかし、男性で人形に関心を持つ人が少なく、工芸士の平均年齢も上がり、時代の流れに伴うニーズの変化の中、後継者育成が重要である。

若い世代にゆとりが無くなり、マンション住まいで、収納場所が無いなど、人形と触れ合う機会が少なくなった。伝統と文化の良さが分かる人が減少しつつあり、事態は容易ではない。同社では、若手社員を起用し、伝統的な着付け技法に、形・金彩や刺繍を施した装束・色襲ねに工夫を凝らした斬新なアイデアを取り入れる傍ら、ロボット技術と融合した武者人形の製作や新たな試みとして四季を通じて着せ替えが出来る球体関節人形を開発した。

「日本特有の技法にこだわりつつ、伝統的五節句も大切に育てていきたい」と、社長自ら新たな創作に情熱を傾ける。





ミズノハードテック 株式会社

〒577-0067

東大阪市高井田西 4-5-21

TEL 06-6781-4258

FAX 06-6781-5231

E-mail:mizuno-h.t@gol.com



代表取締役
水野 理志

★創業
1975年(昭和50年)

★資本金
1,000万円

★従業員
12人

★主要営業品目
液体窒化、無電解ニッケルメッキ、
局部精密肉盛、ブラスト無電解セラミックス複合メッキ、超硬放電硬化(ペネトロン)

★独自技術・製品
液体窒化処理技術、局部精密肉盛、
各手法の複合処理

独自の表面処理加工で 顧客のニーズに対応

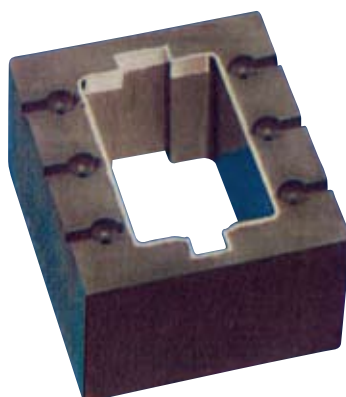
ミズノハードテック(株)は創業時、窒化処理専門でスタートした。きっかけは、現会長が液体窒化部門の責任者として勤めていた会社の倒産に始まる。その窒化部門を受け継ぐ形で独立し、以後、周辺技術を取り込みながら独自技術を確立した。

液体窒化とは、金属(鉄系)の表面を硬くして、摺動部の耐久性(耐摩耗性)を著しく向上させる処理で、鉄系の材料(鋳鉄、軟鋼、特殊鋼、ステンレス等)全てに処理が可能で、処理に伴う寸法変化が極小なことから、精密製品には特に効果的で、大手メーカー等からの受注も多く、順調に成長してきた。

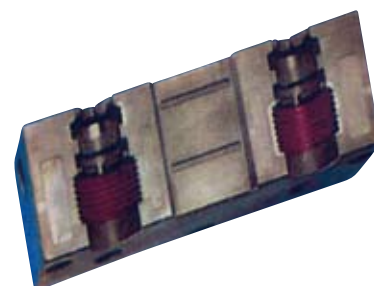
この処理の信頼性は抜群で、大量・少量生産いずれにも対応できる等利点は多い。しかし、鉄系に限られること、耐蝕性が不十分である事等問題点もあり、その対策に取り組んでいた折、懇意の研究所を通して無電解セラミックス複合メッキの摩耗試験のデータに出会い、特に要求度の厳しいプラスチック金型に焦点を合わせて、この新技術の開発を進めた。10年以上の年月をかけて、耐蝕性、耐摩耗性、スベリ性向上等必要な要素を満たし、ミクロン単位の膜厚管理と適切な硬さを併せ持つ独自技術が生まれた。

顧客の相談を受け、個々のパーツごとに最適な処理方法を提案している同社では、顧客満足を第一に考えている。営業部門を持たなくても、相談が次々と舞い込むのは、同社の的を射た対応とそれを現実のものとする技術の高さにあるといえる。

(局部精密肉盛、0.5ミクロン~100ミクロン指示通りの均一膜厚)



ブラ型 バリ対策(白色部)



ブラ型 ネジ径修正(赤印部)



三星産業貿易 株式会社

〒577-0054

東大阪市高井田元町 2-15-12

TEL 06-6782-3151

FAX 06-6783-3787

http://www.mitsu-boshi.co.jp



代表取締役社長
中村 重三

★創業
1938年(昭和13年)

★資本金
3,800万円

★従業員
47人

★主要営業品目
蝶ナット、蝶ボルト、樹脂製ノブボルト、ノブナット

★トップシェア製品
蝶ボルト・蝶ナット (70%)

世界一の蝶ナットメーカー を目指す

三星産業貿易(株)は冷間圧造による蝶ナット、蝶ボルトのメーカーで、その製品は自動車、工作機械、電動工具、農機具、医療機器、アンテナ等あらゆる産業で幅広く使用されており、そのシェアは国内市場の大半を占めている。

蝶ナットを手がけたきっかけは、可鍛鉄製品を主として製造していた同社が昭和32年、当時は鋳物で造られていた蝶ナットを可鍛鉄で製造したことに始まる。可鍛鉄製品は鋳物より強靱性があり、割れにくいというメリットを持っている。しかし、可鍛鉄による生産は手作業で、量産性に欠けるデメリットも持ちあわせていた。昭和48年、約3年の研究の後、冷間圧造による量産に成功した。

その後、ステンレス製の蝶ナット、蝶ボルトや頭部樹脂とねじとの成形品樹脂製ノブボルトの開発を手がけ現在に至っている。

蝶ナットや蝶ボルトを使用する業界に大きな変化は見られないものの、製品によれば海外での現地調達化による完成品に組み入れられたものが見受けられるようになってきた。ただ、品質面では決して満足できるものではなく、それなりの用途に限定されている。

同社はあくまで品質を第一に、1本のねじがその製品の価値、品質を高められるよう、あらゆるお客様の立場に立った製品作りに日夜努力を続けている。





ミノル化学工業 株式会社

〒577-0827

東大阪市衣摺 1-5-22

TEL 06-6728-3222

FAX 06-6736-2816

http://www.minoru-net.com

http://www.minoru-cube.com

E-mail:oshikawa@minoru-net.com



代表取締役
押川 新一

★創業
1959年(昭和34年)

★資本金
1,000万円

★従業員
10人

★主要営業品目
プラスチック製品製造販売

★トップシェア製品
ミノルキューブ(100%)

ニッチな分野に進出 ミノルキューブで新たな挑戦

ミノル化学工業(株)は、昭和34年に先代社長が各種プラスチック製品の受注生産を主に手掛ける企業として創業した。主力製品は化粧品関係からキャラクター製品、記念品等、ユーザーのニーズに応じたあらゆる製品に対応し、ユーザーから絶大な信用をえる企業として今日に至っている。

平成8年に先代から引継いだ現社長がアイデアマンで、かねてより主力製品の一つであった透明の正六面体クリアケースに着目し、その応用法について日夜考えていた。そうしたある時、紙面上でお菓子のおまけで使われているフィギュア(小型模型)を取扱う大手企業の記事を目にし、それがキッカケで同社オンリーワン製品「ミノルキューブ」が誕生した。

この「ミノルキューブ」は、動物や恐竜等のフィギュアをコレクターが飾ったりする為のケースとして当初開発された。そこから新たな展開として、斬新なダイレクトメール(DM)の手法を提案。ミノルキューブを定形外郵便として使用することにより、立体のケースがDMとして送られてくれば、受け取った人は必ず強い印象を持ち中身を確認するというものである。このDM手法は、平成16年(2004年)の郵政公社主催の全日本DM大賞・製造部門で銅賞を受賞するに至った。

また、同社では、“プリザーブド・フラワー”という特殊加工を施した生花をキューブの中に入れてプレゼントとして送ることができる製品を現在展開中である。

この“プリザーブド・フラワー”とは、特殊保存加工技術により、花をみずみずしく柔らかい状態で保つように加工された花で、“ホワイトデー”や“母の日”“クリスマス”などのプレゼントとして大手百貨店へ採用された実績もある。

今後は、「音や香りのでる新商品を企画、五感に訴える製品を提案していきたい」と、さらなるステップアップを目指して日々探求している企業である。



使用例





株式会社 ミヤマエ

〒577-0023

東大阪市荒本 1-2-32

TEL 06-6782-1006

FAX 06-6788-3820

http://www.miyamae.co.jp/



代表取締役社長
宮前 利昭

★創業
1949年(昭和24年)

★資本金
2,000万円

★従業員
249人

★主要営業品目
金属製品、釣り具、ゴルフ機器用品

★トップシェア製品
大型電動リール(80%)、ゴルフテスト用ショットロボット(85%)

レジャー用品で急展開 電動リールやゴルフ練習機のパイオニア

株)ミヤマエは昭和42年4月に世界で初めての魚釣り用電動リールを製造販売したこの分野のパイオニアである。その後も種々の電動リールを世に出し「ミヤエポック」のブランド名で知られている。特にマグロ等の大型魚、金目等の深海魚を対象とした分野では国内だけでなく欧米・台湾・マレーシアなど世界市場で圧倒的なシェアを持っている。またゴルフ関連事業ではクラブメーカー、ボールメーカー、シャフトメーカー向けに耐久テスト用ロボット、新商品開発用ロボット等目的に合わせたロボットを製造販売しており、この分野でも国内有力メーカーをはじめ世界中で独占状態を維持している。

同社は宮前利昭社長が昭和24年4月に大阪市生野区で株)宮前軽金属製作所として設立しスタートした。その後事業拡大に伴い昭和35年10月に東大阪市荒本に新工場を建設。現在は11工場を運営する企業に育っている。電動リール事業では月単位でその月に一番重量のある魚を釣り上げた人に10万円の賞金を進呈するキャンペーンを実施中で、全国より多くの応募が寄せられ同社の知名度アップ、拡販に寄与している。他方ロボット事業においては胴回転をする機能を加えたことで、より人間に近いスイングとなり一流ゴルファーをも凌ぐ350ヤード超のビッグドライブが可能な製品が出来上がっている。

更にゴルフ以外にもテニスロボット等他分野への進出も進んでいる。





株式会社 ミワックス

〒578-0933

東大阪市玉串元町 2-12-18

TEL 072-961-0321

FAX 072-964-1663

http://www.miwax.co.jp

E-mail:info1@miwax.co.jp



代表取締役
美馬 隆士

★創業
1946年(昭和21年)

★資本金
2,700万円

★従業員
47人

★主要営業品目
ゴム製麻雀マット、ビニール製デスクマット製造

★独自技術・製品
ビニール製デスクマット、ゴム製麻雀マット、カッティングマット

独自の技術が生んだ業界1位の ビニール製デスクマット

あらゆる要望に応えるため、多品種小ロットのニーズにも対応できるフレキシブルな生産体制を確立。自動油圧裁断機やニーダーミキシング機、自動プレス成型機など、各種自動化設備を駆使した効率的な生産を行い、ウェルダー加工やスクリーン印刷も手掛けている。

業界第1位のビニール製デスクマットは高透明、高平面性がある軟質塩化ビニールに鏡面仕上げ(国内初)、可塑剤移行防止UVコーティング(印刷物の付着や文字の転写を防ぐ)、抗菌ノングレア(抗菌かつ光の反射を和らげる)など多機能を付加し、従来にない全く新しいデスクマットを生み出し続けている。

近年ではデジカメで撮影された画像から、オーダーメイドデスクマットを作成するミワックスオンラインデジタルカッティングシステム「シャデキール®」を新開発。メールで送信された画像データを解析することにより、形状やサイズを算出。そのデータを基にデジタルカッティングするという全く新しい独自のオーダーシステムサービスを開始した。

このようなデスクマットに関する各種開発は、長年培ったノウハウをもとに素材の配合から製造製法に至るまで独自の研究開発を日々行ってきた成果である。

押印用ゴム板・マージャンマット用ゴム・布材料も独自の開発製品で、特にマージャンに適した弾力と感触のあるゴム製マージャンマット(トンシーマット他)は1950年代から製造販売を開始し、業界シェア1位である。

これまでに取得した特許は国際特許2件と国内特許2件。このほか実用新案24件を登録し、意匠登録・商品登録は併せて52件。こうした独自性の追求が評価され、各種賞を受賞。今後もアイデアメーカーとして、他社にないオリジナリティの創造を目指している。





村田精工 株式会社

〒577-0017

東大阪市藤戸新田 1-4-15

TEL 06-6787-2188

FAX 06-6787-0797

http://www.murata-sk.co.jp

E-mail: info@murata-sk.co.jp



代表取締役社長
村田 勝利

★創業
1965年（昭和40年）

★資本金
8,500万円

★従業員
130人

★主要営業品目
パーツフィーダ・付属装置・省力
設備機械・装置

★トップシェア製品
パーツフィーダ（15%）

確かなる技術が生み出す 信頼のきずな！ “ムラタ”

1965年（昭和40年）創業、1969年社名変更し、現在に至る村田精工(株)は、創立当初から、一貫して「社是」を柱とした、独自の且つユニーク性を求め、常に、新天地（新技術）を開拓し続けてきた。こだわり、積み上げてきた部品整列供給装置「パーツフィーダ」の技術を有効に活用して、多種・多様な顧客の求めるニーズを形にする製品造りを目指し、しっかりした作業環境作りを提案している。今や、部品整列供給装置「パーツフィーダ」は、あらゆる業界に採用されている。

パーツフィーダの手法は、創業50年経っても一片の変わりも無い。これが伝統・特許であり、「至難の業」・「部品供給の心臓部」と確信し、継承しながらも周辺機器・装置の設計製作範囲は拡大してきている。今では、パーツフィーダを主軸に、産業用ロボットを取り入れたり、CCDカメラ画像処理技術と融合し、自在な供給と、検査判別機能が加味されるなど、顧客のニーズを満足させ得る技術が認められ、企業体質も躍進・変革してきた。

今では、『総合省力機械装置のメーカー』として確固たる地位を築いている。現在、本社会む全国6営業所と、『社是』にある協調・共栄の精神によって生まれた「独立支援体制」のFA宣言（フリーエージェント）で独立した仲間50社を含めた「ムラタファミリー」の存在は他社に無い特徴で心強い力となっている。

年間30億円（グループ45億円）を誇り、企業として、常に新天地を求める意欲とユニーク性で、異業種、農林関連事業にも挑戦している。

2代目社長の提言は、『未知との遭遇が最大の目的』、「為せば成る！新たなフロンティア（開拓の分野）精神で大いに戦う」。この精神で組織体制も改めたが、今後、その体制の確立と、ユニーク性溢れる技術力をどう躍進させ得るか、まだまだ発展途上で未知の世界にある企業と言える。





明和グラビア 株式会社

〒577-8510

東大阪市柏田東町 12-28

TEL 06-6722-1131

FAX 06-6736-1855

http://www.mggn.co.jp/



代表取締役社長
大島 規弘

★創業
1953年（昭和28年）

★資本金
32,000万円

★従業員
国内 350人 海外 1,700人

★主要営業品目
テーブルクロス等のインテリア用品、グラビア印刷による産業資材、電子機器のキーシート、手術シート・歯科用Xレイフィルム袋へのナンバリング等のメディカル用品

★トップシェア製品
塩ビテーブルクロス（70%）

テーブルクロスの明和 多様な商品展開

日本で初めてプラスチックへのグラビア印刷を商品化した明和グラビア（株）。そのコア技術である凹版印刷技術と写真製版技術により、テーブルクロス等の家庭用品、床材・壁紙等の建材、外科手術用シート等のメディカル用品、電子機器のキーシート等、様々な商品を提供するユニークな企業として発展。中でもテーブルクロスは世界のトップシェアを占めている。

また、いち早く国際化にも取り組み、1972年に創立した「メイワインドネシア」は従業員1,700人を超え、現地の基幹産業を支えるメーカーとなっている。

故大島康弘会長は戦時中軍属として、極めて高度の印刷技術を習得した。戦後、名古屋の印刷会社に入社、「ビニール」との出会いを機に、独自のグラビア印刷機を組み立て、我が国初のビニール印刷の量産化に成功したが間もなく会社は倒産、部下10人を連れ独立。独立2年後、爆発的なビニール風呂敷ブームが訪れ、飛躍的に成長した。その後、数々の新商品を生み出し、特にモールドプリント（凹版成型印刷）技術の開発は画期的で、1962年に塩ビレースの工業化に成功、会社の業績は10年で100倍伸びた。最近では電子機器や携帯電話の分野でキーシート、折りたたみ携帯電話の衝撃クッション材、装飾用部材等々へ参入しており、好評を得ている。

近年、業界に先駆け環境問題に対応した、世界初のプラスチックへの水性グラビア印刷技術を開発し、メディカル業界や食品業界からも注目されている。また、印刷した模様や文字が浮き出したり、沈んで見える3D印刷技術を開発し、テーブルクロス・シャワーカーテン、バッグ・小物類、カレンダー等、多方面に展開している。





森村金属 株式会社

〒578-0912

東大阪市角田 1-8-1

TEL 072-962-7321

FAX 072-965-6954

http://www.morison.co.jp

E-mail: morimura@morison.co.jp



代表取締役社長
森村 泰明

★創業
1950年(昭和25年)

★資本金
3,360万円

★従業員
50人

★主要営業品目
建築用金属建材製造

★独自技術・製品
ロールフォーミング技術、天井パ
ネル建材

ロールフォーミング技術・ 天井パネル建材でトップシェア

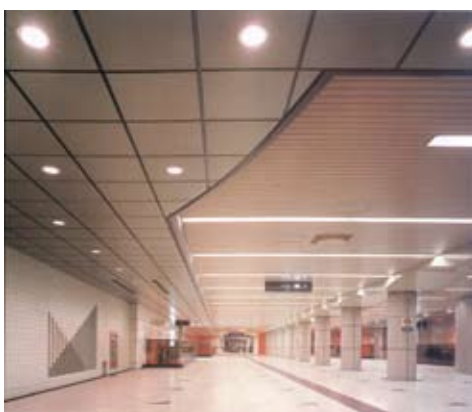
「モリソン」ブランドとして展開し、天井パネル建材で60%の国内トップシェアを誇る森村金属(株)は、従来天井や壁にボード類を貼る際に使用する棒状部品であるジョイナーを主力としてきた。

自社独自で開発した技術「ロールフォーミング加工法」は、複数のコマが並んだローラーの間に板を通すことによって変形加工させるもので、10mmリブを実現させ、単調になりがちな天井を「モリソン」独自の技術とノウハウで、底目の装飾性を生かすダイナミックなデザインを表現する事ができる。

天井パネルには、ビス止め不要のワンタッチで取り外しができ、施工とメンテナンスの手間・費用を大幅に削減できる「UBシステムアルミパネル」や、漏水対策用の導水システムが付加された「導水システム天井」などのバリエーションがあり、駅舎や商業施設に数多く採用されている。

「モリソン」ブランドは、「作る」から「創る」への基本コンセプトで、「環境にやさしく人の感性に響く」新しい建築創造に、プラスαの付加価値を提供している。最近の取り組みとして、室内は明るく保ち、優れた通風性を持ちながらプライバシーを守る小窓用目隠し「サンシャインウォール」なども開発し、天井パネルだけにとどまらず、一般家庭向けの製品づくりにも力を入れている。

同社ではダイナミックな発想力とオンリーワンの創造力、パワフルな実行力で顧客ニーズに合った製品造りを進める。



サンシャインウォール



株式会社 ヤマナカゴーキン

〒578-0901

東大阪市加納 4-4-24

TEL 072-962-0676

FAX 072-960-2545

http://www.yamanaka-eng.co.jp



代表取締役社長
山中 雅仁

★創業
1961年（昭和36年）

★資本金
8,500万円

★従業員
230人

★主要営業品目
精密冷間鍛造金型、温熱間金型、
FB金型、解析シミュレーション
ソフト他

★トップシェア製品
精密冷間鍛造金型（25%）

超精密鍛造金型で 自動車産業の発展に貢献

（株）ヤマナカゴーキンの主製品は金型であるが、中でも特殊かつ高精度な精密冷間鍛造金型を得意にしている。この金型は金属材料を常温のままに必要な形状及び精度に成形するものである。熱エネルギーの節減、切削による材料ロスの節減につながり、しかも連続したメタルフローによる材質の高強度が得られるため、コストの削減や機能性に優れている上、環境、省資源に対する貢献度も大きい。

創業者である現名誉会長の山中政夫氏が昭和36年2月に会社を創業して以来、超硬合金を主材料とした金型の加工技術開発や超硬メーカーとの素材開発に取り組み、今日の精密冷間鍛造金型の発展に大きく寄与してきた。

同社の加工技術、または鍛造技術開発への積極的な取り組みは、優れた品質や生産体制の効率化をもたらし、国内外の大手自動車メーカーや多くの関連企業が主力ユーザーとなっている。中でも自動車の駆動系およびエンジンやミッション等を主体に超精密鍛造金型を供給し、今日の自動車産業の発展に大きく貢献している。

また、解析シミュレーションソフト（DEFORM）や開発専用の1600 tプレスの活用により、開発期間の短縮化やコストダウンに大きな成果を上げるとともに、世界に1台の1200 tサーボプレスを導入し新技術の開発を積極的に進めている。

今後も国内外に於ける大学及び各研究機関との共同研究を強力に推進すると共に、海外企業との技術提携による一層の技術開発に努める。また、常に顧客と社会への役立ちを第一に考え、固有技術をさらに高めながら「こだわりのモノづくり」を実践し、ベストソリューションの創造と提供を行っていく方針である。





株式会社 山文電気

〒578-0964

東大阪市新庄西 2-13

TEL 06-6745-3048

FAX 06-6745-8482

http://www.yamabun-ele.co.jp

E-mail:yamabun@mx.mesh.ne.jp



代表取締役社長
東條 文男

★創業
1971年（昭和46年）

★資本金
1,000万円

★従業員
20人

★主要営業品目
プラスチックフィルム・シートの
厚み計測装置と厚み制御関連装置

★トップシェア製品
プラスチックフィルム・シートの
厚み計測装置（シェアトップクラス）

シート厚み計測装置で 業界トップクラス

（株）山文電気は1990年に、プラスチックシート用の厚み計測装置を完成させた。以来、厚み計測装置専門メーカーとして、接触式、レーザ式、エア式、X線式、静電容量式および分光干渉式等の機種を製品開発化し、累計1100台を超える納入実績を誇る。フィルム・シート製造ライン内に設置するオンライン型と、検査、品質管理用途で卓上に設置するオフライン型に分けられ、それぞれ測定物に適した計測方式が選択できる。さらに、厚さを自動でコントロールするTダイリップコントローラも2003年に完成し、±1%以内の偏肉制御の実績もある。

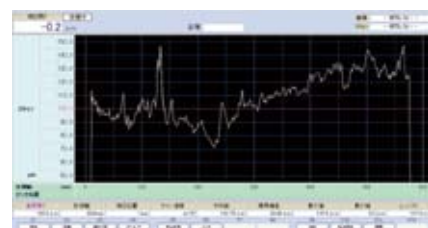
なかでも、オンラインレーザ式厚み計は、食品容器用シート分野ではトップシェア製品となっている。このレーザ式厚み計は計測対象物の材質、色、構造の影響を受けることなく計測が可能で、β線式厚み計のように免許、許可を必要としないことから多くのユーザに受け入れられている。また、現場即応性の厚さモニタ画面に特長があり、ユーザからの同装置に関する信頼も厚い。

最近では、電子、光学、エネルギー分野での高機能フィルムの増加に伴い、多層構造や薄膜用の厚み計を開発中である。また、国内だけでなく海外との取引を増やすべく、ASEAN地域への展示会出展や、ドイツデュッセルドルフで開催される世界最大のプラスチックショーであるK展に1998年から連続出展するなど、展示会を中心に積極的に事業展開している。

今後も、機能とコストのバランスのとれた厚さ計測および厚さ制御システムの開発を行い、名実共に厚さ計測分野でベストメーカーになる夢を実現させるべく、新規顧客を開拓している。



オンラインレーザ式厚み計測装置（NME-RM）



厚さ計測結果



オフライン卓上型厚み計測装置（TOF-5R）



山本光学 株式会社

〒577-0056

東大阪市長堂 3-25-8

TEL 06-6783-0232

FAX 06-6781-7320

http://www.yamamoto-kogaku.co.jp

E-mail:info@yamamoto-kogaku.co.jp



代表取締役社長
山本 直之

★創業
1911年(明治44年)

★資本金
23,088万円

★従業員
270人

★主要営業品目
スポーツ用ゴーグル、スポーツグラス、眼鏡フレーム、安全保護眼鏡、レーザフィルター、呼吸用保護具

★トップシェア製品
スキーゴーグル・産業用安全眼鏡(50%)、スイミングゴーグル(60%)、レーザ用保護具(80%)

眼を守る独自の技術力で 世界を舞台に展開

1911年の創業以来、「人々の健康と安全及び環境」をテーマに、長年にわたり蓄積されたレンズの製造技術と製品開発力でモノづくりに取り組み、広く産業・生活・スポーツ&レジャーの各分野で、高機能製品を世界に送りだし、高いシェアを獲得している。

山本光学株の名を一躍高めたのは、1971年に“SWANS”ブランドでデビューした初の防曇スキーゴーグルであった。その「曇らないゴーグル」は、1972年の札幌オリンピックで多くのトップレーサーから賞賛を浴び、以後、数々の国際舞台で“SWANS”は愛用され続けることになる。後に、この防曇加工技術はスイミングゴーグル・防塵メガネ等に応用され世界で初めて曇らない度入りのスイミングゴーグルを開発した。

また同社は世界で最初に偏光フィルムとポリカーボネイト樹脂を一体成形するフィットテクノロジーレンズを開発。紫外線や眩しい黄色光線など、複合する有害光線をカットする機能を持つ付加価値の高いレンズとして世界的に注目を浴び、フィッシングやゴルフ、野球、陸上、マラソン、スケート、ヨットなどあらゆるスポーツをする人々に提供している。

近年では光の制御技術を使い、レーザ光から眼を護るために不可欠な“レーザ光線遮光フィルター”を開発。そのラインナップは世界でトップクラスを誇っており、さらにプラスチック製光学フィルターの設計システム開発、光センサー用フィルターなどオプトエレクトロニクス分野に関連した技術開発を進めている。また、極限まで塵を取り去ったクリーンな環境に不可欠なバイオケミカルや通信技術の分野で必要とされるフィルター技術を使用した電動式呼吸用保護具、原子力やダイオキシシン用防塵・防毒マスクなどの高性能マスクから簡易マスクまでも手がけている。今やセフティ関連の製品は、“YAMAMOTO”として、世界マーケットに認められるブランドに育っている。





山和ワイヤリング 株式会社

〒578-0945

東大阪市若江北町 1-15-8

TEL 06-6722-7715

FAX 06-6722-7716

<http://www.yamawa-w.co.jp>



代表取締役社長
山田 和行

★創業
1952年（昭和27年）

★資本金
2,400万円

★従業員
18人

★主要営業品目
各種金網製造・内装工事

★独自技術・製品
ロッカー用網棚（約80%）

時代に合わせた製品展開 ワイヤー製品で業界トップ

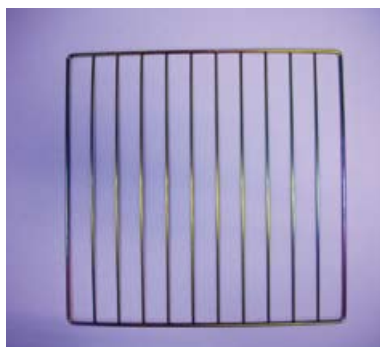
山和ワイヤリング(株)は、昭和27年の創業時から携わってきた線材加工を軸にロッカー用網棚やバーベキューの焼き網、建設用ネット、バックネットなど、あらゆる用途に合わせた金網と販促用什器を製作。低価格と高品質、短納期を強みとしている。

同社は常に生産工程の合理化と品質管理の向上を目指し、設備の自動化・徹底した合理化・省力化に積極的に取り組んでおり、材料のコイル材から一貫した生産ラインを職人ならではのアイデアをもち込んでオリジナルで開発するなど、業界でもトップクラスの近代設備を持つようになった。また溶接は、スポット溶接だけでなく、アルゴン溶接・アーク溶接など職人が熟練の技術を駆使して多彩な溶接加工を行っている。

主要取引先である、事務機器メーカーのコクヨやイトーキをはじめ、ロッカー内の金網製造については業界80%のトップシェアを誇っている。

最近では、傾斜を利用した構造で、商品の“先入れ・先出し”を可能にした円柱形商品用陳列什器「缶スライダ」を開発。商品が古いものから順に取り出されるので在庫削減につながり、補充・陳列・消費期限など管理の手間が省けるのも魅力で、東大阪ブランド認定製品となっている。

同社は、今後もオリジナルブランド製品の開発にも力を入れ、他社との差別化を進めて行く。常にトップを走り続けている同社は、更なる発展の為に、時代に合わせたワイヤー製品を作り続けている。





株式会社 ユーエイキャスター

〒578-0965

東大阪市本庄西 1-8-39
TEL 06-6747-5607
FAX 06-6747-5608



代表取締役
雄島 耕太

★創業
1977年（昭和52年）

★資本金
8,000万円

★従業員
260人

★主要営業品目
キャスター及び関連商品

★独自技術・製品
緩衝機付きキャスター、サイレンスキャスター、重量用キャスター

高品質なキャスターの内製化で他社をリード

（株）ユーエイキャスターは1977年（昭和52年）に、東大阪市に創業したキャスター総合メーカーである。創業以来キャスター一筋にお客様の要望に応えた製品を提供する事を社是としている。

1983年（昭和58年）に自社工場である奈良工場を開設以来、顧客の要望に応えるべく内製率を高めてきた。その売上を支える主力キャスターはSシリーズで、台車、ショッピングカートやオフィス向け複合機など産業機器と用途が広く、凸凹な路面でも優れた走行を保つ高品質、摩耗が少なく長時間の荷重でも変形しにくい耐久性に加えて、低価格製品であることから、その売り上げは同社売上全体の上位を占めている。

また、ショックアブソーバーを内蔵した緩衝器付きキャスターは振動・発塵・騒音を低減して、クリーンルーム内での運搬に効果を発揮するなど、同社の新技術を活かした製品として市場投入した。他にもコンピューターのサーバーラックなど非常に重たい装置であるが、スペースの確保のため、キャスターを出来る限り小さく、そして低くすることを求められたもののために開発した低床式重荷重用キャスターなど、同社のキャスターは個々に特長を有している

これまでの経営が認められ、2010年（平成22年）に「大阪ものづくり優良企業賞2010」を、2014年（平成26年）に「第48回グッドカンパニー大賞〈優秀企業賞〉」を受賞、2015年（平成27年）に「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選出された。

これからも経営理念を基軸とし、顧客の満足度を高める努力を全従業員一丸となって、常に技術を磨き、創意工夫を重ね、新しい製品を世に送り出す事により、顧客に喜ばれ、必要とされる企業を目指している。





株式会社 ユタカ

〒579-8037

東大阪市新町 24-12

TEL 072-984-6246

FAX 072-981-8016

http://www.tech-yutaka.co.jp

E-mail:y-kenji@tech-yutaka.co.jp



代表取締役社長
安田 憲司

★創業
1968年(昭和43年)

★資本金
1,000万円

★従業員
15人

★主要営業品目
BGA・CSP 外径検査装置、マイクロねじ検査装置、レーザー式検査選別機、次世代3Dカメラ搭載検査選別機

★トップシェア製品
BGA・CSP 外径選別機(100%)、
マイクロねじ検査装置(60%)、
CCDカメラ搭載全自動検査選別機(30%)

3Dカメラ搭載 検査選別装置開発にも成功

品質管理機器の設計製作を得意分野とする(株)ユタカは研究開発型企业であり「想像をかたちにして、社会に貢献する」を企業理念に、実績と信頼を得、今日に至っている。

創立当初は、下請け的側面もあったが「下請け企業に甘んじていては、将来の発展はない。自社製品を持つことにより、企業発展の道は開かれる」という考えにより自社製品の開発研究に傾注し、特に検査関連の技術力を高めると共に、平成14年度に経済産業省より、「創造技術開発研究」補助金を交付され次世代近距離通信に不可欠な、極微細部品全数検査装置を、京都大学大学院工学部と連携開発した。

更にナノ分野電子部品検査装置開発に傾注する為、平成16年度には、敷地1600平方メートルの土地を取得、展示スペースを設けた鉄筋3階建て新社屋にて、業容拡大を目指して、日夜研究開発に勤しんでいる。

同社は、職人による確実・精密な、加工・組立をモットーに、日本ブランドを立ち上げていく。

近年、ねじ・ボルト・ナット等の締結部品、自動車・航空機用組立精密部品等、人の安全に係わる重要保安部品検査に使用する、360度全周3Dカメラ搭載検査装置、QX・GRシリーズを開発。従来検査装置では不可能な項目を検査可能とした装置を製造し、業界の安全・安心・エコに貢献していく。





株式会社 ユニックス

〒578-0901

東大阪市加納 4-14-31

TEL 072-968-1166

FAX 072-966-3233



代表取締役
苗村 昭夫

★創業
1984年(昭和59年)

★資本金
2,200万円

★従業員
15人

★主要営業品目
ポリウレタン、テフロン等特殊テ
クニカルコーティング、ポリウレ
タン塗料、MCナイロン、ジュラ
コン、テフロン等エンブラ加工

★トップシェア製品
パーツフィーダのポリウレタン
コーティング

ポリウレタンの特殊高機能性 コーティングで産業界に貢献

株ユニックスはポリウレタンコーティングを始め、テフロン・ナイロン・等の高機能コーティング原料の製造及び、塗布技術により、パーツフィーダの他、粉粒体製造関連機器・搬送機器その他の幅広い産業機械器具に施工され、その用途拡大強化を図ってきた。

同社のポリウレタンコーティングは、30年余りの実績による塗布技術ノウハウを有しており、最短1日の短納期を実現。また、2010年の経済産業省委託研究開発「サポイン」事業に採択され2大学との産学連携を軸に、高機能・高性能ポリウレタン原料開発に着手した。2012年に超高耐摩耗性ウレタン「US3000」の完成を果たし商標「ユニレタン®」が登録された。同社の既存製品である導電特性・自己消火性・高摺動性「テフタン®」等の高機能特性を有する製品を揃え、幅広い用途、機器への塗布型表面処理施工を可能にした。

パーツフィーダへの施工の他、粉粒体関連機器のバレル・攪拌容器・分級器等の粉粒体プラントや、コンベアー・エレベーター等の搬送機器、水処理などの環境機器、食品・製薬機器、スポーツ用品等々多くの施工実績を有し、その施工効果を発揮すると共に顧客からの信頼と評価を得ることが出来ている。

また、2004年に飲用容器圧縮減容機開発にて大阪府より中小企業経営革新支援法の承認。また、2008年には中小企業庁より、大学と連携し開発したアスファルト道路輾圧機「プレートユニパクター®」が新連携支援認定を受けた他、前述のサポイン事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)に採択されるなど研究開発型企業として成長している。そして、2014年にはこれらの技術が評価され、大阪府よりものづくり優良企業賞を受賞した。そのほか、2004年にISO14001、2015年にはエコアクション21をそれぞれ取得するなど環境に配慮した企業活動を続けている。





ヨコタ工業 株式会社

〒578-0947

東大阪市西岩田 3-5-55

TEL 06-6788-1261

FAX 06-6781-4519

http://www.yokota-kogyo.co.jp/



代表取締役社長
横田 孝久

★創業
1919年(大正8年)

★資本金
8,000万円

★従業員
150人

★主要営業品目
空気動工具(エアツール)全般、
インパルスレンチ、エア及び電動
式トルクコントロールレンチ等

★独自技術・製品
トルク制御技術

★トップシェア製品
システムレンチ

業界1位のトルクコントロール型 締結工具

2014年に創業95周年を迎えたヨコタ工業(株)は、自動車産業を中心とした組立工程におけるボルト等の締結作業に多く使用されている空気動工具を製造販売している。

主力のシステムレンチは、特許を取得したトルクトランスジューサーを、締付用ソケットを挿入する主軸に貼り付け、締結対象物に一番近い位置で締付力を計測し、適正なトルクに達した時に自動停止させる機能を有し、安心して誰もが使用できる画期的なツールである。

これらの機能は、締結品質向上を目指す自動車業界や各種の製品製造業界で多数使用されており、初代のシリーズ発売以降、さらなる小型化・軽量化などモデルチェンジを経て現在に至っている。

なお、従来はシステムレンチも含めエア式の工具が主力であったが、近年ではユーザーの省エネルギーに対するニーズの高まりもあり、電動式のシステムレンチを開発し販売を行っている。

この電動システムレンチ(名称:e-Mレンチ)に搭載されている電動モーターは、従来の電動工具の課題であった振動や反力、騒音を低減させながらも連続締結作業が可能な新開発の電動モーターであり、従来のエア式のシステムレンチが有する高い締結スピードと作業性を損なうことなく、信頼性の高い締結作業を実現している。

また、エア式の場合、空気配管等のエアロスもあり、工具の駆動に必要な圧縮空気の生成には多くの電力が必要となるが、電動システムレンチの電力消費量は、エア式と比較して25分の1を実現しており、この省エネルギー性能により、日本機械工業連合会主催の「第35回(2014年)優秀省エネルギー機器」に選定され、日本機械工業連合会会長賞を受賞。さらに、2015年には、(公財)中小企業研究センターのグッドカンパニー大賞・優秀企業賞を受賞した。





リーダー 株式会社

〒577-0056

東大阪市長堂 3-26-21

TEL 06-6782-4551

FAX 06-6782-3148



代表取締役
吉川 晴久

★創業
1918年（大正7年）

★資本金
3,000万円

★従業員
16人

★主要営業品目
理容美容師用の櫛製造販売、和装
小物製造、化粧用容器製造

★独自技術・製品
理容・美容師向け頭髪用櫛

プロフェッショナル用 くしに活路を見出した

リーダー(株)は1918年（大正7年）に創業し、約100年近く頭髪用櫛の製造販売を行ってきた。平成に入り、理容、美容師が使用するプロフェッショナル用の櫛に主力製品を特化した結果、海外製品の価格競争などに左右されること無く堅実な事業を展開する。

現在、射出成形による製造方法が主体であるが、理美容師の手は敏感で、少しでも製品が変化すると作業性が低下するため、品質の安定化に取り組み、材質も過度な使用頻度に耐え、かつ超耐熱性や耐薬品性も兼ね備えたスーパーエンジニアリングプラスチックを使用し、高品質な製品作りに取り組んでいる。

美容師はそれぞれ作業スタイルが異なることから、多くのニーズが有りそれに対応すべく金型製造から成形まで全て自社内で行い、小ロット多品種に対応した生産を行っている。

現在では益々多様化するニーズに対応すべく生産システムの確立に取り組み、CAD・CAMシステムを利用した一品一品に対応したオーダーメイド生産をテスト的にスタート。材質もプラスチックだけではなく、木製品やアルミニウム合金などを加工して海外製品などとの差別化を図っている。





ルート工業 株式会社

〒577-0835

東大阪市柏田西 2-14-41

TEL 06-6727-8554

FAX 06-6736-2363



代表取締役
中村 泰久

★創業
1963年（昭和38年）

★資本金
1,000万円

★従業員
6人

★主要営業品目
伸縮式コンテナ台車

★独自技術・製品
伸縮自在で頑丈な構造、豊富なラインナップの「ルートボーイ」

伸縮式コンテナ台車で 新市場を創出

ルート工業(株)は日本で唯一、コンテナ台車の製造販売を専門とする企業。専門メーカーの強みを活かした業界初の伸縮式コンテナ台車「ルートボーイ」は、自社ブランドで、3つの特徴がある。

1つ目は、伸縮自在。業界初のコンテナ台車に伸縮機能を付け、実用新案を取得している。

2つ目は、頑丈な構造。荷重量は150kg、200kg、300kg、500kgまであり、良質な材料と高度なプレス技術により、理想的で耐久性を重視した構造を持つ。

3つ目は、豊富なラインナップで、スチール製、樹脂製、アルミ製、ステンレス製など素材別に、25機種、258品目の製品をラインナップしている。

これら3つの特徴を有するルートボーイシリーズは、工場や倉庫、物流センター等で広く利用され、今後、新たなユーザーを開発すべく日々努力を怠らない。





レックス工業 株式会社

〒 578-0948

東大阪市菱屋東 1-9-3

TEL 072-961-9870

FAX 072-961-9824

http://www.rexind.co.jp



代表取締役社長
宮川 純一

★創業
1925年(大正14年)

★資本金
9,000万円

★従業員
180人

★主要営業品目
配管用機械工具、パイプマシン、
各種切断機、樹脂管融着機器、環
境機器、水処理事業

★トップシェア製品
パイプねじ切機(65%)、EFコ
ントローラ(75%)、ねじ転造機
(100%)

配管用機械工具の トップブランド

2015年に創業90周年を迎えたレックス工業(株)は、配管用機械器具のメーカーとして、特に水やガスなどの配管工事で人々のライフラインを支えてきた。さらに近年は配管のケア分野を製品のラインナップに加え、「PIPING SOLUTION」を合言葉に、あらゆる配管のトラブルや課題の解決にチャレンジしている。また、アフターサービス面では全国のどの現場でも30分以内で消耗品が入手できるサービス網の構築を目指し「レックス在庫店網」の充実を推進している。こうした活動を通じて、パイプねじ切り機のシェアを維持・向上させ、現在でも約65%の市場シェアを堅持している。

近年では日進月歩で進化する配管材や施工技術に対応する一方で「切削ねじ」の弱点を克服・進化させた「転造ねじ」を開発した。この「転造ねじ」は、耐震性や環境に優しい工法としての実績が認められ、平成22年版の国交省公共建築工事標準仕様書においてポリ粉体ライニング鋼管での使用が認可され、給水配管分野に急速に普及が進んでいる。「転造ねじ加工機」は同社のオンリーワン製品(シェア100%)である。

一方、配管材料の変化では耐震性・耐久性に優れたポリエチレン管がガス配管に加え配水本管へと採用が進んでいるが、このポリエチレン管をつなぐ為に必要なコントローラでもトップシェアを誇り、「ポリエチレン管用機械工具の総合メーカー」としても社会に貢献できるモノづくりに邁進している。

転造ねじの特長

転造ねじの場合



切削加工の場合



切粉量が1/10で環境に優しい

転造ねじ断面



切削ねじ断面



転造ねじ加工ではねじ部を削らないので強い
(耐震性に優れている)



レバートルフ 株式会社

〒577-0802

東大阪市小阪本町 1-13-13

TEL 06-6721-3747

FAX 06-6723-1305

<http://www.leber-torf.jp/>



代表取締役
栗山 隆伸

★創業
1954年(昭和29年)

★資本金
1,250万円

★従業員
7人

★主要営業品目
園芸肥料製造卸

★独自技術・製品
肥料の造粒、レバープランツの強
力たい肥

ガーデニングブームを支える 有機肥料製造の先駆け

戦後、園芸用肥料の製造に国内でいち早く着手したレバートルフ(株)はドイツ語で「栄養分のある土」という意味。

先々代社長が石炭の掘削事業をしていたころ、「亜炭を畑に入れると野菜がよく育つ」と聞き、これをヒントに肥料製造を始めた。1954年当時は、日本古来の庭が一般的だったのと、食べることが精一杯で、園芸肥料などは邪道視も同然だった。しかし、阪急百貨店の園芸用品売り場を皮切りに、盆栽のサツキブームや一般の生活環境の変化で、同社の市場も一段と広がったが、その一方で他社の参入も多くなった。

天然の動・植物質を原料として手間をかけ、日数をかけて生まれる有機質肥料は花・植物・果物・野菜にも適し、肥料としては理想的で使いやすいよう、顆粒状や固形状に工夫されている。

有機栽培に欠かせない天然有機質配合醗酵肥料「ゆうき」は、天然有機材だけを配合し、数回発酵させているため連作多肥栽培に効果がある。これに限らず他の製品すべてがチッソ・リンサン・カリ・珪酸・石灰など、必要成分含有量は他社の製品に比べて多く、良質であり効果も高い。

近年、土壌害虫に対し忌避効果があるニーム粕を配合した「野菜のたい肥」「ニーム入り堆肥」が新たに注目されている。





株式会社 ロブテックス

〒 579-8053
東大阪市四條町 12-8
TEL 072-980-1111
(コールセンター)
FAX 072-980-1166
http://www.lobtex.co.jp



代表取締役社長
地引 俊為

★創業
1888年(明治21年)

★資本金
96,000万円

★従業員
169人(連結)

★主要営業品目
作業工具、ファスナー工具、油圧
工具、ダイヤモンド工具

★トップシェア製品
モンキレンチ(30%)

信頼に、応え続けるために

株ロボテックスは、LOBSTER(エビ印)ブランドにより、幅広い工具(ツール)を扱う国内最大の総合工具メーカー(手動、電動、エア工具等)である。

第7代社長である地引俊為氏が就任したのが2009年4月。以来、グループ丸となり飛躍に向けて足場を固め、『新生ロボテックス』創りを目指してきた。

同社の創業は1888年、今年で創業127年の歴史を持つ。創業当時、一般には高嶺の花であった輸入バリカンに代わるものとして両手式バリカンを発明し、理容業界に広く普及させたのが始まり。

1928年、当時の作業工具は高価な輸入品もしくは工場職人の手作りが主流であったが「手ごろな価格、高品質、誰もが使える工具をつくり、職人さんたちのお役に立ちたい」という強い思いから、モンキレンチの国産化を成功に導いた。

創業120年の歴史を超え、老舗でありながら、常に先進的な技術をもって挑戦をし続ける同社の数ある工具の中でも、1961年に生産を開始したエビ印圧着工具は、2016年で55周年を迎える。

創生期には生産日本一を誇り、圧着工具の「パイオニアメーカー」として、常に使い易さを追求。業界で初めて採用した「ラチェット内臓機構」は圧着工具のスタンダードとなっており、55年もの長きにわたり信頼され、多くの方々に愛されている。

同社は創業127年たった今も、その歴史におごることなく当初の思いを継続し、高品質で使い勝手の良い工具を手軽な価格で提供することに努力していく。



圧着工具



発売当初の
モンキレンチ



株式会社 ワールドメタル

〒578-0903

東大阪市今米 2-1-29

TEL 072-967-2732

FAX 072-967-2809

E-mail: info@worldmetal.co.jp



代表取締役社長
林田 英徳

★創業
1978年（昭和53年）

★資本金
1,000万円

★従業員
50人

★主要営業品目
半導体、電子部品の表面処理薬剤
製造・販売

★トップシェア製品
セラミックスパッケージの表面処理
薬品（80%）
半導体表面処理薬品（70%）

半導体の表面処理薬品 世界シェア 70%

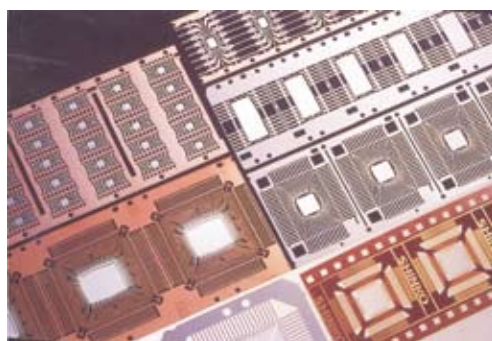
㈱ワールドメタルは、研究開発型の企業であり、半導体や電子部品の表面処理技術のプロ集団である。同社は主に無電解めっきに関わる表面処理プロセスを前後処理薬品と共に提供する。また、めっき・排水・排気設備に対しても独自ノウハウがあり、幅広くユーザーサポートを行っている。

半導体分野の中でも「パワー半導体」に同社の技術が活かされており、同分野の薬液供給では国内トップシェアを誇っている。パワー半導体は電車・ハイブリッド車や電気自動車・洗濯機・エアコン・パソコン・スマートフォンなど、様々な用途で使われており同社の技術が省エネ及び省電力、機器の小型化や軽量化に貢献している。

現行、パワー半導体材料はシリコンが主流であるが、次世代材料であるシリコン・カーバイドなどの普及が見込まれている。同社の技術革新も手伝って、今後急速に普及が加速しそうである。

一方、無電解めっき薬品の内製化プロセスを導入するコストダウン提案を行っており、ハイテクノロジーの追及だけではなく、顧客満足向上の追及にも余念がない。

長く高シェアを誇っていた、ブラウン管のガラス成形に使用される金型めっき薬品供給は、プラズマ・液晶テレビの登場により急速に減少するなど、事業環境の変化は目まぐるしい。表面処理の方法も変化し続けなければならず、同社の技術は進化し続けている。



「きんほし東大阪 第6版」は東大阪市の委託を受けて東大阪商工会議所が作成した。掲載企業は本冊子の趣旨を踏まえ、選考委員会で検討を行った結果による。住所、代表者名、資本金、従業員等の企業情報並びに掲載内容は、掲載企業から東大阪商工会議所への原稿提出時点（平成27年8月～平成28年2月）のものを基本としている。原則として、住所は本社や工場などの所在地としているが、登記上の所在地と異なる場合がある。また創業とは個人創業を含めて事業を開始した時期としている。提出原稿を本冊子の趣旨に合致した編集、追加校正等を行い、作成を行っている。

モノづくり先進地・高シェア、独自技術・製品を誇る企業群 167社

事業所名	所在地（東大阪市）	高シェア製品又は独自技術・製品（シェア率）
I・T・O(株)	579-8038 箱殿町10-4	工業用LPガス圧力調整器
旭工精(株)	577-0835 柏田西2-17-35	精密無孔性ダイカスト製造技術 ほか
旭コムテク(株)	577-0015 長田3-5-11	デスクトップ仮想化ソリューション(VDI) ほか
アサヒプリンティング(株)	579-8026 弥生町19-17	多機能転写美術印刷膜
※安達鋼業(株)	579-8004 布市町3-1-30	注1)に記載のc参照
※奄美工業(株)	577-0006 楠根2-6-6	注1)に記載のc参照
(株)イーストン	577-0053 高井田3-3	THX認定サウンドスクリーン
※池本刷子工業(株)	578-0934 玉串町西1-3-27	注1)に記載のb、d、e、f参照
※イシバシテック(株)	578-0984 菱江3-15-48	注1)に記載のc参照
(株)イチグチ	578-0903 今米1-2-48松栄ビル201号	マイクロフラップホイール(60%)、円筒形研磨布(60%)、不織布研磨材ディスク(60%)
(株)稲田歯ブラシ	577-0028 新家西町17-19	”毛先が剣”、”e'cute”、”デントスター”
(株)岩佐	577-0841 足代2-7-24	版下電送システム
岩下(株)	577-0824 大蓮東3-2-1	新生児衣料の打合せ肌着
(株)ウエキン	577-0006 楠根2-5-5	数値計算上では不可能な深絞り
梅田真空包装(株)	577-0032 御厨3-9-28	プリスターパック
エイシンテクノ(株)	577-0065 高井田中2-2-22	高密度表面処理技術
(株)エイチ・アンド・ティー	577-0061 森河内西2-20-4	医薬品開発支援システム
(株)江浦製作所	577-0805 宝持4-13-17	小型六角ボルト・座金組込みボルト・フランジボルト
(株)エコー	578-0973 東鴻池町2-3-29	アルミホイールのボルト、ナットの鍍金
(株)SKB	577-0032 御厨1-5-3	セーフティストッパー、RoomCloser、TOATO
(株)大阪工作所	578-0985 中野南1-34	ボールアイスカッター、自動除塵包装機
※大阪製罐(株)	578-0941 岩田町2-3-28	注1)に記載のa、b、e参照
大阪精工(株)	579-8014 中石切町5-7-59	省エネルギー化に貢献する超微細粒鋼鋼線
大阪精密機械(株)	577-0032 御厨6-5-16	電子創成式歯車測定機
大阪バネ工業(株)	577-0067 高井田西3-3-1	自動車補修用バネ
大阪銘板(株)	577-0005 七軒家18-15	精密金型、成型技術、プラスチック表面装飾
オーエッチ工業(株)	578-0921 水走4-9-3	工業用ハンマー(60%)
オージーケー技研(株)	577-0066 高井田本通6-2-32	自転車子供のせ
(株)オージック	578-0984 菱江1-15-33	高精度スパイラルベベルギヤ、ハイポイドギヤ
(株)オーシン	578-0905 川田2-5-25	カーボン発熱体を使用した陶器等のIH対応加工、カーボン製業務用IH調理器具製造
(株)オーティス	578-0955 横枕南5-3	両極受金具(21%)
(株)オクダソカベ	578-0977 鴻池徳庵町3-73	ペローズ形伸縮管継手(40%)
鹿児島金属(株)	579-8013 西石切町3-2-10	冷間塑性加工技術、CNC旋盤などによる高精度加工 ほか
(株)カツロン	577-0803 下小阪3-8-6	軟質プラスチック異形押出成形技術、3次元ハイブリッド製法(射出成形+押出成形)
川機械工業(株)	577-0067 高井田西2-6-17	万能式チューブポンプ(85%)、モルタルポンプ(50%)
(株)カワキタ	577-0843 荒川2-4-6	文具、化粧雑貨などの型・印刷方法
川端ネジ製作所	577-0827 衣摺4-9-11	アートねじ(100%)
※関西セイキ工業(株)	577-0842 足代南1-16-12	注1)に記載のc、e、f参照
関西チューブ(株)	578-0932 玉串町東3-5-8	医薬品用特殊仕様チューブ、医薬品包装対応技術
(株)関西電工	577-0818 小若江3-3-1	優れた皮膜力と均一電着性を実現した独自の表面処理技術
※紀州ファスナー(株)	578-0943 若江南町5-3-53	注1)に記載のc参照
木田精工(株)	579-8025 宝町13-26	無排水めっき処理システムの製造販売及び高耐食表面処理の加工

注1)※印の事業所は今回未掲載。高シェア製品又は独自技術・製品の欄には前回掲載年時(下記a~f)を表示しています。
a:いちばん盛東大阪(平成8年) b:さんぼし東大阪(平成10年) c:統・さんぼし東大阪(平成12年) d:さんぼし東大阪(平成13年) e:さんぼし東大阪(平成17年) f:さんぼし東大阪(平成23年)
注2)シェアは推定含む。シェア未掲載は技術・製品がトップクラスだが比率不明なもの、又は競合相手がなくシェア100%の意。

事業所名	所在地(東大阪市)	高シェア製品又は独自技術・製品(シェア率)
木田バルブ・ボール(株)	578-0932 玉串町東3-1-36	ステンレス製のボールバルブの弁体用ボール(60%)
(株)キタムラ産業	578-0901 加納4-16-37	道路保安用電気機器(50~70%)
木ノ本伸線(株)	579-8026 弥生町2-56	快削鋼シャフト、作業工具用特殊鋼(70%)
※(株)極東製作所	578-0942 若江本町3-5-29	注1)に記載のc参照
※清音金属工業(株)	578-0971 鴻池本町1-27 鴻池第2ビル	注1)に記載のc、e、f参照
クラスターテクノロジー(株)	577-0836 渋川町4-5-28	高精度・高機能精密成形品及びLED用白色材料、高熱伝導性で絶縁材料
ケーエム精工(株)	578-0982 吉田本町1-10-16	ドリルねじ(ドリルアンドドライブ)
(株)ケンテック	578-0901 加納5-1-8	ファインコーティングVC、プレスカッター
※(株)コーヨー	577-0046 西堤本通西1-6-4	注1)に記載のc参照
(株)小西金型工学	579-8014 中石切町6-4-47	コーニシュ®金属プレスVE金型技術ブランド
(株)コノエ	578-0957 本庄中2-3-36	コノエネイル、コノエダブル
(株)五力工業	578-0941 岩田町3-11-11	ヘヤ・ピン製造、ヘヤ・クリップ販売
金剛鋏螺(株)	577-0016 長田西3-5-1	冷間圧造・転造技術
近藤化学工業(株)	578-0932 玉串町東2-2-4	塩化ビニルコンパウンド、射出成形品高精度製品
※(株)酒井製作所	578-0921 水走2-1-47	注1)に記載のc、e参照
佐藤鉄工(株)	577-0065 高井田中1-7-10	球体製造の為の高精度研磨技術
澤田光学	578-0921 水走2-15-49	反射防止膜、球面に均一になる多層膜の製造
(株)サンクレスト	577-0814 南上小阪12-42	メールブロック、ジュエリーシール、マジックフィルム
(株)サンビ	577-0007 稲田本町2-7-22	パーソナルユーザー商品の受注管理生産システム
三陽化工機(株)	579-8063 横小路町4-3-24	業務用マーガリン(バター)製造装置、固形石鹼製造装置、研磨機製造装置
※三和電子機器(株)	578-0982 吉田本町1-2-50	注1)に記載のc、e参照
(株)三和鋏螺製作所	578-0982 吉田本町2-7-9	U字ボルト、測量用くぎ
※ジェックス(株)	578-0903 今米1-14-15	注1)に記載のc、e、f参照
(株)シナガワ	578-0984 菱江3-8-25	ゴム、合成樹脂等の超精密微細加工
(株)下西製作所	578-0935 若江東町6-8-25	OA用マグネットキャッチ(40%)
(株)秀英	578-0921 水走1-16-37	電子レンジ使用可能な紙容器
ジョー・プリンス竹下(株)	578-0965 本庄西1-4-32	アウトサイドハンドル
(株)シライテック	577-0835 柏田西3-5-21	NC自動ガラス・LCD用素板自動切断ライン、LCD用カバーガラス切断研磨INライン
※新和商事(株)	577-0012 長田東2-2-16	注1)に記載のc参照
清和工業(株)	578-0935 若江東町6-6-12	スパークプラグコードセット(80%)、バッテリーターミナル(80%)
※象印ペビー(株)	577-0037 御厨西ノ町1-5-4	注1)に記載のc参照
(株)ソダ工業	578-0931 花園東町2-8-15	空調、制御、省エネ技術を融合した環境テクノロジー
大興産業(株)	578-0932 玉串町東2-5-39	ロハスフィルター油濾過器、緊急時高台避難用鎖階段、緊急時避難専用引車
大昭和精機(株)	579-8013 西石切町3-3-39	工作機械用ツーリング(40%)
(株)大成モナック	578-0912 角田1-5-8	特殊潤滑剤をフレキシブルシャフト内部に真空含浸する技術
大東電機工業(株)	579-8046 昭和町9-11	電気バリカン、マッサージ器
※大平工業(株)	581-0038 八尾市若林町2-58	注1)に記載のc、d、e、f参照
大洋精工(株)	579-8025 宝町9-38	重い家具の「持上げ」と「移動」が1人で出来る「らくらくヘルパー」シリーズ
大和化成商事(株)	577-0022 荒本新町8-20	ノンセパ、ブロードタック
大和歯車製作(株)	577-0044 西堤学園町1-2-23	超高精度歯車加工
※(株)タカコ	619-0240 京都府相楽郡精華町祝園西1-32-1	注1)に記載のa、b、d、e、f参照
(株)高澤製作所	577-0827 衣摺6-8-33	プロペラ推進軸(60%)、船尾管シール装置(90%)

モノづくり先進地・高シェア、独自技術・製品を誇る企業群 167社

事業所名	所在地（東大阪市）	高シェア製品又は独自技術・製品（シェア率）
高島工業(株)	578-0914 箕輪2-4-21	デルタプロテクト、超音波真空乾燥洗浄
Takahashi(株)	578-0921 水走2-4-3	折りたたみ式ローラコンベヤ、超低床式移載機
タカラ産業(株)	577-0013 長田中2-2-30長田エミネスビル2階	ドライウェブ、ハイウェブ、タカラペーパーホルダー、網戸用品、ウェーブルーバー
※(株)多久製作所	577-0012 長田東2-2-1木村第一ビル	注1)に記載のa、b、d、e参照
(株)竹中製作所	578-0984 菱江6-4-35	フッ素樹脂コーティングボルトナット(90%)、原子力用途向特殊鋼精密ネジ(90%)
(株)棚澤八光社	579-8013 西石切町2-1-10	プラスチック金型のシボ加工(約55%)
チャンピオン工業(株)	578-0956 横枕西3-28	精密加工技術
※中央電力(株)	578-0946 瓜生堂1-2-18	注1)に記載のe、f参照
(株)ツツキ	579-8013 西石切町5-1-42	外断熱・内外装建材のワンストップ対応
(株)ティグ	578-0905 川田4-1-32	チタン製モニュメント、チタン加工品
帝国イオン(株)	577-0835 柏田西1-12-26	機能性表面処理技術
(株)電業	577-0065 高井田中2-5-25	鉄道用架線金具(30%)
(株)テンキング	577-0006 楠根1-7-46	ミクロンオーダーでの外周ヘリカル(リード)加工及び薄肉円盤の超平坦加工
※(有)ドー	578-0982 吉田本町1-4-28	注1)に記載のe参照
濤和化学(株)	578-0935 若江東町6-6-35	プラスチック用着色剤(トップクラス)
ナミテイ(株)	577-0042 西堤2-2-23	光海底ケーブル用3分割個片(100%)、グレーチング用異型線(30%)
(有)ニシムラ・ベンディング	578-0975 中鴻池町2-4-14	金属検知機、コインランドリー店舗向け店舗管理システムの開発
(株)ニッサチェーン	577-0816 友井4-3-23	小型チェーン(65%)
ニッセンリベット(株)	579-8027 東山町10-25	ブラインドリベット(30%)
※(株)ニッチ	578-0924 吉田4-7-17	注1)に記載のb、d、e、f参照
※(株)日東工作所	573-0131 枚方市春日野1-1-7	注1)に記載のc、e、f参照
二藤レー尔(株)	579-8037 新町12-27	足場結束用「ノーリツばんせん」
※日本遠隔制御(株)	577-0809 永和2-2-12	注1)に記載のa、b、e、f参照
日本化線(株)	577-0067 高井田西3-9-25	造形用カラーワイヤ(90%)、「自遊自在」、「頑固自在」
(株)日本放電技術	578-0967 新鴻池町12-2	ねじ切機能付細穴放電加工機
(株)仁張工作所	578-0921 水走3-14-6	貴重品ロッカー、デザインロッカー
熱研化学工業(株)	577-0004 稲田新町2-10-1	耐熱耐薬品塗料(65%)
※野田金属工業(株)	578-0977 鴻池徳庵町4-8	注1)に記載のc参照
※(株)ハーティス	579-8026 弥生町14-2	注1)に記載のa、b参照
ハードロック工業(株)	577-0063 川俣1-6-24	ゆるみ止めナット(トップクラス)
(株)ハウスピーエム	577-0011 荒本北2-6-25	リョーバコアドリル、換気コアドリル、ダウンライトコアドリルほか
(株)ハルナ	577-0006 楠根3-5-3	ワンタッチで金型の着脱がスムーズにできる「カセットモールドシステム カモス」ほか
(株)ピカコーポレイション	577-0013 長田中4-4-10	アルミニウム合金製はしご(35%)、小型アルミガラス温室(100%)
東田機工(株)	577-0066 高井田本通2-3-3	平ダイス式水平型転造盤
菱井工業(株)	578-0967 新鴻池町2-2	ホイスト式天井クレーン
兵田計器工業(株)	579-8034 出雲井本町1-6	工業用ダイヤル温度計(業界トップ)
ヒヨコペイント(株)	577-0835 柏田西2-16-15	高機能性抗菌塗料(ULTRA必殺シリーズ)
(株)日吉プロダクツ	577-0045 西堤本通東1-3-22	”ハネジ”滑弁式往復動真空ポンプ製造販売
(株)フジキン	577-0015 長田3-9-21	半導体製造装置用バルブ(70%)、水素ステーション向け超高压バルブ(100%近く)
(株)富士製作所	578-0984 菱江6-4-28	大型特殊切削ナット(50%)
※(株)藤田メッシュ工業	577-0025 新家1-3-4	注1)に記載のc、d参照
藤塚精密金型(株)	577-0033 御厨東2-12-12	複雑なスライド構造を多用した精密金型、2色成形・プラマグ・CFRTP等の特殊金型

注1)※印の事業所は今回未掲載。高シェア製品又は独自技術・製品の欄には前回掲載年時(下記a~f)を表示しています。
a:いちばん藍東大阪(平成8年) b:さんぼし東大阪(平成10年) c:統・さんぼし東大阪(平成12年) d:さんぼし東大阪(平成13年) e:さんぼし東大阪(平成17年) f:さんぼし東大阪(平成23年)
注2)シェアは推定含む。シェア未掲載は技術・製品がトップクラスだが比率不明なもの、又は競合相手がなくシェア100%の意。

事業所名	所在地(東大阪市)	高シェア製品又は独自技術・製品(シェア率)
フジ矢(株)	578-0922 松原2-6-32	ペンチ・ニッパ(37%)
(株)フェラシ	577-0053 高井田11-74	自動車用精密ナット(業界トップ)
(株)ブレッシング	577-0057 足代新町17-9新町ビル1階	マルチプルストレッチ(タテ、ヨコ、ナナメに伸縮する)BEYOND COTTONの素材
※平成テクノス(株)	578-0984 菱江2-8-9	注1)に記載のb、d参照
(株)ベル玩菓	578-0921 水走3-7-32	小物玩具(業界トップ)
(株)ホーライ	577-0066 高井田本通2-3-10	粉碎機・破砕機(60%)
北勢工業(株)	577-0815 金物町2-14	ルーツグレード(60%)
ホルベイン工業(株)	579-8063 横小路町4-10-52	専門家用油絵具・画用液(50%~)
(株)マイ・テクノス	577-0036 御厨栄町2-13-7	自己洗浄機能付きろ過(フィルター)装置
(有)マグライフ	578-0974 鴻池元町3-23	強磁カブリントマグネットシート、マルチ鉄粉シート、セフティペイント ほか
松尾捺染(株)	577-0062 森河内東1-9-8	ハンカチーフプリント
(株)松下商會	578-0912 角田1-7-40	精密切断・鏡面加工、印刷・切削加工
マツシロ(株)	578-0912 角田1-10-8	ペーパーバッグ(30%)
マツダ紙工業(株)	577-0827 衣摺5-14-24	段ボール製チェスト、段ボール製デスクセット
(株)松田製作所	578-0963 新庄4-13-12	MC加工後バリ取り加工、平板レーザー抜きバリ取装置(特許)
松村工芸(株)	577-0056 長堂3-2-23	アクアフォーム(60%)
(株)松村合金ダイス研究所	579-8031 豊浦町2-2	精密加工技術、チューブ押出成型用ユニット
(株)松よし人形	577-0843 荒川1-10-4	雛人形(オリジナル商品)
ミズノハードテック(株)	577-0067 高井田西4-5-21	液体窒化処理技術、局部精密肉盛、各手法の複合処理
三星産業貿易(株)	577-0054 高井田元町2-15-12	蝶ボルト・蝶ナット(70%)
ミノル化学工業(株)	577-0827 衣摺1-5-22	ミノルキューブ(100%)
(株)ミヤマエ	577-0023 荒本1-2-32	大型電動リール(80%)、ゴルフテスト用ショットロボット(85%)
(株)ミワックス	578-0933 玉串元町2-12-18	ビニール製デスクマット、ゴム製麻雀マット、カッティングマット
村田精工(株)	577-0017 藤戸新田1-4-15	パーツフィーダ(15%)
明和グラビア(株)	577-8510 柏田東町12-28	塩ビテーブルクロス(70%)
森村金属(株)	578-0912 角田1-8-1	ロールフォーミング技術、天井パネル建材
(株)ヤマナカコーキン	578-0901 加納4-4-24	精密冷間鍛造金型(25%)
(株)山文電気	578-0964 新庄西2-13	プラスチックフィルム・シートの厚み計測装置(シェアトップクラス)
山本光学(株)	577-0056 長堂3-25-8	スキーゴーグル・産業用安全眼鏡(50%)、スイングゴーグル(60%)、レーザー用保護具(80%)
山和ワイヤリング(株)	578-0945 若江北町1-15-8	ロッカー用網棚(約80%)
(株)ユーエイキャスター	578-0965 本庄西1-8-39	緩衝機付きキャスター、サイレンスキャスター、重量用キャスター
(株)ユタカ	579-8037 新町24-12	BGA・CSP外径選別機(100%)、マイクロねじ検査装置(60%) ほか
※(株)ユタカアドバンス	577-0824 大蓮東4-12-34	注1)に記載のe、f参照
(株)ユニックス	578-0901 加納4-14-31	パーツフィーダのポリウレタンコーティング
ヨコタ工業(株)	578-0947 西岩田3-5-55	システムレンチ
リーダー(株)	577-0056 長堂3-26-21	理容・美容師向け頭髪用櫛
ルート工業(株)	577-0835 柏田西2-14-41	伸縮自在で頑丈な構造、豊富なラインナップ「ルートボーイ」
レッキス工業(株)	578-0948 菱屋東1-9-3	パイプねじ切機(65%)、EFコントローラ(75%)、ねじ転造機(100%)
レバートルフ(株)	577-0802 小阪本町1-13-13	肥料の造粒、レバープランツの強力たい肥
(株)ロブテックス	579-8053 四条町12-8	モンキレンチ(30%)
(株)ワールドメタル	578-0903 今米2-1-29	セラミックスパッケージの表面処理薬品(80%)、半導体表面処理薬品(70%)

トップシェアと独自技術・製品、企業の概要

トップシェア製品もしくは、他社にない独自技術・製品を有する企業は 167 社ある（東大阪商工会議所調べ）。

これら企業以外にも、トップシェア製品や独自技術・製品を持つ企業はかなりあると思われる。

ここでは、平成 7 年より 2 年に 1 度実施しているアンケート調査結果と共に、本冊子に紹介した 139 社を中心に、トップシェアと独自技術・製品を持つ企業の概要をまとめてみた。

1. 企業の概要

まず従業員規模別でみると、表 1 のようになる 100 人で区切ると 100 人未満が 98 社で、100 人超 41 社とほぼ 3 : 2 の割合となっている。

10 人～ 49 人、50 人～ 99 人規模を合わせて、約 6 割を占めている。

300 人以上の企業は、少なく 5 社と全体の 3.6%しかなく、逆に 10 人未満の企業は 12 社である。

表 1 従業員規模

従業員（人）	事業所数（社）	割合（%）
300 以上	5	3.6
200 ～ 299	9	6.5
100 ～ 199	27	19.4
50 ～ 99	33	23.7
10 ～ 49	53	38.1
10 未満	12	8.6
計	139	100.0

次に、資本金規模別（表 2）では、1 億円未満の企業が約 92%を占めている。

最も多いのは 1,000 万～ 4,999 万円層で、約 6 割を占めている。これでも、本市のトップシェアと独自技術・製品を持つ企業には中小企業～中堅企業が多く、小粒でもキラリと光る企業が多いことが感じられる。

表 2 資本金規模

資本金（円）	事業所数（社）	割合（%）
3 億以上	6	4.3
1 億～ 2 億 9,999 万	5	3.6
5,000 万～ 9,999 万	36	25.9
1,000 万～ 4,999 万	83	59.7
1,000 万未満	7	5.0
個人事業所	2	1.4
計	139	100.0

2. 創業年

各企業の創業年（表 3）をみると、1960 年～ 1979 年が最も多く、34.5%を占め、次いで 1940 年～ 1959 年の 33.8%となっている。

また、1980 年以降創業の比較的若い企業が約 10%ほどあり、逆に 1920 年以前創業の企業も 7%弱存在する。

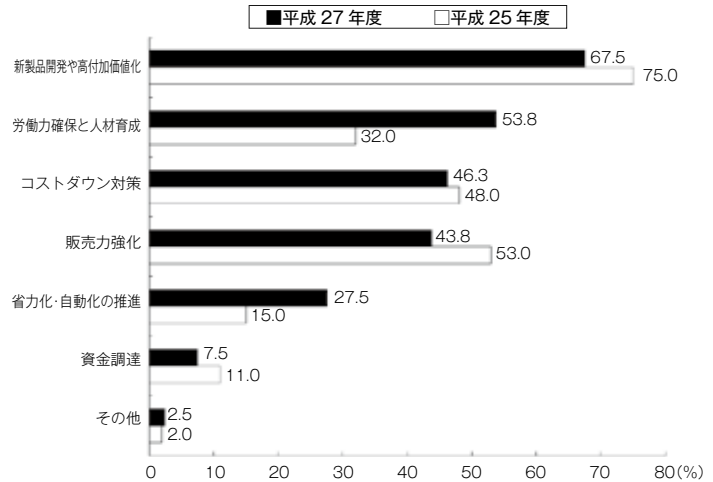
表 3 創業年

創業年	事業所数（社）	割合（%）
1899 年以前	2	1.4
1900 年～ 1919 年	7	5.0
1920 年～ 1939 年	20	14.4
1940 年～ 1959 年	47	33.8
1960 年～ 1979 年	48	34.5
1980 年以降	15	10.8
計	139	100.0

3. 最近の経営上の課題（複数回答）

最近の経営上の課題については、「新製品開発や高付加価値化」と回答した企業の割合が67.5%（前回調査・平成25年75.0%）と最も高いが、「労働力確保と人材育成」が53.8%と増加し、「コストダウン対策」46.3%（前回48.0%）、「販売力強化」43.8%（前回53.0%）よりも人材面での課題が浮き彫りになっている。それを反映して「省力化・自動化の推進」が27.5%（前回15.0%）と増加している（図1、80社回答）。

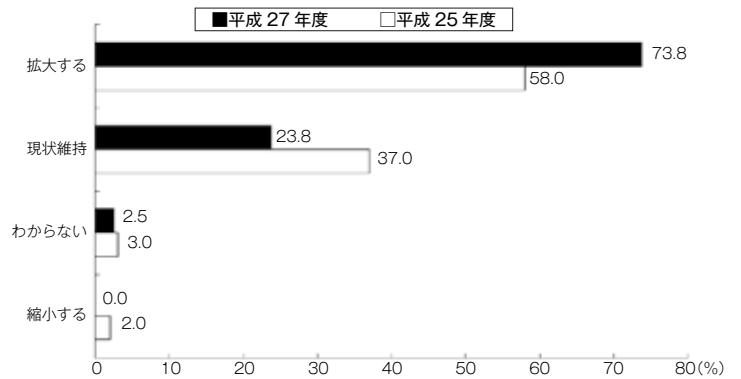
図1 最近の経営課題



4. 今後の経営方針について

今後の経営方針については、「拡大する」と回答した企業の割合は73.8%（前回58.0%）と前回調査より大きく増加し積極的な姿勢がみられ、一方、「縮小する」とした回答企業は皆無。「現状維持」は23.8%（前回37.0%）であった（図2、80社回答）。

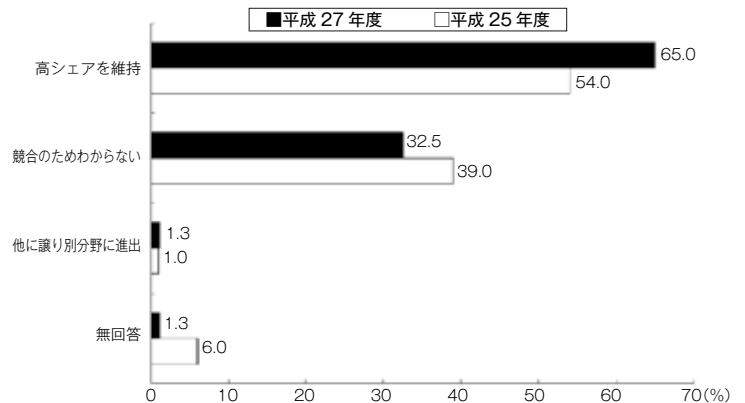
図2 今後の経営方針



5. 業界における今後の地位

業界における今後の地位については、「高いシェアを維持できる」と回答した企業の割合は65.0%（前回54.0%）と前回調査より増加し、「大企業や海外製品と競合し将来はわからない」と回答した割合は32.5%（前回39.0%）と、前回調査より減少。高いシェアの維持に力強さがうかがえる（図3、80社回答）。

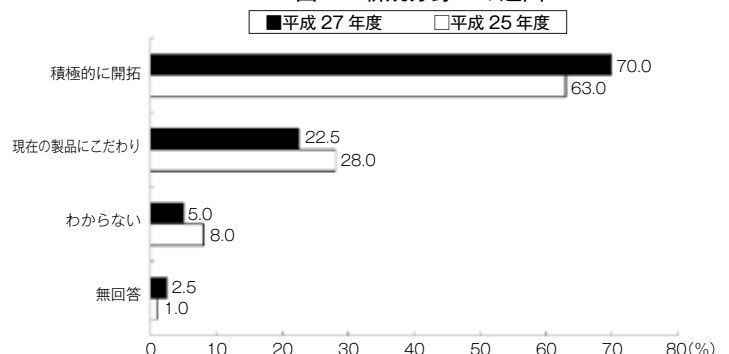
図3 業界地位



6. 新規分野への進出について

新規分野への進出については、「新規分野を積極的に開拓」と回答した企業の割合が70.0%（前回63.0%）と最も高く、一方、「現在の製品にこだわり続ける」と回答した企業は22.5%（前回28.0%）で積極的な経営姿勢がみられる（図4、80社回答）。

図4 新規分野への進出



きんぼし東大阪【第6版】

平成28年3月

発行 東大阪市経済部モノづくり支援室
〒577-8521 東大阪市荒本北1丁目1番1号
TEL 06-4309-3175 FAX 06-4309-3846
<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/>

編集 東大阪商工会議所 企画調査部
〒577-0809 東大阪市永和1丁目11番10号
TEL 06-6722-1151 FAX 06-6725-3611
<http://www.hocci.or.jp>

印刷 (株)登プリント社
〒577-0808 東大阪市横沼町1丁目14番14号
TEL 06-6723-8788



カウビーのまち
東大阪



The
Higashiosaka
Chamber of Commerce & Industry